

上 高 田 遺 跡

第2・3次発掘調査報告書

1 9 9 8

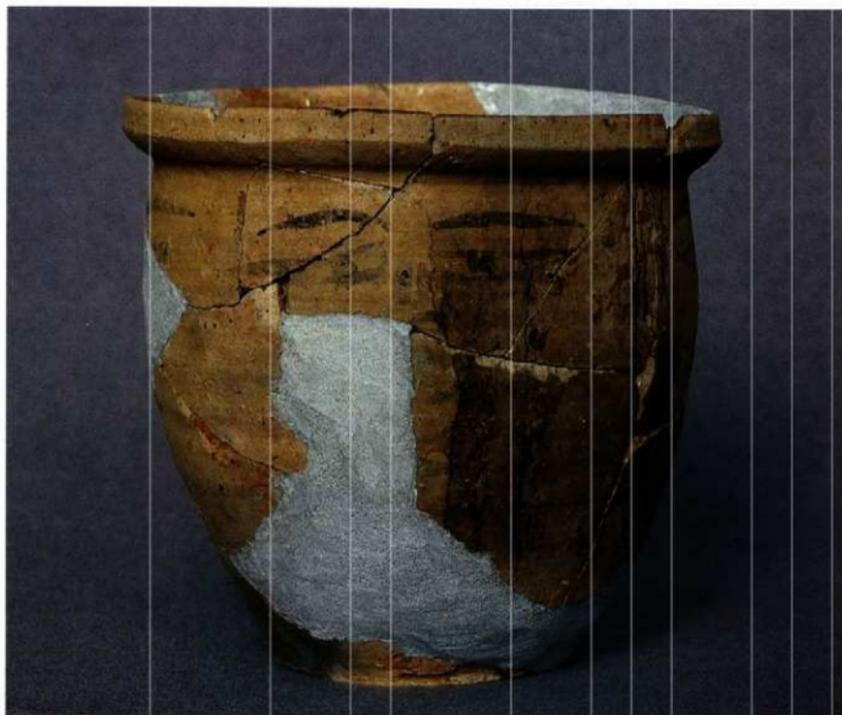
財団法人 山形県埋蔵文化財センター

かみ たか だ
上 高 田 遺 跡

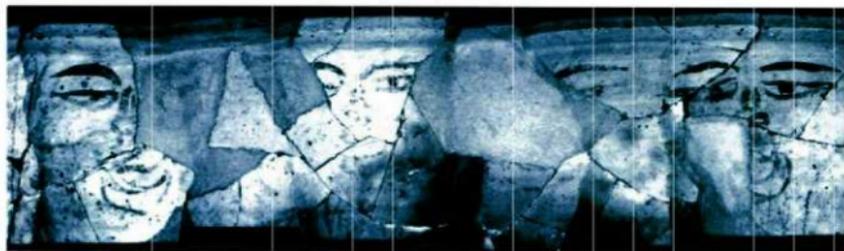
第2・3次発掘調査報告書

平成10年3月

財団法人 山形県埋蔵文化財センター



SG 2 出土人面墨描土器



SG 2 出土人面墨描土器（赤外線写真）

序

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、上高田遺跡第2次・3次調査の結果をまとめたものです。

遺跡は山形県の北西部の飽海郡遊佐町に所在し、「出羽富士」烏海山を仰ぎ見る肥沃で広大な庄内平野の北端に位置しています。

遊佐町は稲作を主とする農業の町で、これまで大規模なほ場整備事業が行われてきました。それにかかわり、水田地帯に位置する多くの遺跡が発見、緊急発掘調査されています。上高田遺跡の第1次調査もその中のひとつです。この度、交通量が将来増大することを見据えて、「一般国道345号道路改築工事」が実施されることになりました。それにかかわり、上高田遺跡が事業区域に含まれるため、関係機関による協議の結果、工事に先立ち、やむを得ず事業範囲に含まれる部分を緊急発掘調査する事となりました。

第1次調査に引き続き、平安時代前期の遺物を大量に包含する大きな河川跡が検出されました。そこからの出土遺物、特に人形や斎申、人面墨描土器等の律令祭祀製品や木簡などは当時の社会を考える上での貴重な資料です。

近年、高速自動車道やバイパス、農業基盤整備事業など国県等の事業が増加していますが、これに伴い事業区域内で発掘調査を必要とする遺跡が増加の傾向にあります。これらの埋蔵文化財は、祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産といえます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの重要な責務と考えます。その意味で、本書が文化財保護活動の啓発・普及、学術研究、教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

平成10年3月

財団法人 山形県埋蔵文化財センター
理事長 木場清耕

例 言

1 本書は一般国道345号線道路改築工事に係る「上高田遺跡」の第2・3次発掘調査報告書である。

2 調査は山形県教育委員会の委託により、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。

3 調査要項は下記の通りである。

遺跡名	上高田遺跡 (AYZKT)	遺跡番号	2080
所在地	山形県飽海郡遊佐町大字富岡字上家ノ前		
調査主体	財団法人山形県埋蔵文化財センター		
調査期間	平成8年4月1日～平成9年3月31日 (第2次調査)		
現地調査	平成8年5月7日～平成8年9月13日		
調査担当者	調査第二課長	野尻 侃	
	主任調査研究員	尾形與典	
	調査研究員	齋藤 健 (調査主任)	
	嘱託職員	飯塚 稔	
調査期間	平成9年4月1日～平成10年3月31日 (第3次調査)		
現地調査	平成9年5月6日～平成9年7月30日		
調査担当者	調査第二課長	野尻 侃	
	主任調査研究員	尾形與典	
	調査研究員	齋藤 健 (調査主任)	
	嘱託職員	飯塚 稔	
整理担当者	調査研究員	齋藤 健	
	嘱託職員	飯塚 稔	

4 発掘調査及び本書を作成するにあたり、山形県庄内支庁建設部道路計画課、山形県遊佐町教育委員会、庄内教育事務所の方々から協力をいただいた。また、資料整理にあたって、国立歴史民俗博物館教授平川 南氏、山形大学人文学部助教授北村優季氏、齋宮歴史博物館宇河雅之氏、(財)福島県文化センター鈴鹿良一氏、芳賀英一氏、本間 宏氏、(財)いわき市教育文化事業団猪狩忠雄氏、吉田生哉氏に御指導を賜った。ここに記して感謝申し上げる。

5 本書の作成・執筆は齋藤 健、飯塚 稔が担当した。編集は尾形與典、須賀井新人、菅原哲文、豊野潤子が担当し、全体については野尻 侃が監修した。

6 委託業務は下記の通り実施した。

遺構の写真測量・実測については、朝日航洋株式会社に委託した。

一部の遺物の保存処理については、株式会社吉田生物研究所に委託した。

資料の理科学分析(土壌分析)については、株式会社パレオ・ラボとバリノ・サーヴェイ株式会社へ委託した。

7 出土遺物、調査記録類については、財団法人山形県埋蔵文化財センターが一括保管している。

凡 例

1 本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記の通りである。

SK……土坑	SD……溝跡	SX……性格不明遺構	SB……掘立柱建物跡
EB……柱穴掘方	SP……ピット	SE……井戸跡	SG……河川跡
RP……土器・土製品	RM……金属製品	RW……木製品	RQ……石器・石製品

2 本書で使用した遺構断面図中での遺物等の分類記号は下記の通りである。

P……土器	S……石	W……木材
-------	------	-------

3 遺構番号は、現地調査段階での番号をそのまま報告書の番号として踏襲した。

4 報告書執筆基準は下記の通りである。

(1) 遺跡概要図・遺構配置図・遺構実測図中の方角は磁北を示している。

(2) グリッドの南北軸は、N-17° 40' -Eを測る。

(3) 遺構実測図は1/20～1/200他の縮図で採録し、各々スケールを付した。なお、実測図中の●は土器、△は木製品の出土点を表す。

(4) 遺物実測図・拓影図は、原則的に1/3、1/6で採録し、おのおのスケールを付した。実測図中のスクリーン・トーンは黒色処理、漆塗部分、炭化部分を表している。



(5) 遺物実測図作成に際し、輪積痕や高台取り付け部分が断面で確認可能なものは図示したが、断面を観察できないものについては図示はしていない。

(6) 遺物観察表中の()内の数値は欠損遺物の現存値を表すが、推定可能なものは推定値を示した。また、「」は判読可能な墨書文字を、「』」はヘラ書・線刻を示し、推定の文字には「カ」を付した。

(7) 出土地点欄の層位ではアラビア数字は遺構内覆土を示し、ローマ数字は遺構を覆う土層(基本層序)を表している。

(8) 遺物図版については、任意の縮尺とした。

(9) 遺物番号は、遺物実測図・遺物観察表・遺物図版ともに共通したものである。遺構挿入中に図示している遺物も同様である。

(10) 遺構覆土の色調の記載については、1987年度農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に拠った。

目 次

I 調査の経緯	1
1 調査に至る経過	1
2 調査の経過	1
II 遺跡の立地と環境	3
1 地理的環境	3
2 歴史的環境	3
3 遺跡の層序	5
III 検出された遺構	6
1 遺構遺物の分布	6
2 河川跡	6
3 掘立柱建物跡	15
4 溝跡	15
5 土坑	19
IV 検出した遺物	22
1 土器	22
2 陶磁器	25
3 土製品	25
4 石製品	25
5 木製品	25
6 金属製品	31
V まとめ	112
報告書抄録	117

表

表1 遺物観察表(1)	97
表2 遺物観察表(2)	98
表3 遺物観察表(3)	99
表4 遺物観察表(4)	100
表5 遺物観察表(5)	101
表6 遺物観察表(6)	102
表7 遺物観察表(7)	103
表8 遺物観察表(8)	104

表9 遺物観察表(9)	105
表10 遺物観察表(10)	106
表11 遺物観察表(11)	107
表12 遺物観察表(12)	108
表13 遺物観察表(13)	109
表14 遺物観察表(14)	110
表15 遺物観察表(15)	111

挿 図

第1図 調査区概要図	2	第26図 遺物実測図(14)土器	45
第2図 遺跡位置図	4	第27図 遺物実測図(15)土器	46
第3図 基本層序図	5	第28図 遺物実測図(16)土器	47
第4図 遺構配置図	7	第29図 遺物実測図(17)土器	48
第5図 SG 1 河川跡	9	第30図 遺物実測図(18)土器	49
第6図 SG 2 河川跡	11	第31図 遺物実測図(19)土器	50
第7図 SG1300・1301河川跡	13	第32図 遺物実測図(20)土器	51
第8図 SB551・552掘立柱建物跡	16	第33図 遺物実測図(21)土器	52
第9図 SB553・1806掘立柱建物跡	17	第34図 遺物実測図(22)土器	53
第10図 SD234・244・247溝跡	18	第35図 遺物実測図(23)土器	54
第11図 SD355・1101溝跡、 SK228・1192土坑	20	第36図 遺物実測図(24)土器	55
第12図 SK30・33・303・463土坑	21	第37図 遺物実測図(25)土器	56
第13図 遺物実測図(1)土器	32	第38図 遺物実測図(26)土器	57
第14図 遺物実測図(2)土器	33	第39図 遺物実測図(27)土器	58
第15図 遺物実測図(3)土器	34	第40図 遺物実測図(28)土器	59
第16図 遺物実測図(4)土器	35	第41図 遺物実測図(29)土器	60
第17図 遺物実測図(5)土器	36	第42図 遺物実測図(30)土器	61
第18図 遺物実測図(6)土器	37	第43図 遺物実測図(31)土器	62
第19図 遺物実測図(7)土器	38	第44図 遺物実測図(32)土器	63
第20図 遺物実測図(8)土器	39	第45図 遺物実測図(33)土器	64
第21図 遺物実測図(9)土器	40	第46図 遺物実測図(34)土器	65
第22図 遺物実測図(10)土器	41	第47図 遺物実測図(35)土器	66
第23図 遺物実測図(11)土器	42	第48図 遺物実測図(36)土器	67
第24図 遺物実測図(12)土器	43	第49図 遺物実測図(37)土器	68
第25図 遺物実測図(13)土器	44	第50図 遺物実測図(38)土器	69
		第51図 遺物実測図(39)土器	70

第52图	遺物実測図(40)土器	71	第66图	遺物実測図(54)木製品	85
第53图	遺物実測図(41)土器・陶磁器・ 土製品	72	第67图	遺物実測図(55)木製品	86
第54图	遺物実測図(42)木製品	73	第68图	遺物実測図(56)木製品	87
第55图	遺物実測図(43)木製品	74	第69图	遺物実測図(57)木製品	88
第56图	遺物実測図(44)木製品	75	第70图	遺物実測図(58)木製品	89
第57图	遺物実測図(45)木製品	76	第71图	遺物実測図(59)木製品	90
第58图	遺物実測図(46)木製品	77	第72图	遺物実測図(60)木製品	91
第59图	遺物実測図(47)木製品	78	第73图	遺物実測図(61)木製品	92
第60图	遺物実測図(48)木製品	79	第74图	遺物実測図(62)木製品	93
第61图	遺物実測図(49)木製品	80	第75图	遺物実測図(63)木製品	94
第62图	遺物実測図(50)木製品	81	第76图	遺物実測図(64)木製品	95
第63图	遺物実測図(51)木製品	82	第77图	遺物実測図(65)木製品	96
第64图	遺物実測図(52)木製品	83	第79图	遺物実測図墨書集成(1)	114
第65图	遺物実測図(53)木製品	84	第79图	遺物実測図墨書集成(2)	115

図 版

巻頭図版 SG 2 出土人面墨描土器

図版 1 2 次調査 1・2 区遠景他

図版 2 2 次調査鍬入式他

図版 3 SK33 検出状況他

図版 4 EP592 土層断面他

図版 5 SG 2 木簡出土状況他

図版 6 SG 2 黒色土器出土状況他

図版 7 SG1301、SG1300 検出状況他

図版 8 出土遺物 (1)

図版 9 出土遺物 (2)

図版 10 出土遺物 (3)

図版 11 出土遺物 (4)

図版 12 出土遺物 (5)

図版 13 出土遺物 (6)

図版 14 出土遺物 (7)

図版 15 出土遺物 (8)

図版 16 出土遺物 (9)

図版 17 出土遺物 (10)

図版 18 出土遺物 (11)

図版 19 出土遺物 (12)

図版 20 出土遺物 (13)

図版 21 出土遺物 (14)

図版 22 出土遺物 (15)

図版 23 出土遺物 (16)

図版 24 出土遺物 (17)

図版 25 出土遺物 (18)

図版 26 出土遺物 (19)

図版 27 出土遺物 (20)

図版 28 出土遺物 (21)

図版 29 出土遺物 (22)

図版 30 出土遺物 (23)

図版 31 出土遺物 (24)

図版 32 出土遺物 (25)

I 調査の経緯

1 調査に至る経過

本報告書は、一般国道345号道路改築工事に伴う上高田遺跡の第2・3次緊急発掘調査の報告である。

上高田遺跡は、昭和4年に土器や木製椀が水田より出土したことにより存在が確認された。

昭和54年度には、山形県教育委員会が遺跡の詳細分布調査を行い、県遺跡台帳に登録した東西200m、南北200mの遺跡である。第1次調査は、平成6年度に県営ほ場整備事業(月光川下流地区)に係わる緊急発掘調査として約3,000㎡が対象として行われ、その成果は山形県埋蔵文化財センター調査報告書第25集として刊行されている。調査者はその出土遺物と遺構から平安前期9世紀前半から10世紀にかけての集落跡と報告している。

この度一般国道345号道路改築工事が実施されることとなり、平成7年度に県教育委員会が実施した上高田遺跡、木戸下遺跡、古屋敷遺跡の詳細分布調査の結果をもとに、保存協議や、施工方法を含めた事前協議が県教育庁文化財課及び庄内支庁建設部道路計画課等、関係機関の間で協議を重ねられた。その結果、上高田遺跡ではやむをえず用地に掛かる部分約5,490㎡を対象として緊急調査発掘を実施することで合意に至った。財団法人山形県埋蔵文化財センターは県教育委員会の委託を受けて平成8年度には約2,790㎡を、平成9年度には残り2,700㎡を対象に記録による保存を目的とした緊急発掘調査を実施した。

なお、2次調査では、深さ約2m、幅13~15mの河川跡が調査区を横断することが1次調査と詳細分布調査の結果から予想されたため、土砂の倒壊崩落や漏水を防止を目的として鉄鋼矢板を打ち込むことになった。

2 調査の経過

現地調査は第2次調査では平成8年5月7日から9月13日までの実質88日間、第3次調査は平成9年5月6日から7月30日までの実質60日間の日程で実施した。

調査区が農道により3つに分割されることから、南から1区、2区、3区と分けた。第2次調査では1、2区合計2,790㎡が対象となり、第3次調査では3区2,700㎡が対象となる。以下、上高田遺跡第2・3次調査における現地調査工程の概略を記す。

平成8年5月7日に機材を搬入した後、調査区両脇に幅2mの確認トレンチを入れ、河川跡の正確な位置と幅を確認した上で、調査区域と河川跡との境界域に長さ6mの鉄鋼矢板を打ち込む工事を5月27日から30日まで実施している。

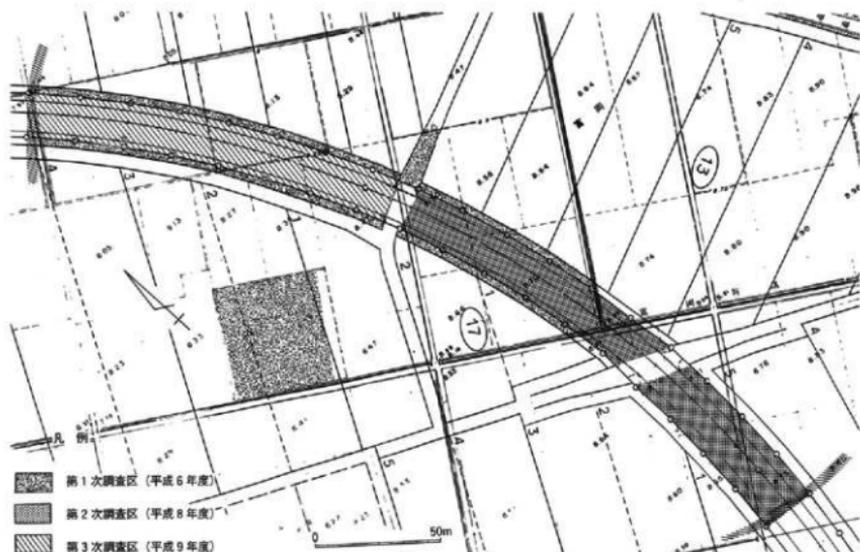
5月30日、2区北側から重機により耕作土を除去した。それと併行して、面整理と遺構検出作業を行っている。

また、次年度の第3次調査でも方眼区画(グリッド)を共用できるよう、国道345号改築工事の施工図に基き、国道345号改築工事の施工図中央線№139と富岡線第14号取付道路との交差点にある側溝(コンクリート製)上に東西の基点(コンクリート板)を設定し、それを基準として、5m

×5mを単位とするグリッドを設定した。グリッドの南北軸は磁北から $17^{\circ}40'$ 西に振れる。南北軸にはアラビア数字による番号を南から、東西軸にはアルファベットによる記号を東から割り当てた。

その後、遺構精査を行い、適宜遺構平面図・断面図、遺物出土状況を図面と写真に記録し、9月2～3日には遺構の完掘状況の空中写真測量を実施した。翌4日には63名の参加者を得て現地調査説明会を開催している。9月13日には機材を撤収し、現地調査を終了した。

第3次調査は平成9年5月6日に発掘機材を搬入し、翌7日から重機により調査区全体の耕作土を掘削した。それと並行して面整理と遺構検出を行っている。その後遺構精査を行い、遺構平面図・断面図、遺構出土状況を適宜図面と写真に記録している。7月23日に空中写真測量を実施し、翌24日には74名の参加者を得て現地調査説明会を開催した。7月30日には機材を搬出し、現地調査を終了した。



第1図 調査区概要図(1:2,000)

II 遺跡の立地と環境

1 地理的環境

上高田遺跡は、遊佐町の中心部から北西約2 kmの山形県飽海郡遊佐町大字富岡に所在する。遊佐町は山形県の西北に広がる庄内平野の北端にあり、東西16.6km、南北15.9kmのほぼ正方形の町域をなす。西は日本海に面し、北には標高2,237mの鳥海山がそびえる。

遊佐町は東から山間部・山麓部・平野部・日本海沿岸部に大別される。山間部は、鳥海山系により形成されている。鳥海山は鳥海火山地帯に属する県内の最高峰で、その端麗な容姿から「出羽富士」の名で親しまれている全国有数の大型成層火山でもある。山麓部は一部が畑地や果樹園として利用されているが、ほとんどが針葉樹の人工林である。平野部は「遊佐海岸低地」と呼ばれる潟湖性の低湿地で、砂・礫・泥などを主体とする湿沼地の土壌が堆積している。現在では大きな河道には人工的な堤防が作られ、低湿地は大規模な場整備事業により水田化されるなど、自然の地形が改変されているため、かつての地形はほとんど確認するのが困難な状況になっている。日本海沿岸部には南北約35km、東西1.5~3.0kmにわたって庄内砂丘が延びている。地目は畑地であるが、土質が粗粒質砂で透水性が極めて大きく、保肥力が乏しい。そのため、農作物の栽培時期にはスプリンクラーを使って一日に何度も散水する光景が見られる。

庄内地方の気候は一日の寒暖の差が小さい海洋性気候に属し、内陸部と比較すると、夏は西からの浜風により湿度が低く過ごしやすい。冬は曇りの日が多く、日照時間は夏の4分の1ほどである。また強い季節風が吹き荒れ、地吹雪をおこす。四季を通じて季節風の影響を受けるため、この地方では多くの家屋の周辺に暴風・防砂のための屋敷林が植えられている。

近年、庄内地方では酒田市浜中に庄内空港が建設され、高速道路の東北自動車道酒田線が開通するなど、交通網の整備が進んでいる。今では観光としてその姿を残す最上川の舟下りも、大正年間に鉄道が開通するまでは、物資運搬等に利用される重要な交通手段であった。内陸で生産される米などの農産物や特産の紅花などは川船で酒田に集められ、そこから海船で江戸や上方に回漕された。逆に全国から酒田を通して、塩・水油・干魚・陶磁器のほか江戸、上方の文化ももたらされたのである。

2 歴史的環境

古代大和政権が「蝦夷」と呼んでいた東国に関与するのは大化改新以後である。当初は地元の豪族を懐柔して間接的に関わってきたが、8世紀にはいと城柵を設置し、柵戸と呼ばれる移民を配置して植民政策を大規模に推進するようになった。こうして出羽国に送られた柵戸の出身地は関東・東海・中部・北陸地方の東日本一帯に及んでいる。庄内地方に多く見られる諏訪神社や古四王神社は柵戸達が出身地から勧請したものであろう。

越後国に大化3年(647)淳足柵が、翌年には磐舟柵が設置され、日本海側でも植民施策が推進されていく。和銅元年(708)には越後国の一部として出羽郡が設置され、和銅5年(712)には陸奥国の置賜、最上郡を併せて出羽国が越後国から分離されて設置した。天平5年(733)には秋田



国土地理院発行2万5千分の1地図「吹浦」〔羽後朝倉寺〕を1/2縮小して使用。

- | | | | | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------------|------------|-----------|----------------|----------|-----------|
| 1 上高田遺跡 | 2 船田遺跡 | 3 野瀬遺跡 | 4 中田遺跡 | 5 上山輪遺跡 | 6 田中遺跡 | 7 北吾長田遺跡 | 8 地藏田遺跡 | 9 堂田遺跡 |
| 10 橋待遺跡 | 11 北目館跡 | 12 水戸下遺跡 | 13 宮ノ下遺跡 | 14 瀨内遺跡 | 15 宮田橋跡 | 16 木原遺跡 | 17 古原遺跡 | 18 石田遺跡 |
| 19 宅田遺跡 | 20 大坪遺跡 | 21 三田遺跡 | 22 硯水遺跡 | 23 仁田田遺跡 | 24 北子橋下遺跡 | 25 野武館跡 | 26 小原田遺跡 | 27 東田遺跡 |
| 28 下長橋遺跡 | 29 浮橋遺跡 | 30 水尻遺跡 | 31 大塚遺跡 | 32 平津館跡 | 33 前田遺跡 | 34 地正高遺跡 | 35 舟田遺跡 | 36 佐高遺跡 |
| 37 高田遺跡 | 38 水上A遺跡 | 39 水上B遺跡 | 40 水上C遺跡 | 41 宮下遺跡 | 42 前門遺跡 | 43 村崎遺跡 | 44 榎岡遺跡 | 45 藤岡遺跡 |
| 46 門出遺跡 | 47 菅王寺遺跡 | 48 向田遺跡 | 49 東院寺跡(向田田園跡) | 50 豊原B遺跡 | 51 豊原遺跡 | 52 西院寺跡(向田田園跡) | 53 後田遺跡 | 54 茅針谷跡遺跡 |
| 55 堂の前遺跡 | 56 八森遺跡 | 57 サメと石遺跡 | 58 別所神社遺跡 | 59 別所神社東遺跡 | 60 豊戸町A遺跡 | 61 豊戸町B(化原)遺跡 | | |

第2図 遺跡位置図 (S=1:50,000)

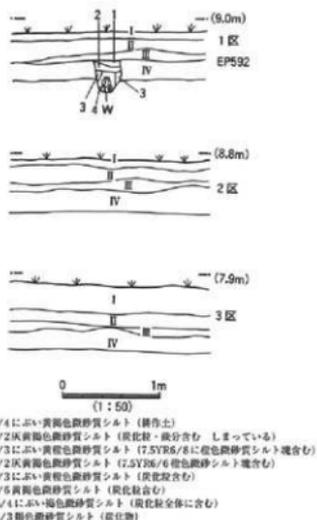
高清水岡に出羽権が移転している。しかし「蝦夷」の抵抗が大きくなり、延暦23年(804)には「井口府」に国府が移転している。「井口府」は国指定史跡「城輪権」であるとする説が有力である。

飽海平野部にある遺跡の多くは、平安時代を中心とする集落跡である。上高田遺跡周辺の遺跡をあげれば、庄内高瀬川に沿って、北目長田・橋待・宮ノ下・木戸下・宅田・大坪遺跡等、ほぼ同時期の遺跡が並ぶように存在する。これらの多くの遺跡の遺構内からは灰白色火山灰が検出されている。理化学分析の結果から十和田aテフラと見なされている。これは「扶桑略記」延喜15年(915)7月13日の条に所見される火山灰とみられ、年代比定の重要な参考資料となっている。また、これらの遺跡は国府の城輪権移転を契機に開発された可能性も指摘されている。

「遊佐」の地名は10世紀はじめに成立した「延喜式」に見られる「遊佐駅」が初見である。11世紀頃には摂関家領として「遊佐荘」が成立するが荘官として実質上支配をしていたのは奥州藤原氏である。中世の遺跡としては大橋遺跡が広く知られている。橋木列とその内部に規則的に設けられた建物跡が検出され、13世紀代を中心とした国産・輸入陶磁器等の遺物も多数出土し、鎌倉時代の遊佐の中心的施設であったとみられる。他にも高瀬川中・下流沿いには平成3年に緊急発掘調査が行われている宮田館跡や南北朝期の当地の支配者であった「北目留守殿」の居館である北目館跡がある。中世のこの地域の動向については、文献史料が乏しくつまびらかではない。

3 遺跡の層序

上高田遺跡は庄内高瀬川と月光川的作用によって形成された沖積微高地上に立地し、地目は水田である。上高田遺跡周辺では近代以降、数度にわたり耕地整理、暗渠管敷設工事が行われ、遺構面がかなり削平を受けている。基本層序の観察は、1区(F-16グリッド付近)、2区(F-30グリッド付近)、3区(D-59グリッド付近)それぞれ1カ所ずつ行った。いずれもI・II層が表土である。I層は耕作土で、しまりに欠ける。II層は耕作による攪乱を受けていない層でしまっている。III層は耕地整理により形成された表土と遺構確認層の漸移層であり、炭化物粒子・土器片を含みしまっている。IV層は遺構確認層である。遺物はI・II層からも出土しているが耕作と耕地整理による攪乱により移動しているものと考えられる。



第3図 基本層序図

Ⅲ 検出遺構

1 遺構遺物の分布

第1次調査では、東からSX 2、SG 1・3・6・4・5が検出された。調査者はSX 2を除く5カ所が1本の河川の蛇行した跡と推定した。今回の調査により、SX 2も蛇行した河川跡の落ち込み部分であることが判明し、SG 4、5周辺で若干の流路の修正を加える必要がでてきた。

河川跡は2区と3区を蛇行しながら流れ、遺物の大半も河川跡から出土している。河川跡のためか、2・3区では河川と同時期の遺構はほとんど検出されなかった。1区からはピット群や土坑、溝跡が検出され、ピットのいくつかは掘立柱建物跡として組み合わせ可能である。

2 河川跡

今回の第2・3次調査では河川跡を4カ所で検出した。2区ではSG 1・2の2本、3区ではSG 1300・1301の2本を確認した。詳細は後述するが、いずれも出土遺物の年代は、9世紀から10世紀を主とする。また、河川跡からは様々な動物・植物遺体が出土した。詳細を記す紙幅はないが、馬の頭骨や現在山口県口ノ島にいる在来小形牛に近似する牛の左大腿骨等動物遺体やイヌガヤ、オニグルミ、スモモ、モモ、トチ、イネ、ウリ類の植物遺体がある。

SG 1 河川跡 (第5図)

2区のA～E-31～35グリッド(以下Gとする)に位置する。川幅は約14m、現地表面から川底まで約2mを測る。SG 2が西流し、北東方向に強く湾曲したものがSG 1である。1次調査のSG 1と同一の河川跡である。

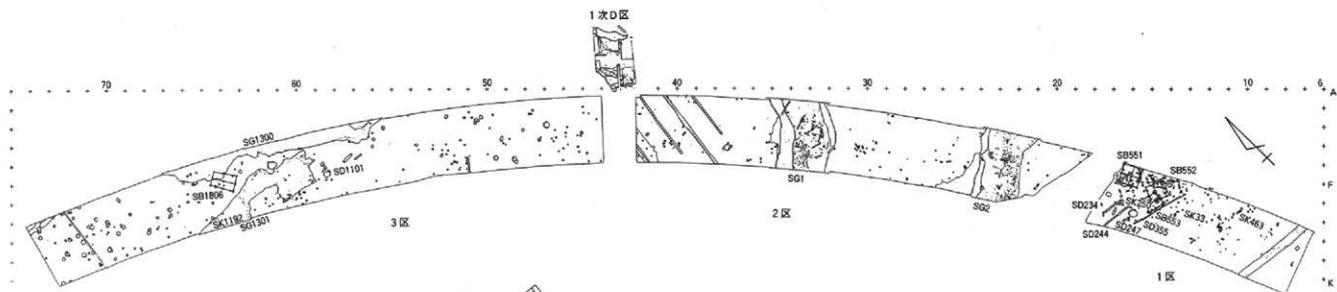
層位を観察すると、上位層が泥炭層で、中位層との境周辺からは遺物が比較的纏まって出土した。土器は下位層に比較すると、依存状態も量的にも下位層より劣る。中位層は砂質シルトで、河岸部では火山灰の堆積が確認でき、理化学分析により、十和田aテフラと同定された。下位層はシルト質砂で、完形に近い土器と木製品が、河床部は粗砂層で、潜り込むように土器が出土した。土層の堆積状況から、下位層形成時は水量も多く、流れも急であったと推測できる。徐々に流れが遅くなり、中位層では十和田aテフラも堆積し、その後、水量の急激な減少と流れの停滞が何われ、葦などの植物が繁茂、堆積して上位層が形成されたと推定できる。

SG 2 河川跡 (第6図)

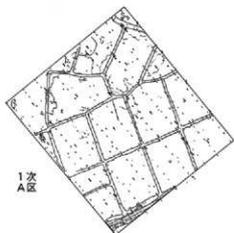
2区のC～F-21～24Gに位置する。川幅は約14m、現地表面から川底まで約2mを測る。SG 1の上流にあたり、第1次調査では落ち込み部分を検出し、SX 2としている。土層の堆積状況は、SG 1とはほぼ同じである。中位層にはSG 1と同様、十和田aテフラの堆積を観察できる。

SG 1300河川跡 (第7図)

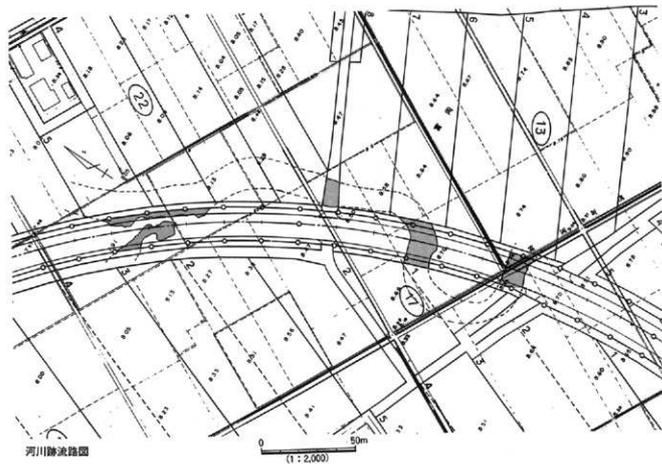
3区のB～F-55～67Gに位置する。SG 2・1の下流にあたる。3区北側をかすめるように東からやや湾曲して西北方向に流れる。川幅は不明で、現地表面から川底まで約1.5mである。1次調査ではSG 4・5としている。遺物の依存状況、量ともに、SG 1・2より劣る。土層の堆積状況は、SG 1・2と類似し、十和田aテフラの堆積も確認できるが、数度の流路変更が観



0 20m
(1:1,000)



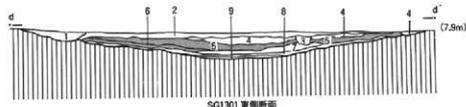
1次
A区



河川跡流路園

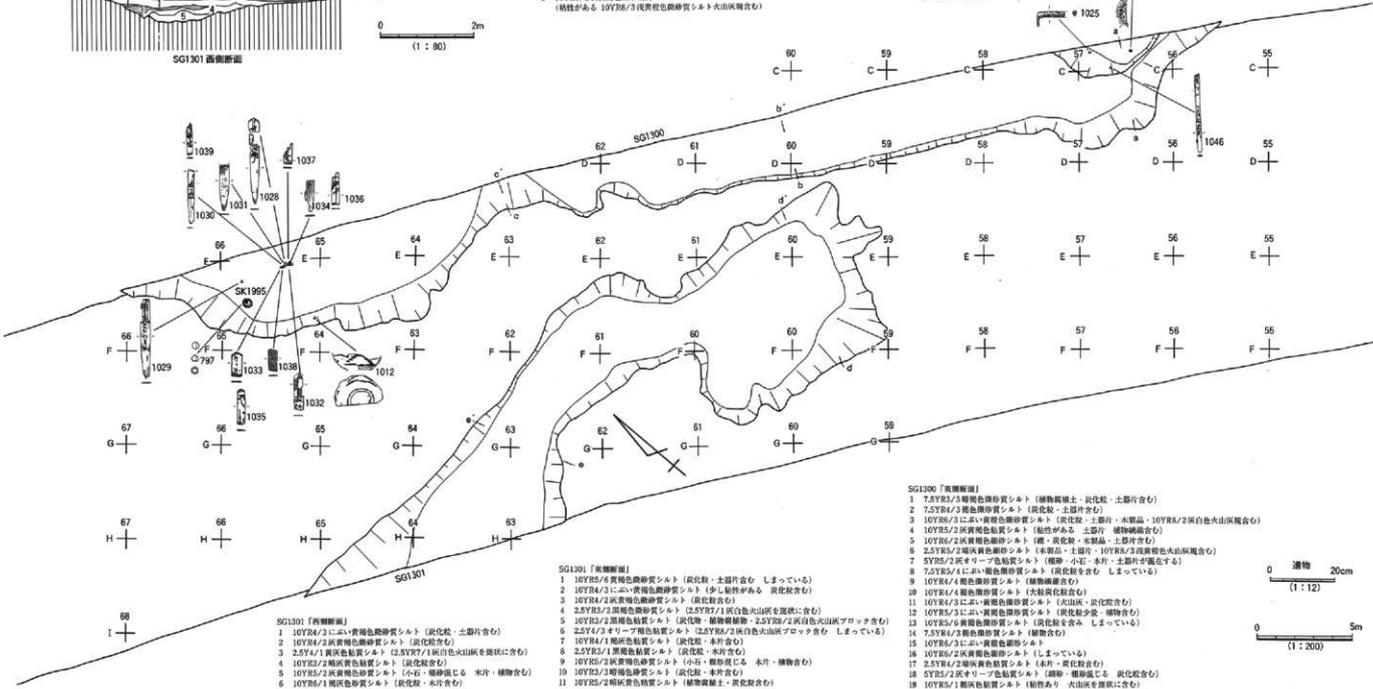
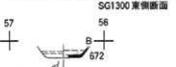
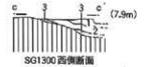
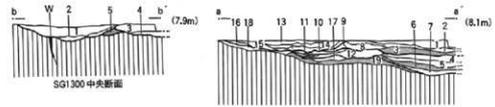
0 50m
(1:2,000)

第4図 遺構配置図



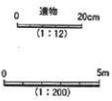
- SG1300 「南側断面」
- 1 10YR5/2 黒褐色細砂質シルト (炭化殻・土層片含む)
 - 2 10YR5/2 灰黄色細砂質シルト (炭化殻・土層片含む)
 - 3 10YR5/2 灰黄色細砂質シルト (植物・腐敗物混在する)

- SG1300 「中央断面」
- 1 10YR5/4 に近い黄褐色粘砂質シルト (少し植物がある 炭化殻・土層片含む)
 - 2 10YR5/4 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻・土層片含む)
 - 3 10YR5/2 黒褐色細砂質シルト (炭化殻・土層片含む)
 - 4 2.5YR5/2 暗褐色粘砂質シルト (腐・炭化物・木葉品・土層片含む)
 - 5 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (植物・腐敗物混在する)



- SG1301 「南側断面」
- 1 10YR5/6 黄褐色粘砂質シルト (炭化殻・土層片含む)
 - 2 10YR5/3 に近い黄褐色粘砂質シルト (少し植物がある 炭化殻含む)
 - 3 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻含む)
 - 4 2.5YR5/2 暗褐色粘砂質シルト (2.5YR7/1 灰白色火山灰を混在させている)
 - 5 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻・植物腐敗物・2.5YR5/2 灰白色火山灰プロックを含む)
 - 6 2.5YR4/3 オリーブ褐色粘砂質シルト (2.5YR7/2 灰白色火山灰プロックを含む)
 - 7 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻・木屑含む)
 - 8 2.5YR5/1 黒褐色粘砂質シルト (炭化殻・木屑含む)
 - 9 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (小石・植物殻を含む 木片・植物含む)
 - 10 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻・木屑含む)
 - 11 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (植物腐敗土・炭化殻含む)

- SG1300 「北側断面」
- 1 7.5YR5/3 暗褐色粘砂質シルト (植物腐敗土・炭化殻・土層片含む)
 - 2 7.5YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻・土層片含む)
 - 3 10YR5/3 に近い黄褐色粘砂質シルト (炭化殻・土層片・木葉品・10YR5/2 灰白色火山灰を混在)
 - 4 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (植物がある 土層片・植物腐敗物含む)
 - 5 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (腐・炭化物・木葉品・土層片含む)
 - 6 2.5YR5/2 暗褐色粘砂質シルト (木葉品・土層片・10YR5/3 灰黄色火山灰を混在)
 - 7 5YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (腐敗物・小石・木屑・土層片を混在する)
 - 8 7.5YR5/4 に近い黄褐色粘砂質シルト (炭化殻を含む)
 - 9 10YR5/4 褐色粘砂質シルト (植物腐敗物含む)
 - 10 10YR5/4 褐色粘砂質シルト (炭化殻・植物腐敗物含む)
 - 11 10YR5/3 に近い黄褐色粘砂質シルト (火山灰・炭化殻含む)
 - 12 10YR5/3 に近い黄褐色粘砂質シルト (炭化殻・少量の植物を含む)
 - 13 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (炭化殻・木屑含む)
 - 14 7.5YR5/3 暗褐色粘砂質シルト (植物腐敗物含む)
 - 15 10YR5/3 に近い黄褐色粘砂質シルト
 - 16 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (少し植物がある)
 - 17 2.5YR5/2 暗褐色粘砂質シルト (木屑・炭化殻含む)
 - 18 5YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (腐敗物・植物腐敗物・炭化殻含む)
 - 19 10YR5/2 灰黄色粘砂質シルト (植物・腐敗物混在)



第7図 SG1300・1301河川跡

察可能だ。最上層部からは中世の遺物も出土し、中世には湿地として存在していた可能性がある。

SG1301河川跡(第7図)

3区のD～I-59～65Gに位置する河川跡である。検出面ではSG1300と直接繋がらないが、河川の向きや包含遺物の時期を検討すると、SG1300と関連が非常に強く、洪水などによる非継続的な流路変更により形成された可能性が非常に高い。土層を観察すると、概ね灰褐色系の砂質シルトであるが、中間に十和田aテフラを含む層を確認できる。各層とも包含遺物は9～10世紀の須恵器、赤焼土器の細片で、実測可能な大きさに復元できたものはなく、割れ口も摩耗しており、流れ込みであることを如実に物語っている。木製品は出土していない。

3 掘立柱建物跡

本調査では合計4棟の掘立柱建物跡を検出した。他にも1区の北東部を中心に多数のピットを検出したが、建物跡に組み合わせることができなかった。以下掘立柱建物跡の概略を記す。

SB551(第8図)

1区E-15・16Gに位置し、2間×2間の東西棟総柱建物跡である。建物の主軸方向はN-43°30′-Wを測り、梁行の間尺が2.4～2.6m、桁行の間尺は約2.5mである。柱穴の深さは検出面から8～36cmを測る。覆土は堆積により形成されたようである。

SB552(第8図)

1区E・F-14・15Gに位置する2間×2間のほぼ正方形の建物跡である。建物の主軸方向はN-49°30′-Wを測り、梁行の間尺が1.8～2.3m、桁行の間尺は1.8～2.2mとややばらつきが見える。SB553と重複が見られ、時期差が想定される。

SB553(第9図)

1区F-14・15Gに位置する2間×2間のほぼ正方形の建物跡である。建物の南北軸の方向はN-36°-Wである。SB552と重なることから、時期差が存在すると見られる。柱の間尺が1.6～2.2mを測る。柱穴の重なり具合から立て替えがあった可能性が高い。

SB1806(第9図)

3区D・E-63・64Gに位置する2間×2間の南北棟総柱建物である。建物の主軸方向はN-44°45′-Wで、梁行の間尺が3～3.2m、桁行の間尺が2～2.2mである。SG1300と一部重なる。掘り方は浅く、耕地整理等で削平されたものと見られる。

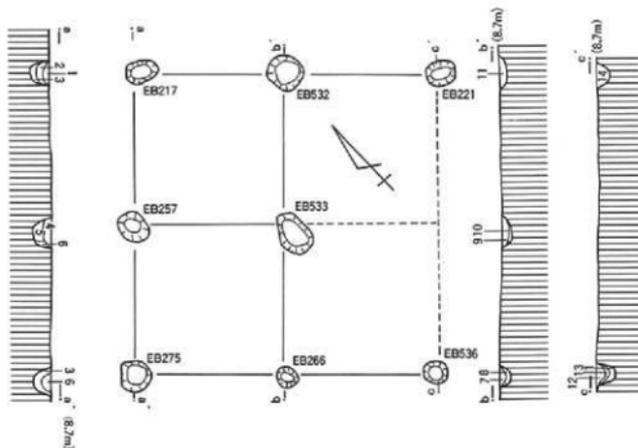
4 溝跡

SD234(第10図)

1区F・G-16・17Gに位置する長さ6m、幅30～50cm、深さ15cmの溝跡である。SD244・247とはほぼ平行であり、同時期のものと見られる。

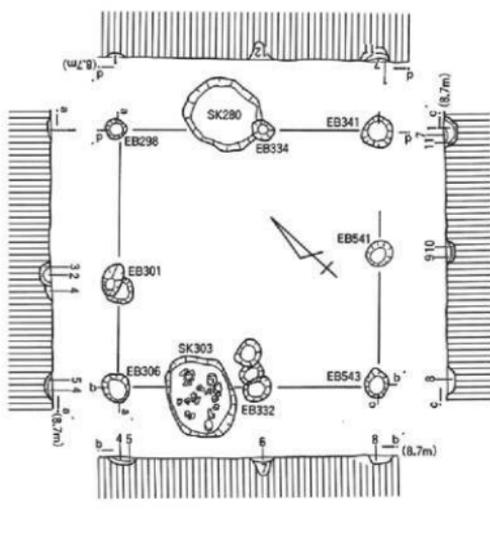
SD244(第10図)

1区F・G-16・17Gに位置する長さ9m以上、幅30～50cm、深さ20cmの溝跡である。



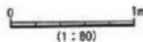
SB551

- | | |
|--|--|
| 1 7.5YR6/3に多い褐色土砂質シルト (7.5YR6/3褐色土を含む) | 8 10YR5/2灰黄褐色土砂質シルト (7.5YR5/4に多い褐色土を含む) |
| 2 10YR5/2灰黄褐色土砂質シルト | 9 10YR6/3に多い黄褐色土砂質シルト (炭化粒を含む) |
| 3 10YR5/4に多い黄褐色土砂質シルト | 10 10YR5/4に多い黄褐色土砂質シルト (7.5YR5/6明褐色土を含む) |
| 4 10YR3/4明褐色土砂質シルト (炭化粒を含む) | 11 7.5YR6/3褐色土砂質シルト |
| 5 10YR2/3に多い黄褐色土砂質シルト | 12 10YR3/3明褐色土砂質シルト (炭化粒を含む) |
| 6 10YR3/4明褐色土砂質シルト (炭化粒を含む) | 13 10YR6/3に多い黄褐色土砂質シルト |
| 7 10YR4/2灰黄褐色土砂質シルト (Lまattering) | 14 10YR3/3明褐色土砂質シルト (炭化粒と土器片を含む) |

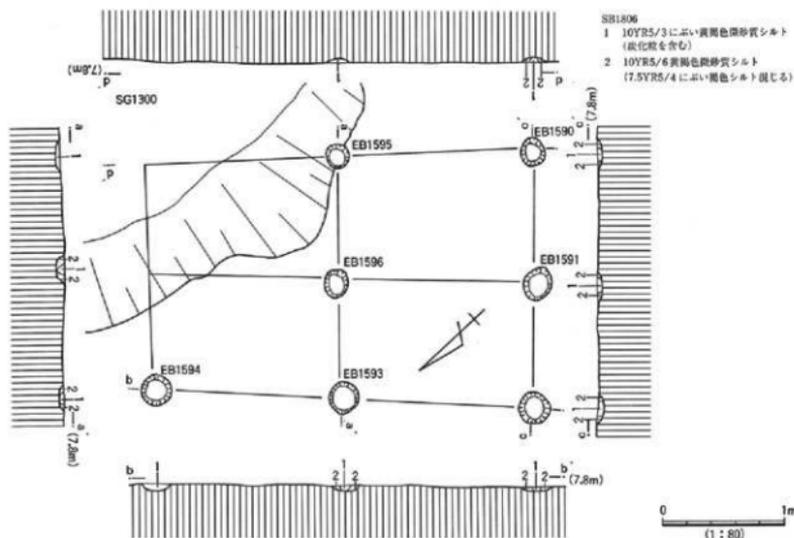
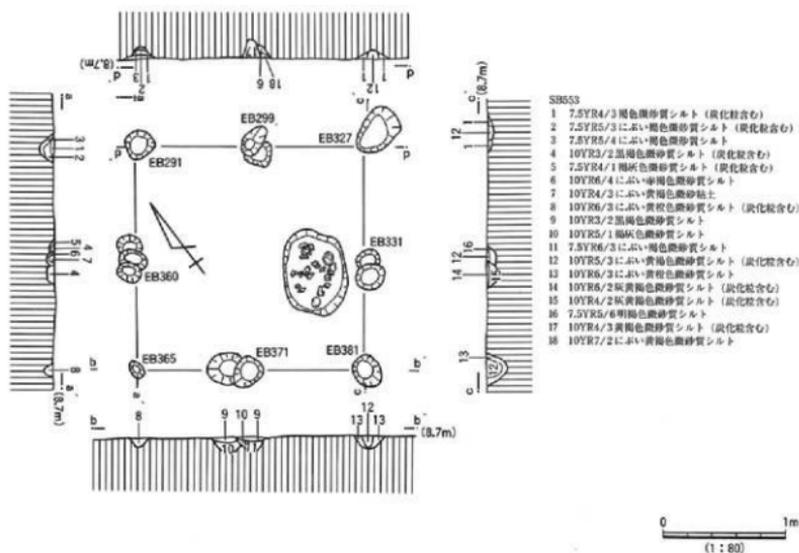


SB552

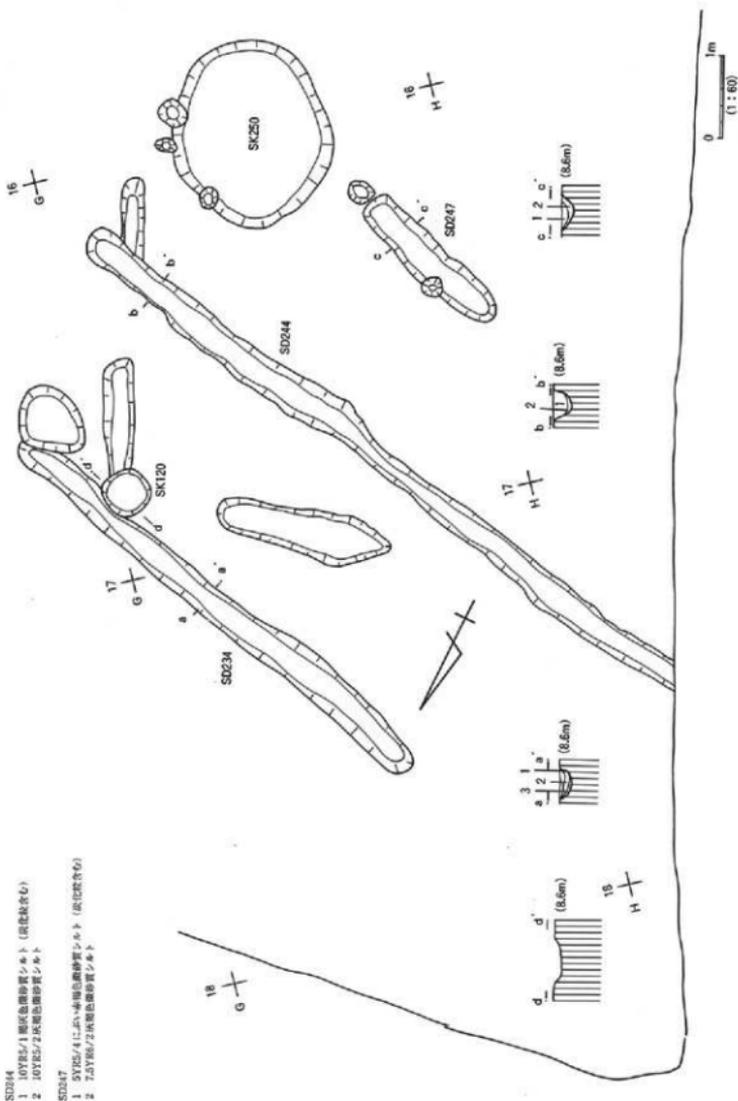
- 1 10YR6/3に多い黄褐色土砂質シルト
- 2 10YR6/2灰黄褐色土砂質シルト (炭化粒を含む)
- 3 10YR5/3に多い黄褐色土砂質シルト
- 4 10YR5/2灰黄褐色土砂質シルト
- 5 7.5YR5/6明褐色土砂質シルト
- 6 10YR3/3明褐色土砂質シルト (炭化粒を含む)
- 7 10YR6/2灰黄褐色土砂質シルト
- 8 10YR5/3に多い黄褐色土砂質シルト (炭化粒を含む)
- 9 10YR5/2に多い黄褐色土砂質シルト (10YR7/6明褐色土を含む)
- 10 10YR2/6明褐色土砂質シルト
- 11 7.5YR5/4に多い褐色土砂質シルト
- 12 10YR3/3明褐色土砂質シルト (炭化粒を含む)



第8図 SB551・552掘立柱建物跡



第9図 SB553・1806掘立柱建物跡



SD234

1. 10YR2.5/3暗褐色砂質シムト (炭化灰含む)
2. 10YR2.5/2灰褐色細砂質シムト (炭化灰と炭分含む。しまっている)
3. 10YR2.5/6褐色細砂質シムト

SD244

1. 10YR2.5/1暗褐色細砂質シムト (炭化灰含む)

SK120

1. 5YR5.5/1.5にみよい赤褐色細砂質シムト (炭化灰含む)

SK250

2. 7.5YR6.2/3灰褐色細砂質シムト

第10図 SD234・244・247溝跡

SD247(第10図)

1区F・G-16・17Gに位置する長さ2m、幅50cm、深さ20cmの溝跡である。

SD355(第11図)

1区F・G-13~15Gに位置する長さ14.3m、幅20~30cm、深さ10cmの溝跡である。幅も狭く、深さも浅く、一部検出不可能なところもあるなど、建物の雨落ち溝である可能性もある。SB553と平行であることから、SB553はもっと規模が大きい可能性もある。

SD1101(第11図)

3区E-58Gに位置する長さ4.7m、幅1.1m、深さ30cmの溝跡である。覆土は比較的締まった明褐色の粘質シルトで、出土遺物はいずれも実測不可能な小片だが、赤焼土器の瓶、壺の他、大窯Ⅰ期かⅡ期の瀬戸の印花皿や近世の肥前系陶器が見られ、遺構の年代は近世と見られる。

5 土坑

土坑はほとんどが1区にあり、ほとんどが平安期の遺物を伴う。

SK228(第11図)

1区G-18Gに位置する1.5×2m、深さ35cmの不定形の土坑である。

SK1192(第11図)

3区G-67Gに位置する。SG1301を掘り込んでいる。1層目から『治平元寶』が出土した。

SK463(第12図)

1区H-11Gに位置する2.2×1.1m、深さ15cmの溝状の土坑である。径10~20cmの礫と伴に赤焼土器が割れた状態で出土した。廃棄坑の可能性が高いと推定している。

SK303(第12図)

1区G-16Gに位置する1.5×2m、深さ35cmの土坑である。径15cmほどの礫と赤焼土器、須恵器瓶などの破片が出土した。堆積層が数層存在し、比較的長期間使用されたと見られる。

SK33(第12図)

1区I-12Gに位置する1×2.4m深さ15cmの土坑である。灰褐色のシルト層の下に黒色の炭状の炭化物層があり、そこからは赤焼土器の坏、瓶、壺が、径10~20cmの礫と伴に出土し、その下層には焼土を含む層が存在した。図化した5点の赤焼土器には使用痕が認められない。何らかの祭祀遺構である可能性も否定できない。

SK250(第12図)

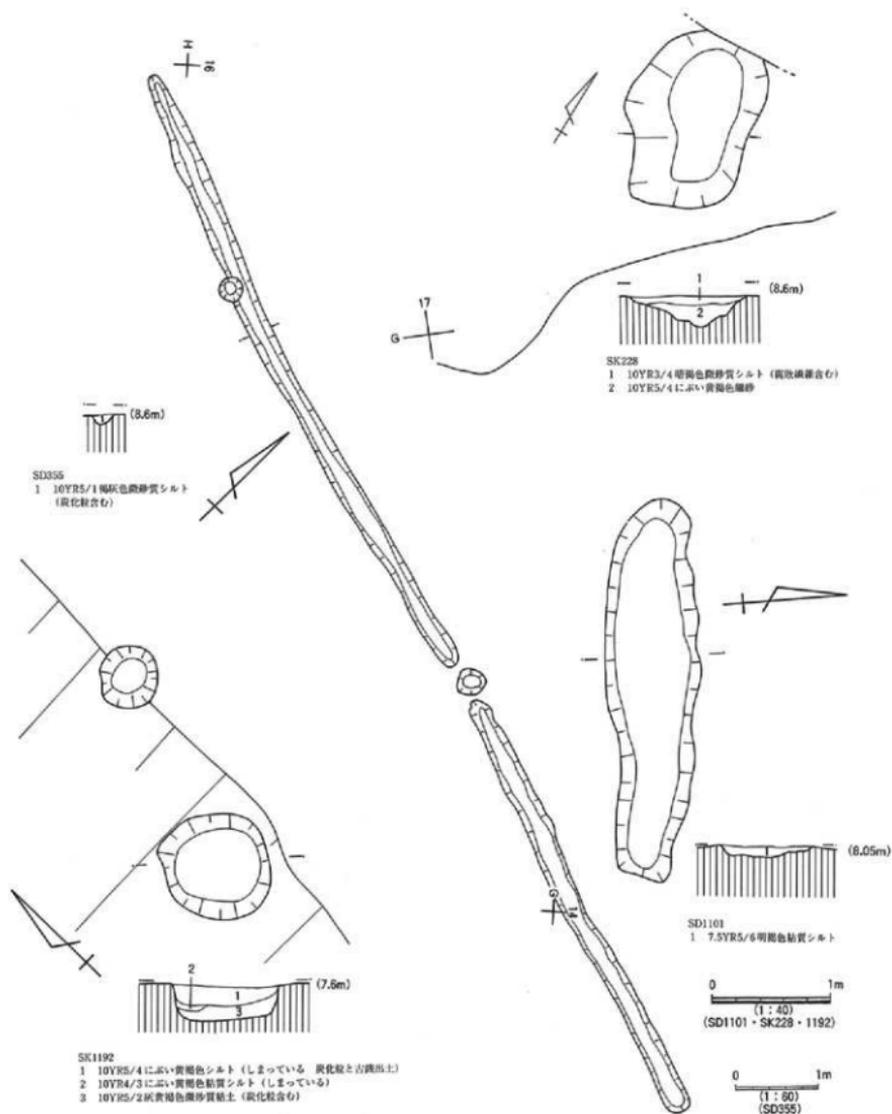
1区H-17Gに位置する径3m、深さ50cmの土坑である。赤焼・内黒土器の細片が出土した。

SK30(第12図)

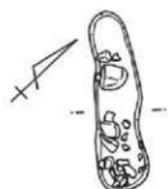
2区E-19Gに位置する径1.8m、深さ30cmの土坑である。赤焼土器の細片が少量出土した。

SK1995(第7図)

3区F-66Gに位置する。SG1300を切っている。礫や須恵器、赤焼土器片に覆われるようにして、骨片が出土している。依存状態が悪くなかったため、種別や部位は不明である。周辺から中世の卒塔婆、陶磁器片や水晶球が出土したことから中世に形成されたと見られる。

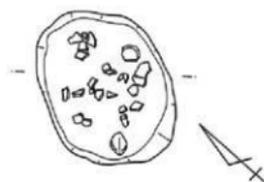


第11図 SD355・1101溝跡、SK228・1192土坑



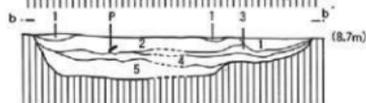
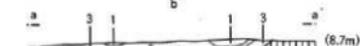
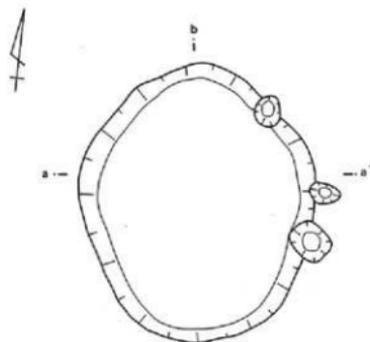
SK463

- 1 10YR5/3に多い黄褐色細砂質シルト（炭化粒と土器片含む）
- 2 2.7YR5/3に多い褐色細砂質シルト（炭化粒含む）



SK303

- 1 7.5YR4/2灰褐色細砂質シルト（炭化粒と土器片含む）
- 2 10YR3/3暗褐色細砂質シルト（炭化粒と土器片含む）
- 3 7.5YR5/4に多い褐色細砂質シルト（土器片含む）
- 4 10YR5/3に多い黄褐色細砂質シルト

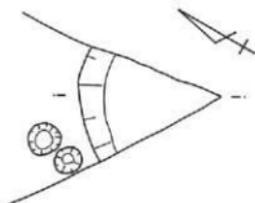


SK250

- 1 10YR4/3に多い黄褐色細砂質シルト（炭化物含む）
- 2 10YR5/3に多い黄褐色細砂質シルト（7.5YR5/6明褐色褐色含む）
- 3 7.5YR4/4褐色細砂質シルト
- 4 7.5YR5/4に多い褐色細砂質シルト
- 5 10YR6/3に多い黄褐色細砂質シルト
- 6 10YR5/4に多い黄褐色細砂質シルト



SK33



SK30

- 3 10YR5/4に多い黄褐色細砂（大土器片含む）
- 4 10YR4/4褐色細砂（7.5YR5/6明褐色褐色含む）



第12図 SK30・33・250・303・463土坑

IV 出土遺物

上高田遺跡の第2次調査では86箱、第3次調査では35箱、合計121箱の遺物が出土した。種別に土器、木製品、土製品、金属製品、石製品と分類できる。これらの大半が河川跡から出土した。遺物の大半は奈良時代末から平安時代初期の時期に帰属する。以下、時期について明示しない遺物は全てこの時期に属すると見ている。以降、種別ごとに出土遺物の概略を述べる。

1 土器(第13~47, 49~53図)

土器の帰属時期は奈良時代末から平安時代初期である。図化した遺物の出土地点も大半が河川跡からで、過半数はSG1・2からの出土である。挿図では、出土遺物別にSG1・2・1300、その他の遺物の順に掲載したが、本文では紙幅の関係上、時代別に概述する。

縄文・弥生時代の土器(第47図)

いずれもSG1河床部から出土した。(649, 653)は断面が摩耗し、河川の上流部より流されたものと見られる。いずれも小片のため詳細は述べられないが、概ね(649)は縄文時代晩期、(653)は縄文時代後期、(654)は縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての所産と見られる。

奈良・平安時代の土器

今回の調査で主体を成すのはこの時期である。今回図化した土器の出土地点は、SG1・2が大半を占め、SG1300がこれに続くが、SG1301からの出土遺物は、ほとんどが摩耗した細片で実測に耐えられず、紙幅の関係もあり図化作業の対象外とした。土器の種別は須恵器、赤焼土器、土師器、施軸陶器に大別可能である。以下、種別にその特徴の概略を述べて行く。

須恵器

図化した須恵器は器種別には無台坏、有台坏、皿、蓋、壺、甕に分類できる。量的には圧倒的に無台坏を中心とする供膳形態が優位を占める。そこで、無台の坏について別個の分類作業を行った。製作技法と器形を観察し、今回は敢えて大雑把に10種類に分類してみた。

A：底部が回転ヘラ切りで、底径は大型である。体部から口縁部がほぼ直線的で、器高指数が高めであり、箱形に近い。(18, 258, 261)

B：底部が回転ヘラ切りで、底径は大型である。A類よりやや器高が低めで、体部から口縁部がほぼ直線的で、逆台形を呈する。(1~17, 282, 284)

C：底部が回転ヘラ切りで、底径は大型。底部と体部の境は底部回転糸切りのように鋭いエッジを持ち、口縁部は直線的である。(24, 25, 27, 277, 279)

D：底部が回転ヘラ切りで底径がBより小型化し、体部の外傾度が強い。器高は低い。(26, 28, 29, 262~266)

E：底部が回転ヘラ切りで、底径は非常に小型化している。体部から外部にかけては直線的に大きく外傾している。(19, 20, 31, 274~276)

F：底部が回転糸切りで、体部から底部にかけてやや弯曲しながら立ち上がる。体部下部を押し広げように見かけの底径を大型化している。(59, 64, 305, 308, 309)

G：底部が回転糸切りで、器高が高く、体部が弯曲気味である。口縁外部は直線的であるが口縁内部が、体部に比して器厚が厚い。(37、38、322)

H：底部が回転糸切りで、器高はG類より低く、体部はやや弯曲傾向が何え、口縁部は外反傾向が強い。(57、61、318、321)

I：底部は回転糸切りで、体部は外傾度強く、口縁部は直線的である。E類に類似した形態、量度である。(58、60、63、307、313～316)

J：底部が回転糸切りで、底径は小型化している。器高は低く、体部は大きく外傾し、口縁部は大きく外反している。(46～54、329～331)

K：底部が回転糸切りで極端に小型である。体部が弯曲し、口縁部が厚みを持ち特徴的で、外反気味である。蓋の可能性もある。(55)

有台坏も器種分類可能である。底部より高台径が極端に小さく、底径指数が大きく、体部から口縁部にかけては直線的で、大型と小型のものがあり、大型のは身が非常に深い。(106～110、116、117、360～366、369、371、704、707)底径指数が小さく、体部が弯曲し、口縁部が外反する。大型と小型のものがあるがどちらも身が深い。(118、120、122、123、367、368、370、372～379、706)

皿は4点出土している。(385～387、709)口縁部が外反気味で、底部切り離し技法は(387)のみが回転糸切りで、他は回転ヘラ切りである。墨書率が高く、特殊な用途が想定される。

(424、425)の胎土は色は赤褐色を成しているが、胎土はきめが細かく、須恵質であるので須恵器に分類した。器種は椀・鉢類で鉄鉢形を呈していると見られる。

蓋は全体的に点数が少なく、他の器種に比べて依存状態が悪く、分類も困難であり、大まかな傾向を示すに留める。天井部が平らなものと弯曲しているものが見られる。つまみの部分は宝珠形に近いものと中央部が凹んでいるものが見られる。(140)は特殊な形式で、口縁端部が坏状になり器高が高い。外面が全面灰被り、緑褐色の軸状になっている。(396)は壺の蓋である。

壺は長頸壺と短頸壺がある。全体的に出土個体数が少なく、完形品もない。体部が球形に近く、肩部との境が不明瞭なものと、体部が直に上がり、肩部との境が明瞭なものに大別できる。また、口縁部にもバリエーションが何える。

甕も破片資料が多いが(154)はほぼ完形である。また、内外のタタキ、アテ痕のパターンには条線状、青海波、格子状などの種類があり、数種提示した。(431)には割れ口を布であてがひ、漆で補修した痕跡が観察できる。

横瓶は2点出土した。(157)は焼きが良く、外面が被灰し、緑褐色の軸状になっている。口縁部と閉塞部は接合しないが、同一個体である。(423)は肩部に「加」とヘラ書きされている。

赤焼土器

今回の調査で出土量が最も多く、出土遺物全体の量の割合も7割強を占める。器種を見ると無台の坏が圧倒的に多く、他に有台坏、甕、塀がある。

出土量の多い無台坏を以下の分類基準に当てはめて分類してみる。

A：底部は回転ヘラ切りで、体部の一部ないし全体に調整が成されている。(203、548、720)

B：底部は回転糸切りで、体部はやや屈曲するように内弯する。器高の低いものと高いものが

あり、時期差も想定される。(174~181、491~497)

C：底部は回転糸切りで、体部は内弯気味で、口縁部は外反傾向も伺えるが、ほぼ直線を成す。(183~199、474~477)

D：底部は回転糸切りで、器高が高い。口径指数は小さく、体部から口縁部にかけてはやや外反傾向も伺えるが、ほぼ直線的である。(158~165、432~443)

E：底部は回転糸切りで、底径が小さい。口径が大きく、体部から口縁部にかけて直線的に大きく外傾している。(171~173、446~449)

F：底部は回転糸切りで、口径が大きく。体部は直線的に大きな外傾度を示しながら立ち上がるが、口縁部の外反度が大きい。器形の大きな歪みが顕著である。(166、168、750、751)

G：底部は回転糸切りで底径は大きい。器高はやや低く、体部は弯曲気味に立ち上がり、口縁部が外反傾向が伺える。(204、205、547、549)

H：底部回転糸切りで、器高は高い。体部は弯曲し、口縁部は直線的である。(444、445)

有台坏も確認したが、量的には僅少である。(210、211、571)

有台皿は3種類に分類できる。A：高台が高く裾広がりで、体部は弯曲し、口縁部が大きく外反している。器厚は薄く、造りは丁寧に金属器の強い影響を読み取れる。(209、567、568、574、646) B：高台はAより低く、体部は直線的に外傾し、口縁部は大きく外反する。(569) C：無台で、底部がやや高く、高台状になっている。器厚は厚く、体部から口縁部が大きく外反している。類例としては下長橋遺跡、境興野遺跡などで出土している。(566)

蓋のつまみ(215)も1点出土している。須恵器の蓋のつまみより大きく、粗雑である。

小型の甕は比較的多数出土している。ほとんどの甕の内外には使用痕跡が認められる。形体は大きく体部が丸みを帯びるものと直線的なものに分類できる。口縁部は外面が丸みを帯びるものと「く」の字状に屈曲するもの、直線上に立ち上がるものに分類可能である。外面はほとんどがロクロ撫でを施しているが、他にもカキ目やタタキ、アテ痕のあるものも確認できた。一部へら削りを施したものもある。(579)は外面に人面が4面描かれている。口縁内部の一部分に煤の付着がある。(580)は口縁部のみで、外部に折り返している。大型の甕(598、652)は、外面にタタキを施した後、ハケメ調整の後、体部下部にはケズリを施している。(652)外面には、不明瞭ではあるが、「宅」の文字が墨書されている。

埴は口縁部のみであるが、口縁部の断面で何種類かに分類可能である。体部では、内外共に平行タタキのものと外面は平行タタキで、内面は青海波であるものに分けられる。

(238、603、604)は双耳の坏か甕の耳である。

黒色土器

黒色土器は土師器の内外面に黒色化処理を施したものである。全体的にミガキが明瞭で、使用痕が見られないのが多く、ミガキの単位の幅が広いものが多い。器種は坏と皿で、坏が多勢を占める。坏は有台と無台があり、細分すると5つに分けられる。A：無台で底径が極めて小径で、体部から口縁部にかけては大きく弯曲するように立ち上がっている。(777、778、779)

B：底部が小さく、体部が直線的である。口縁部も直線的に立ち上がる。(239、240、242~244、

246、610～617、619、630、768、769、770)

C：底部が小さく、体部は内弯的で、口縁部も外反傾向が出る。(606、609、618、620～629)

D：有台で、体部はほぼ直線的で口縁部も直線的に立ち上がるもの。(245、248、252、253、256、631、633、634、636、637)

E：有台で、体部は弯曲し、口縁部が外反している。(247、250、632、635、780、781)

皿は有台で、高台は低く、口縁部が大きく外反している。(254、257)

製塩土器

図化したのは(660)1点のみである。外面は多面体にヘラケズリが施され、断面は輪積痕の確認が困難である。他にも北目長田遺跡などで出土している大型製塩土器の破片も出土している。

2 陶磁器(第46、53図)

施釉陶器では灰釉陶器皿1点(639)と緑釉陶器3点が出土した。灰釉陶器皿のみ図化可能で、黒笹90号窯産と見られる。緑釉陶器は皿と見られ、同窯産である可能性が高い。

中世陶磁器の出土量は僅少である。出土地点はSG1300のF-66Gに集中している。何れも河川最上層であり、水晶球や卒塔婆なども出土している。

(782～784)は珠洲系陶器の播鉢である。何れも海面骨芯を含むが、(782)は焼成が良くない。(785)は鹿泉系系の青磁碗である。(786)は天目茶碗の破片である。(787)は朝鮮陶器で、見込み部分には目跡が見られる。

3 土製品(第47、48、53図)

(657、658、661)は粘土を手で捏ね、乾燥させたものである。何れも河川跡から出土した。指跡が残っているものもあり、用途は不明である。(664)は土製支脚で、秋田県宮の前遺跡出土品と酷似した形状である。(778～796)は土鍾である。

また図化しないが、SG1、2からは輪の羽口片が出土し、小鍛冶工房の存在が想定される。

4 石製品(第48、53図)

(659、662)は砥石、(663、665)は、火山岩質の石材を用いた石皿である。底部、側面などが調整され、時期は古代を想定している。(797)は水晶球である。亀裂が見られるが、ほぼ球形に加工されている。SP1995周辺から出土し、中世の遺物と見られる。

5 木製品(第54～77図)

今回の調査では河川跡から大量の木製品が出土した。県内でも出土例の少ない遺物も多数出土している。種別に見ると食器、農具、生活用具、祭祀用具、部材、用途不明木製品に分類できる。量的には、食器と祭祀用具が他の器種を圧倒している。挿図に関しては土器と同じく遺構別に掲載したが、本文ではまとめて概述する。

(1) 食器

出土した食器を製作技法で分類すると、挽物、削物、曲物に大別できる。量的に見ると挽物と曲物が優越している。また、挽物を器種別に見ると、椀、杯、皿、蓋に分類できる。

挽物

漆器

漆器は3点出土した。(798)は古代の椀で、内外面ともに厚めに黒漆が塗られている。他の白木椀の高台内部に削り込みなどが見られないのに対し、高台部分を削り込んで漆も塗っている。体部に膨らみがあり、口縁部は強く外湾しながらも薄く仕上げられており、金属器の鍔を強く意識して製作されたことが伺われる。(948)は古代の皿である。底部しか依存していないため、器形の詳細は不明であるが、漆の塗り方や厚みなどは椀と同じである。(1012)は中世の漆器椀である。内外ともに赤漆で、外面には黒漆で秋草文が施されている。出土地点の近辺からは珠洲系の甕片や瀬戸の細片も出土している。

椀

高台が低く、口径が大きいもの(799、800)と高台が高く口径が小さいもの(801~803、954)に分類できる。前者は口縁部が外反し、作りが丁寧な精製品である。

杯

椀と比較し口径が大きく、器厚も薄い精製品である。(804、953)

皿

A類：無台で器厚が薄く、底部から口縁部が立ち上がる。(806、807、809、814、949、950、955、1013) B類：有台で器厚が厚く、見込み部分の凹みが少なく、内面が平面的。(808、811~813、815~820、830、955、957、958、963、965、966、1014~1017) C1類：高台から直に口縁が立ち上がる。(952) C2類：内面が平面的であるが、無台である。(964)

蓋

蓋は3点出土した。(956)は当初穿孔した皿と判断したため皿として図化した。天井部分に荒削りの痕跡を確認でき、穿孔してつまみを付属させている。天井部内面と口縁部は皿A類と類似した特徴を成す。(960)大型容器の蓋で、精製品である。器厚は薄く、天井部には2本の隆線が2カ所に施されている。つまみ部分は欠損しており、有無や形状は不明である。(1018)は小形容器の蓋で、天井部外面にはケズリ痕跡が確認できる。つまみ部の穿孔は鑿状の器具で四角形にくり貫かれている。内面は、丁寧に仕上げられている。

削物

削物は(959)の盤のみである。器厚がかなり厚く、粗型である可能性もあるが、他に粗型らしい木製品は確認できず、近隣に木製品の製作工房が存在した可能性は低いと見られる。

曲物

曲物は河川跡から完形品もまとまった数量出土しているが、多くは底板と側板が分離して出土している。大きさから分類すると、直径200mm未満の小型I類と直径200mm以上の大型II類に大別できる。数的にはI類が優越する。底板と側板の結合方法から分類すると、底板の周縁部に

段を設け、側板をあてるイ類と底板の側面に直接側板をあて、外部から木釘、又は樹皮で固定する口類に分類できる。また、底部形状は、確認可能なもの全てが円形である。1カ所ないしは5カ所の穿孔がある底板も出土した。5カ所穴のあるものは甌または蒸籠として使用されたと見られる。1カ所穴のあるものも同様の使用が可能であるが、穴につまみを装着し、蓋に使用した可能性が高い。側板を観察すると多くが内面にケビキを入れているが、器高が低い曲物には見られない。また、穿孔した側板も見られる。(821)は柄杓の側板と見られ、(970)は2カ所穿孔が認められ、取っ手として紐などを通していたことも想定可能である。

Iイ類(828、832、972、978)：底板のみの出土である。4点中3点が樹皮で側板と固定していた痕跡を確認できる。

I口類(805、810、822、823～827、831、833、961、968、969、973、974、976、977、979、980、1020～1022)：(980)のみ樹皮結合で、他は木釘結合である。側板と底板が結合した状態で出土したのはこの類しかない。数も多く、残存率の高さから技術的にも最も安定しているであろう。

II口類(971)：直径が260mmを越える。2カ所に炭化を確認できる。

また、(946)は、曲物の底に付着していたと見られる漆幕である。

(2) 食事具

出土した食事具として箸がある。今回の調査では河川跡から完形品だけでも200本を優に越える大量の箸が出土している。ほとんどが250～300mm程度の長さで、断面は多角形を成し、ほとんどが両端が細くはなっているが、尖らせてはいない。

(3) 農具

農耕具

鋤(855)は一木平鋤で、把手は逆三角形を成すが穿孔は存在しない。刃部はU字形の刃先を装着したと見られ、装着部分は段を有している。また、柄部と刃部がやや屈曲を成し、実用性が考慮されている。表面にはケズリ痕が認められる。

鍬(1011)は柄穴が無く、上部に着柄軸の基部があることから曲柄平鍬である。軸部と刃部の境が明瞭で、刃部幅が肩幅より狭い。

収獲具

(857)は、鎌柄と見られる。上部は炭化し、全体にケズリ痕が認められ、下端には滑り止めの突起が見られる。また、二股になった材を使用し、柄全体が「く」字型に屈曲している。

調整具

(857)は長さ342mmの横槌である。敲打部と柄部の境が直角で、敲打部が細長い。民具学の成果によれば、豆打ち用の横槌となる。

編具

俵・筥・菰などの藁製品を編む道具である。(856)は長さ220mmの木針で、全体に反りがあり、下部に突起の痕跡がある。地元で「かがりとうし」と呼称する俵製作用木針に酷似する。

(1006)は編繩(縦糸)を巻いて編台と組み合わせて使用した木錘と見られる。芯持材の中央部に両側から不規則に切り込みを入れている。

(4) 工具

寛は5点出土している。(868、870)は柄部と身部の境が不明瞭で、身部の先端が平らである。(869)は、前記の分類形態に近いが、柄部と身部が「く」字状に屈曲している。(1007)も柄部と身部の境が不明瞭であるが、身部の先端が丸くなっている。(1024)は柄部は基部しか残存しないが、身部との境が明瞭で、身部先端が丸い。また、朱の痕跡が認められた。

(854)は漆刷毛である。穂先は喪失し、柄部が3カ所折られており、意図的に折って廃棄したものと見られる。幅広の柄元に切れ目が入り、穂を挟め、2カ所を糸で結合している。

火鑽臼が2点出土している。厚さは20mmほどの角材で、使用面の右側面に火種を溜める「V」字状の刻みを入れ、火鑽穴は全て刻み位置に対応している。他にも火鑽臼の可能性のある角材状木製品(1000)も見られる。

(945)は長さ882mm、径が19mmで両端にケズリが入っている。両端に^弓状の加工が見られるため、弓に分類する。また、圓化は行わなかったが、2点弓と見られる木製品がある。

(5) 装身具

櫛は(928、929、1025)の3点出土している。いずれも横櫛で、基部の断面を観察すると、両面から歯部の刻みを入れていることがわかる。

下駄は(941)の一点が出土している。長さ165mm、幅84mmである。一木作りの連歯下駄である。前歯は幅の3:4の位置で、中心からやや右にずれ、後歯は後歯の前に位置する。歯は下辺幅が台より広く、前歯がほぼ垂直なのに、後歯がやや後斜めである。台は前後の端が弧形を成し、後幅の方が狭い。

(6) 祭祀具

河川跡からは大量の祭祀具が出土している。木製の祭祀具としては、斎串、人形、刀形、舟形、馬形などがある。他に用途不明木製品の中にも、祭祀具が含まれていると思われる。

斎串

斎串は河川跡から大量に出土している。今回は紙幅や時間等の制約から、一部の依存状態が良好なものや、形状が特徴的なものを選別して図化した。

切込みの入れ方により以下の8種に区分できる。

A：切込みがない。(899、900、903、905、906、908、909、985、987、990、1047、1049)

B1：上端部に正面に切り口が向くように、縦方向の切込みが1カ所ある。(896、897、907、927、983、1043)

B2：上端部に側面に切り口が向くように、横方向の切込みが1カ所ある。(895、1045)

C：側面上端部に左右1カ所ずつ上方から切込みがある。(986)

D：側面上端部に上方から複数の切込みを左右に入れている。(901、902、910、989)

E：側面に上方及び下方から複数の切れ込みを入れた。(912、913)

F：上端部正面方向1カ所、側面上端部に左右1カ所ずつ、計3カ所の切込みがある。(1044)

G：側面を左右対称に三角形に切り欠いている。(904)

形状は、上端部を主頭状に下端部を剣先状に加工するのが多数を占めるが、例外的に(1047)が

上端部を圭頭形に加工し、下部の幅が広いオベリスク状のものが見られる。

人形

河川跡から5点出土した。県内では酒田市俵田遺跡に次いで2例目の出土となる。俵田遺跡の人形の形状には共通性が見られたが、本遺跡出土の人形の形状に共通性は認められない。

(889)は左半身を欠くが、頭頂部を弧状に加工し、側頭部が斜めになるように切込みを入れ肩部も表現している。また腰部には切込みが入り、下端から深い切込みを入れ、足首を含めて脚部を表現している。前面には墨で目鼻口や髪他に胸の前で組むように手を書き込んでいる。(890)頭頂部を圭頭状に加工し、下端から深い切込みを入れて脚部を表現している。前面に表情がはっきりしないが、人の全身像を墨描している。(891)頭部は弧状に加工し、体部には下方から切込みを入れ、両腕を表現している。下端部は剣先状に加工し、脚部の表現はない。前面に、爪で付けたような傷で眉、目、口が表現され、眉間にも傷が確認できる。また、目、口には墨痕が認められる。(893)頭頂部は圭頭状で、頭部が六角形になるように切込みを入れ、肩部も表現している。体部には下方から切込みを入れ両腕を、下端から深い切込みを入れ、脚部を表している。頭部には眉、目の他、側頭部に耳と推定できる墨描が確認できる。(892)頭頂部は弧状に、側頭部は緩やかな弧を描くように切れ込みを入れ、肩部も表している。体部には下方から切込みを入れて両腕を下端部から深い切込みを入れて脚部を表している。人面の墨描は認められない。

馬形

河川跡から1点出土した。(898)全長は70mmで、表現は極めて抽象的である。ほぼ中央部に下方から穿孔があり、先の尖った針状のものに刺したことが想定される。

舟形

1点出土した。(1008)船尾部分は欠損しているが、大型の構造船をかなり具体的な表現している。船先は方形で、断面を見ると船底は丸い。船首部分に上部からの穿孔があり、両舷側には約25mm間隔に丸い刻みが見られ、櫂の装着位置を示していると見られる。甲板と船槽の境には波除け板と見られる表現がある。船槽部には幅21mmの鑿痕が観察できる。

県内では酒田市長生石2遺跡、手蔵田10・11遺跡、土崎遺跡などでも出土している。

武器形

2点出土した。(894、996)厚みがあり、断言は出来ないが鐵形と見られる。長さ118mm、厚さ18mmで鐵は九面体を成し、茎部の表現も見られる。

(7) 木簡

木片に文字が書き込んである遺物は全て木簡に分類した。今回木簡は全て河川跡から出土している。古代の木簡は7点、中世の木簡は15点である。

(930、931)は3mほどの範囲内で出土した。(930)は長さ249mm、幅33mmで(931)は下半部が欠損しているが同サイズであると見られる。上部は圭頭状に、下部は剣先状に加工している。材質も同じ木材を使用しており、同時に製作されたと見られる。同じ材から、長方形の板材として切り離した後、それぞれの上部、下部を加工したと推定可能である。表に同一人物によると見られる符録の墨書がある。この2点は同時に製作、廃棄されたと見られる。

(932)は長さ133mm、幅29mmで、上部の左右に切込みを入れ、下部を剣先状に加工しているが、上部の切込み両端が欠損している。表には「畔越」と墨書されている。下部表面に削りがあるので、文字が続いた可能性もある。意味は不明であるが、付札であった可能性が高い。

(933)は長さ267mm、幅34mmの長方形の板である。上部に刃物を表から入れて折ったような痕跡が認められるが、制作時のものか廃棄時のものか判然としない。

釈文は、表側に

□	□	□	□
□	□	□	□

 春米^(春米)□□ 九子マ牛甘
□□長^(長)□□□ 檜前竹万呂]

裏側は

□	□	□
□	□	□

 大荒木臣田人万呂
□□ □ 已上九人^(九人)□月万呂^(月)□]

裏の最後の文字が「解」であるなら、偏の部分が欠けており、その部分が欠損していることになる。内容は官人と見られる「万呂」が9人の名前を挙げて報告したものである。一人の筆により、全文「万呂」が書いている。この木簡の上部がほとんど欠けていないならば、判読不能の箇所も人名が入るのであるが、上部が大幅に欠損しているならば、「春米……」の部分などが下の人物が負担した物品の品目、量が記されている可能性もある。

(934)は長さ288mm、幅47mmの笏形を呈している。表面には「(符籙)四万八千神急急如律令」と書き込まれている。文字内容から呪符である。

(935)は長さ131mm、幅13mmの棒状の木製品である。表側右上部に何か文字が墨書されているが、判読できない。形態から推定すると、木簡として使用後、角材状に縦に分割し、片端を鋭く削り、反対側は角を取るよう削り、転用したのであろう。

(997)は長さ61.5mm、幅30mmで側面上部に切込みを入れている。片面には「萬□継」、反対側には「一斛」と記されている。貢進物の付札と推定される。

(1046)は長さ256mm、幅11mmで、下端部は原形を留めているが、上部は欠損し、中程で折れ、5mmほど離れて出土した。表面に「守マ^(守)□□□ 高向長万呂」と書き込まれている。

中世の卒塔婆は、同じF-66Gから出土した。古代の木簡に比べると、木目が粗く、厚みも極めて薄く、残存状況が極めて悪い。何れも上部を圭頭状に、下部を剣先状に加工している。

(1028)は長さは226mm、幅23mmで、中程が欠損している。

「(梵字)□□佛」

(1029)は長さ157mm、幅26mmで、上部は欠損している。表面に2カ所、刃物で切れ目を入れられ、裏側から折られていた。上部にも文字があった可能性もある。

「南無大日如来」

(1030)は長さ141mm、16mmで、上部及び右半分が欠損している。文字は判読不能。

(1031)は長さ120mm、幅25mmで、上部が欠損している。文字は判読不能。

(1032)は長さ97mm、幅23mmで下半部が欠損している。文字の子細は判読できない。

□□□□

(1033)は長さ65mm、幅27mmで下半部が欠損している。文字は判読不能。

(1034)は長さ80mm、幅25mmで上半部が刃物で切断され、欠損している。

「 来」

(1035)は長さ93mm、幅25mmで、下半部が裏から刃物を入れて折っている。文字は不明。

(1036)は長さ85mm、幅20mmで上半部が欠損し、下半部も刃物で切断。文字は不明。

(1037)は長さ34mm、幅9.5mmで上半部が欠損し、下半部も刃物で切断文字は不明。

(1038)は長さ58mm、幅23mmで上半部、下半部が欠損。文字は不明。

(1039)は長さ82mm、幅14mmで、上下共に刃物を入れて折る。文字判読不能。

(1040)は長さ90mm、幅28mmで、下半部は欠損。墨痕は認められない。

(1041)は長さ139mm、幅23mmで、下半部は欠損。墨痕は認められない。

(1042)は長さ52mm、幅20mmで、上下共に欠損。墨痕は認められない。

(8) 用途不明木製品

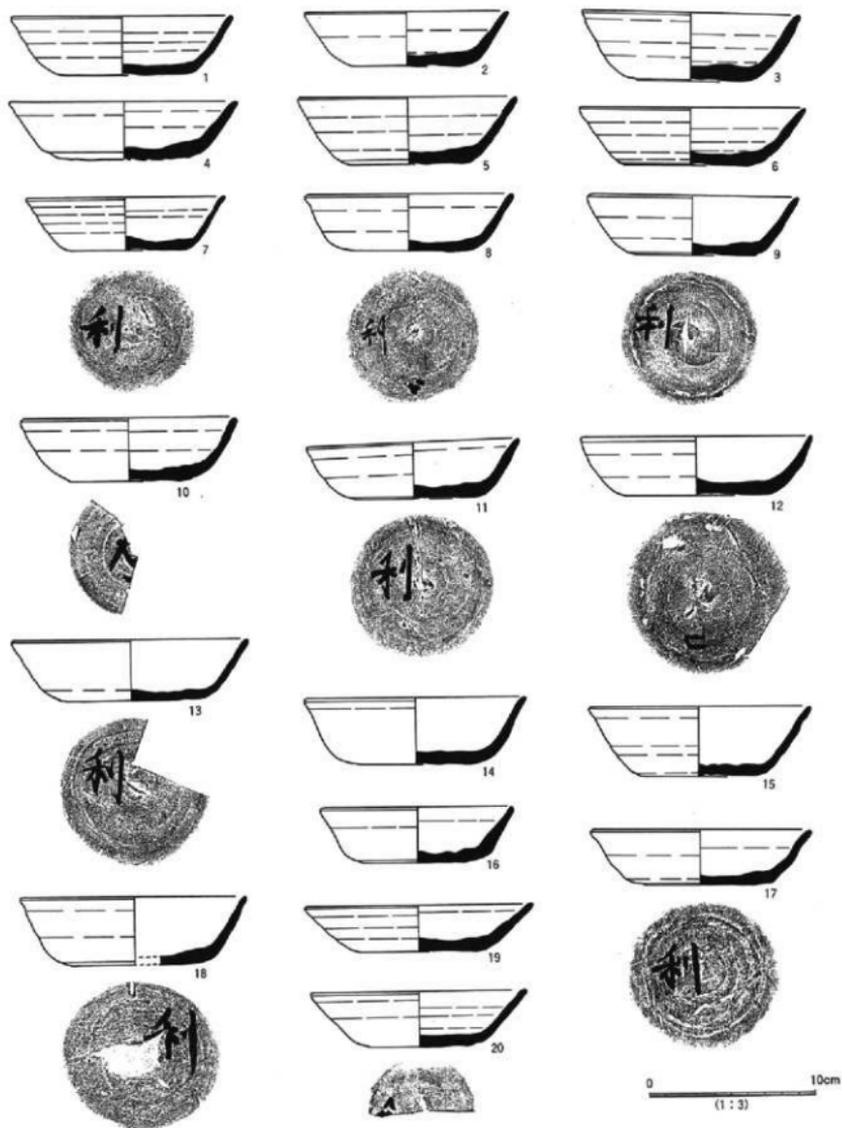
出土木製品の多くは、用途や種別が特定不能で、これらはまとめて用途不明木製品とした。

(858)は全面ロクロで成形された栓状木製品で、片面にはロクロの爪痕がある。(861)は樹皮付木材の切断面にケズリ調整している。(862、863)は板状の部材に穿孔したものである。(864)は木材を鋸で輪切りにしたものである。(865)は、ケズリを施した後、磨き調整をしている。ほぞ穴があり、組み合わせで使用したと見られる。(872、872、873、942、943)は部材の一部である。(875)は木釘が打たれ、家具などの一部と見られる。(876)は片面に刻みが連続して見られる。(878、879、998、999)は側面上部にくびれが入り、編具の木錘の可能性もある。(880)は筒状木製品で、上部の縁が盛り上がっている。内部が削り貫かれ、刀子の鞘の可能性もある。

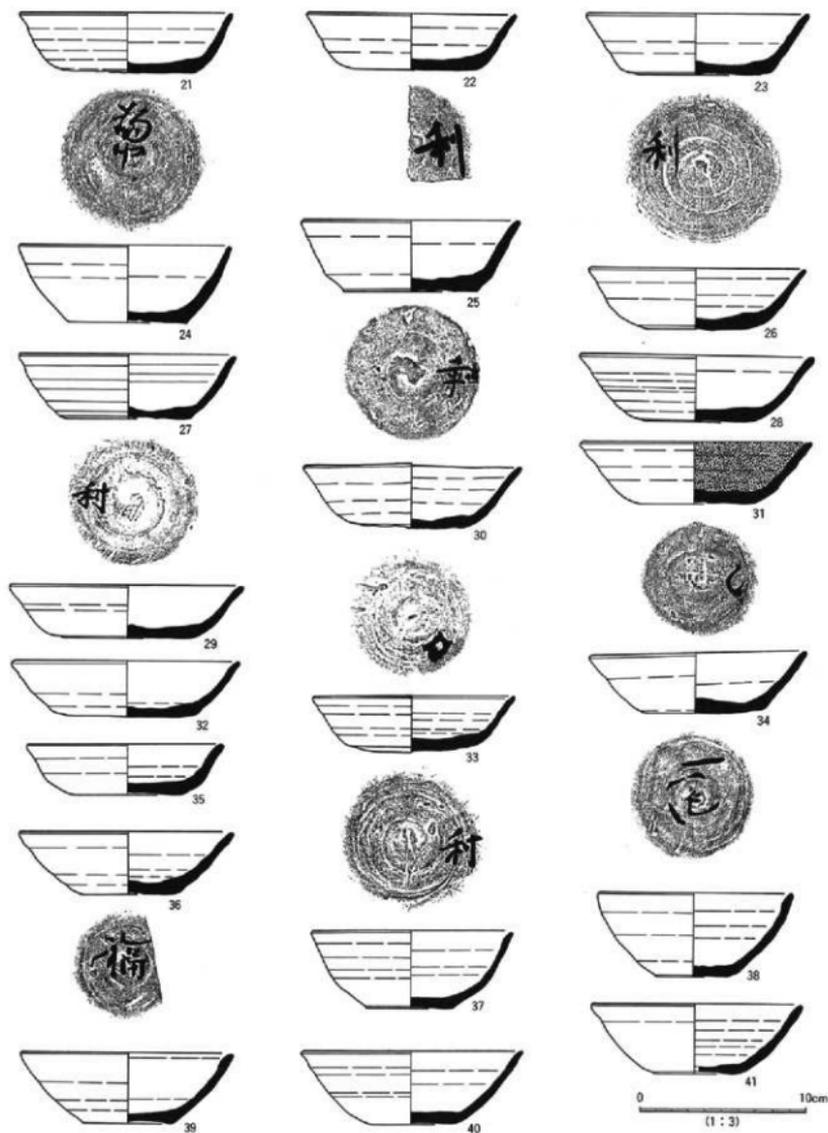
(886、887、888)は基部から棒を差し込んだ瓢箪製品である。(852)は瓢箪に刺さっていた棒状木製品である。瓢箪は崩壊し、実測不能であった。スクリーントーン部分は瓢箪に接触し、変色した部分である。(914、915)は板材で、(918、919)は角材状木製品で、途中で折られ、片側が4面体に削られている。(916、917、991~995)は樹種鑑定によるとイテイ科カヤであるという。断面は刃物で斜めに切断され、表面に細かいケズリ痕があり、刃物で樹皮を剥がしたと推定できる。また、幹の部分が必ず含まれている点が注目される。特に(991~995)は、一カ所でまとまって出土し、祭祀に関連した可能性が高い。(924~927)は薄い板状の木製品である。片側の端に止めるような小さな穿孔が成されており、一つに纏められていた可能性がある。(1003、1004)は齋串状の大型木製品で、下端部は剣先状に加工され、(1003)は上部が方形で、四角く穿孔されている。(1004)は上部が弧状で、中心から折られている。用途は不明だが、形状から齋串として使用された可能性もある。(975)は樹皮製の留具である。

6 金属製品

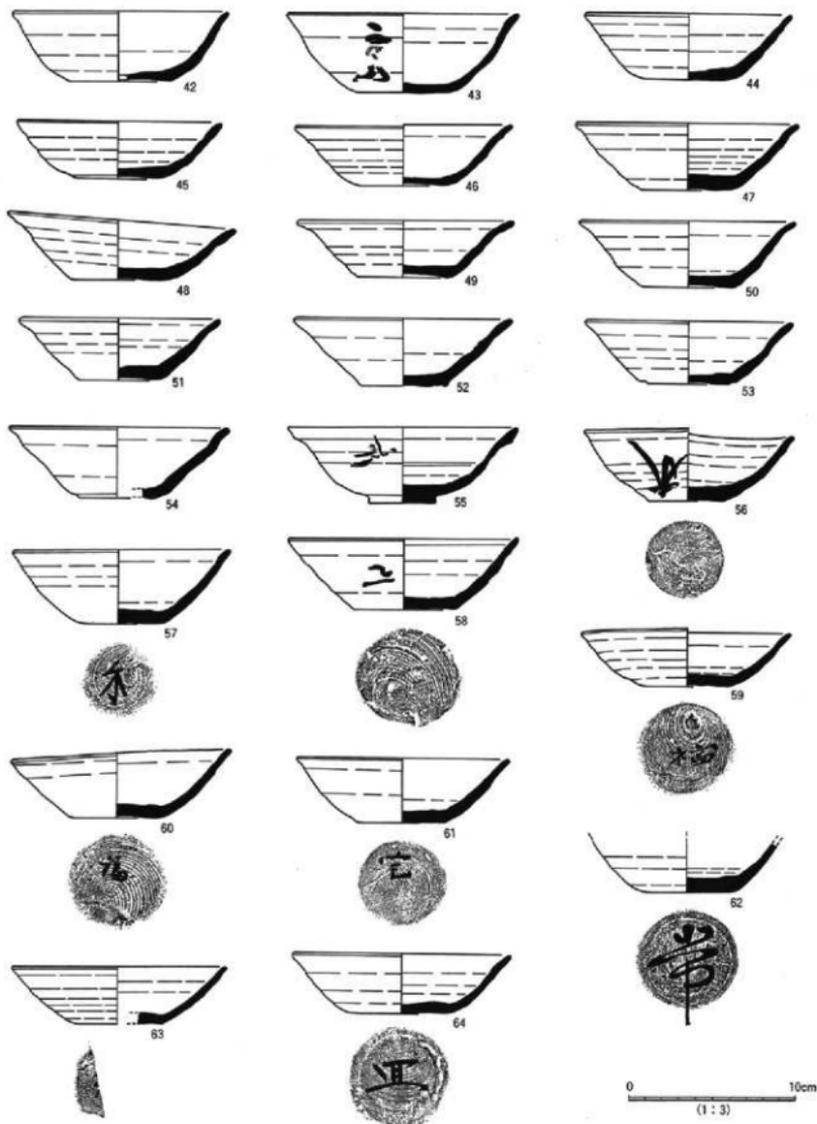
金属製品では刀子がある。(859、860、1009)どれも小形で、官人の書刀の可能性が高い。



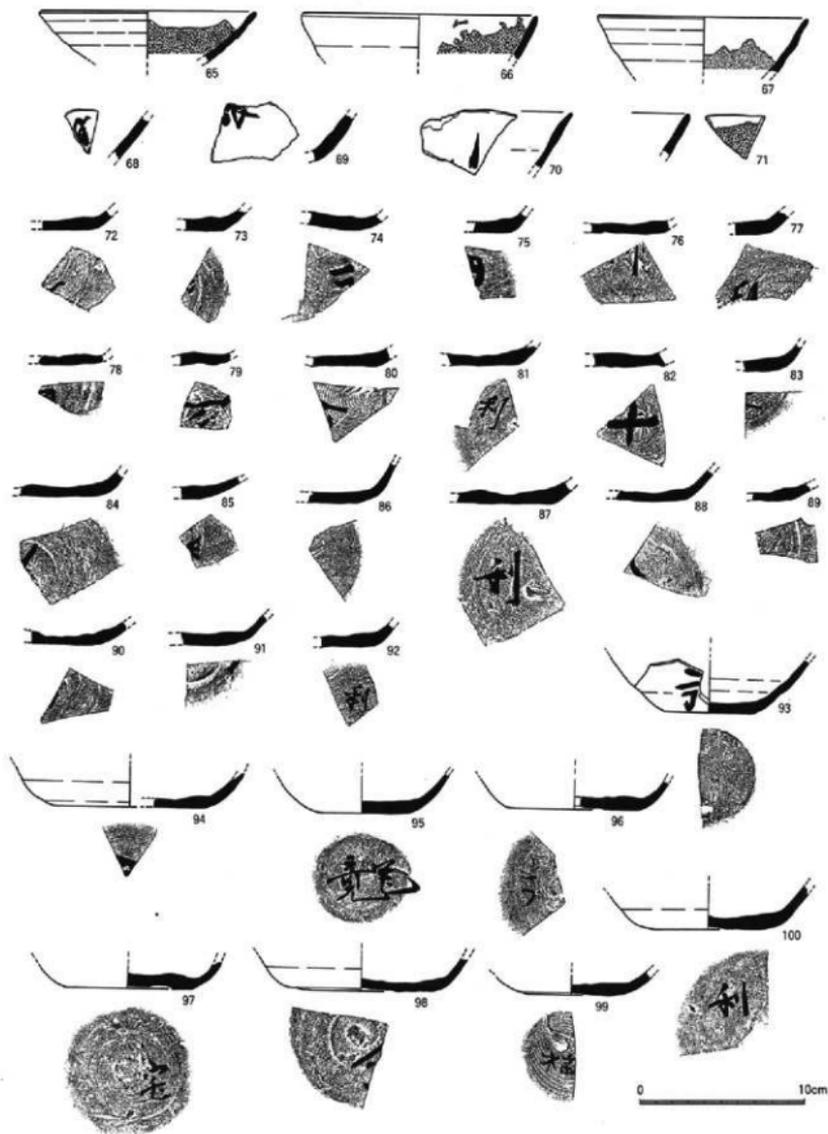
第13図 遺物実測図(1)土器



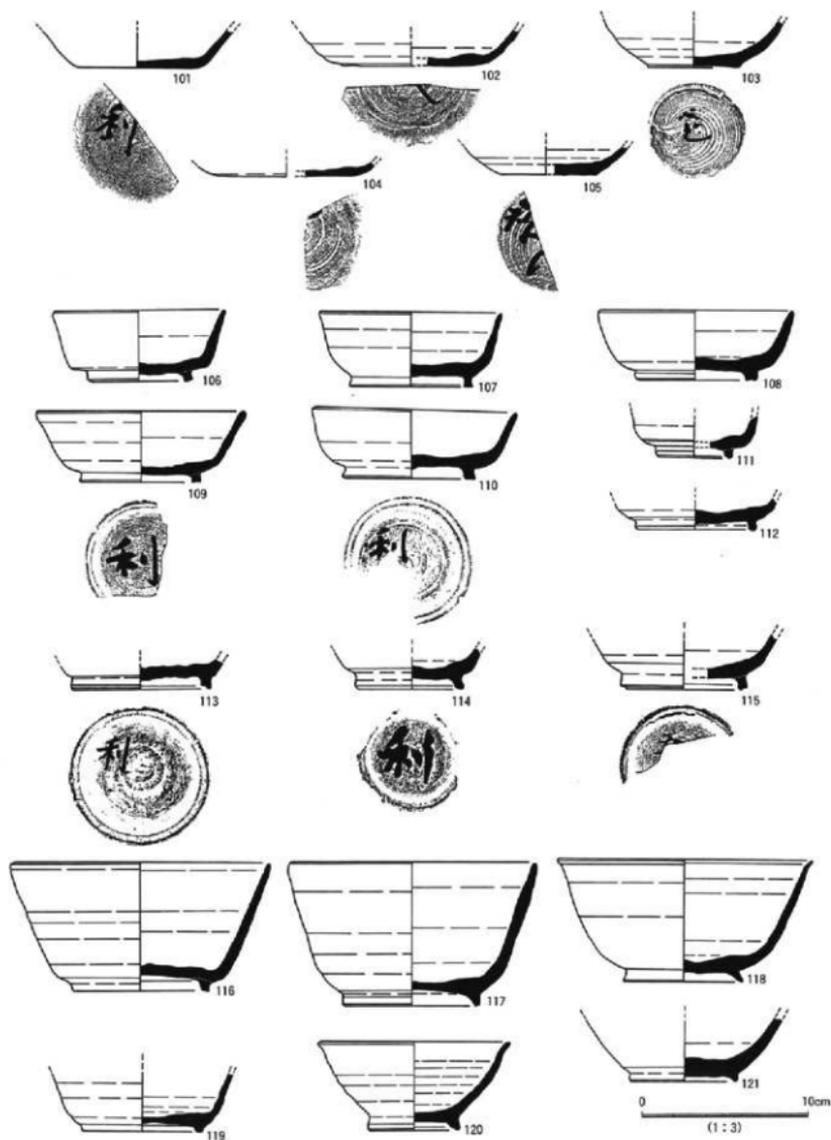
第14図 遺物実測図(2)土器



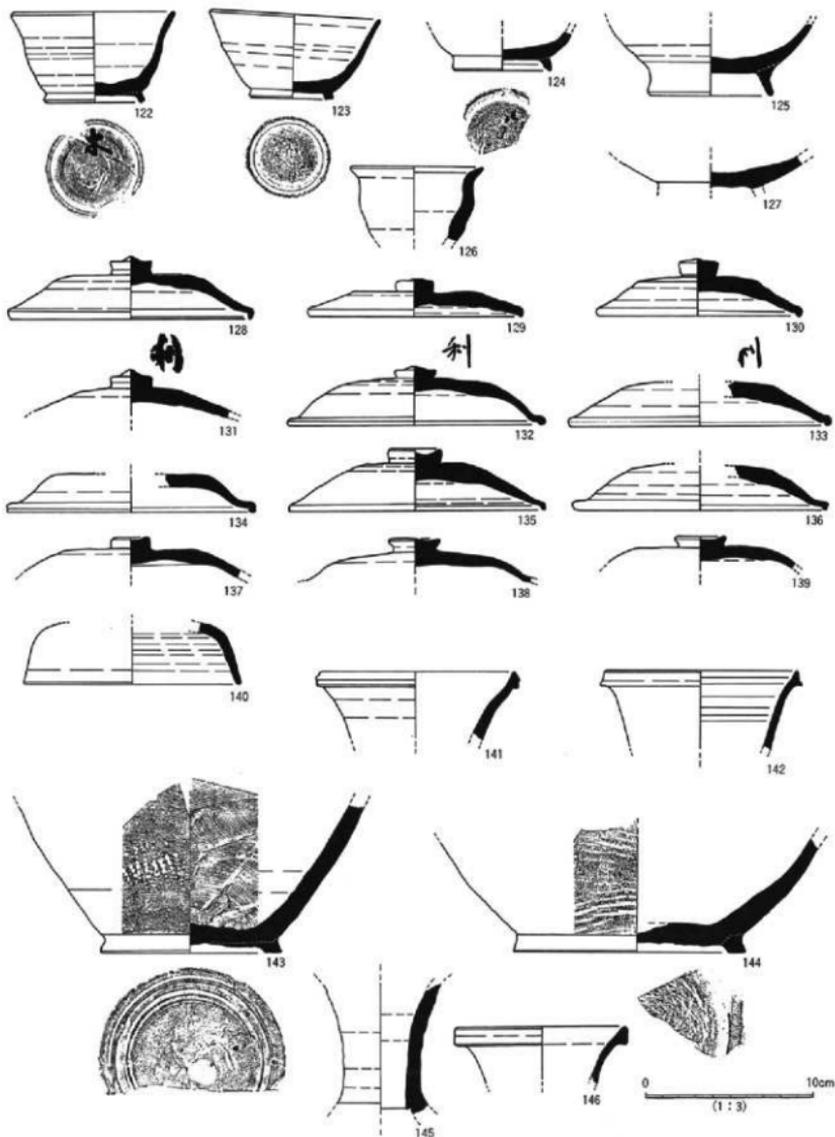
第15圖 遺物実測図(3)土器



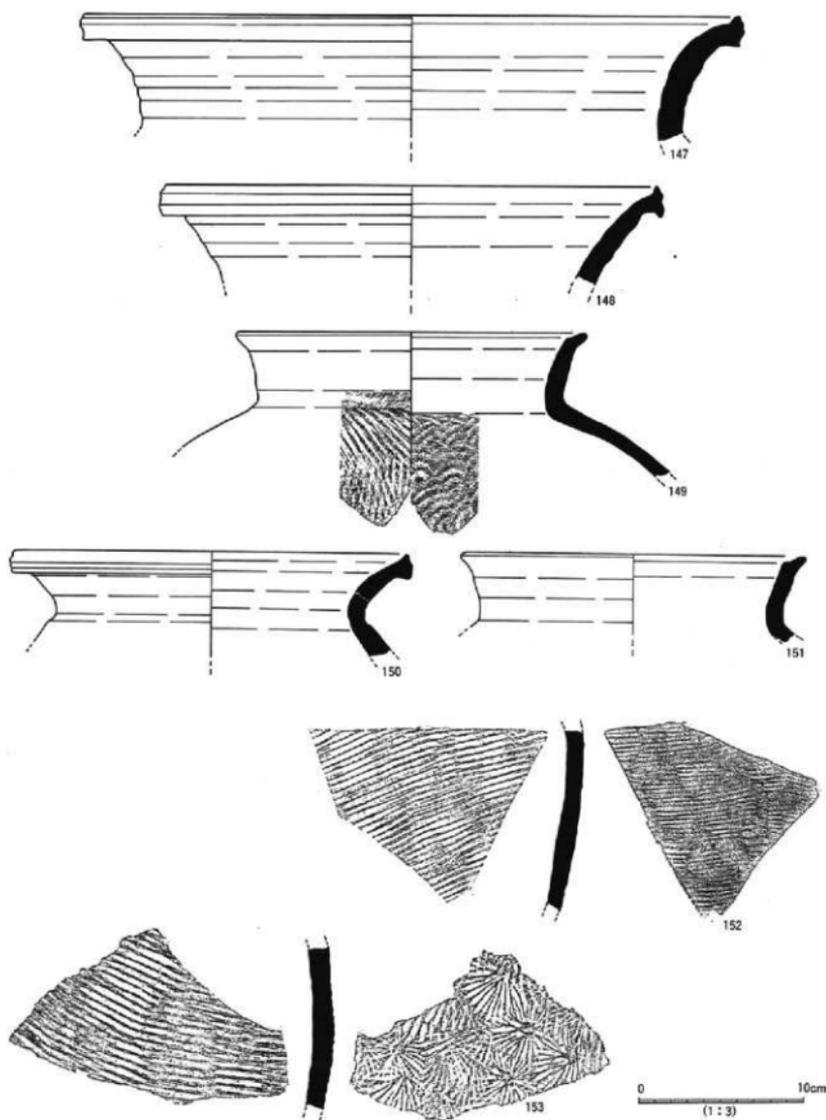
第16図 遺物実測図(4)土器



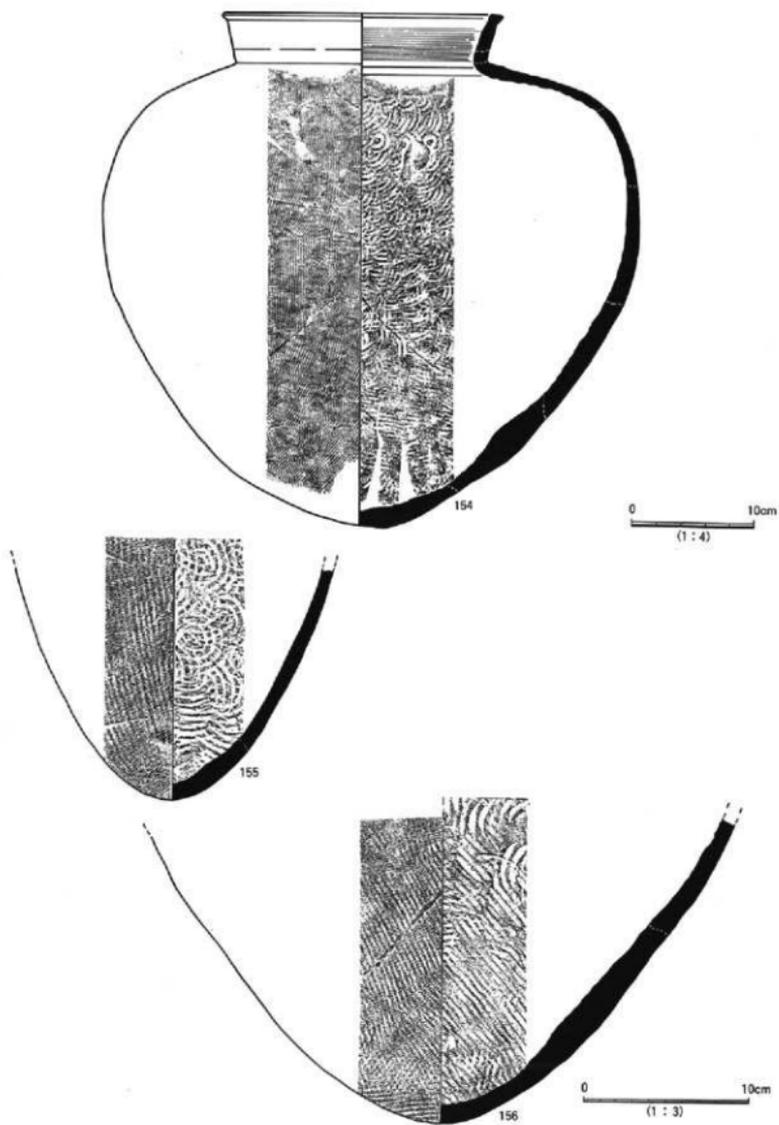
第17圖 遺物実測図(5)土器



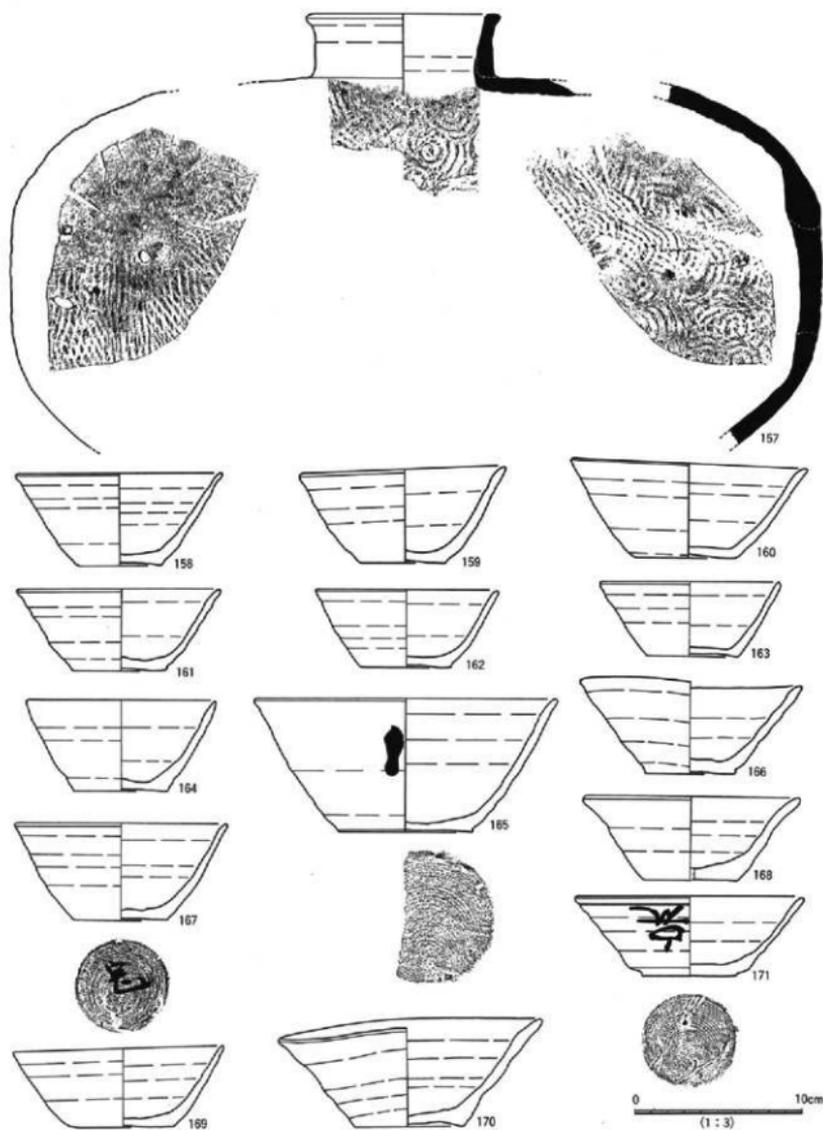
第18圖 遺物実測図(6)土器



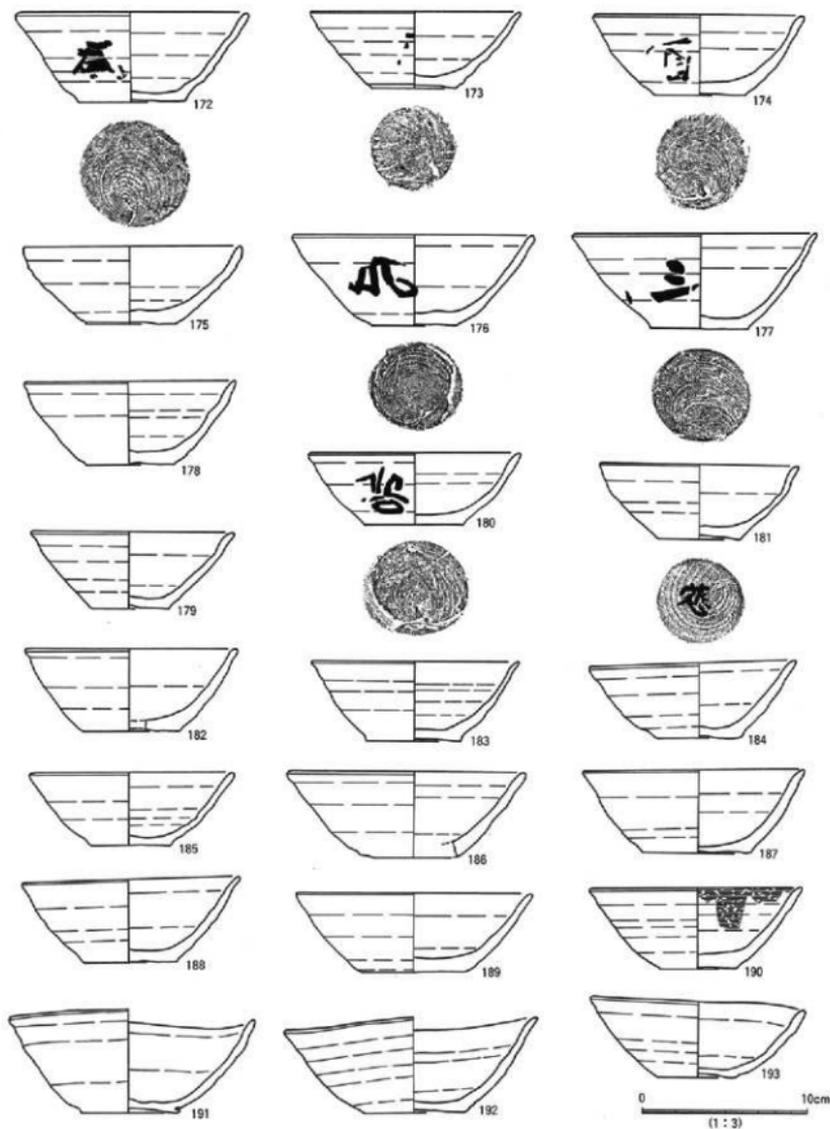
第19圖 遺物実測図(7)土器



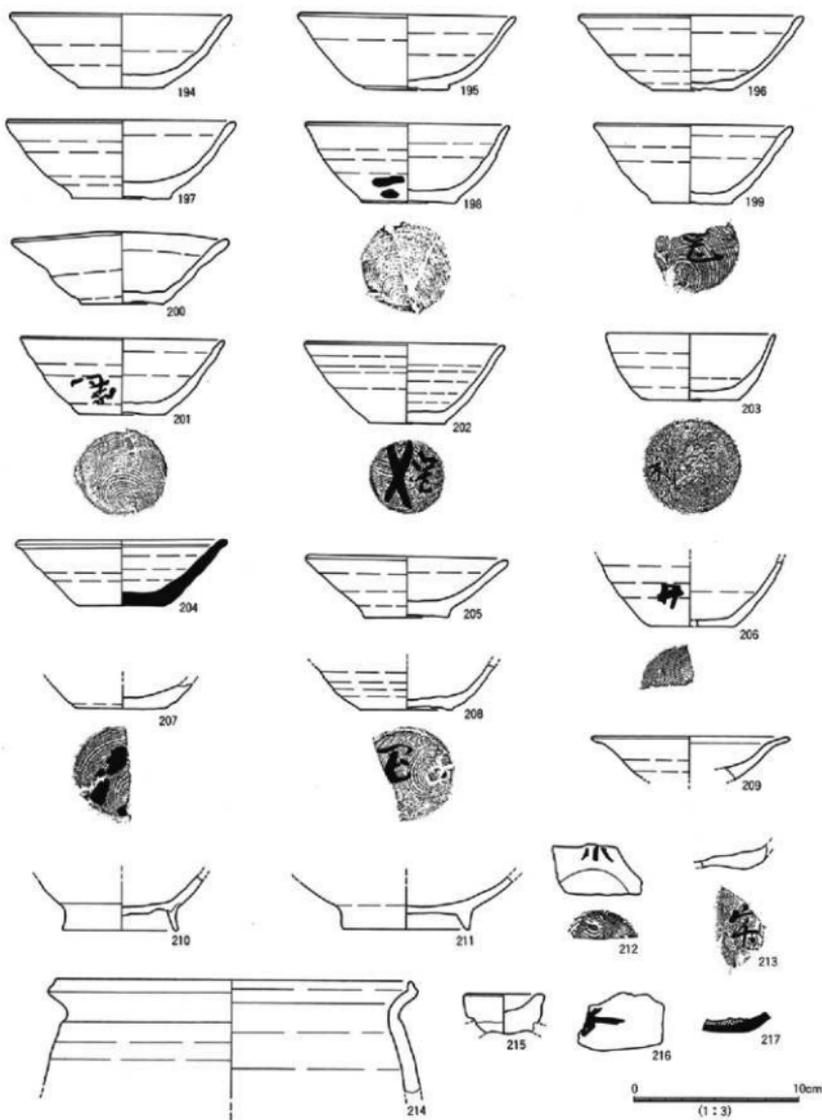
第20図 遺物実測図(8)土器



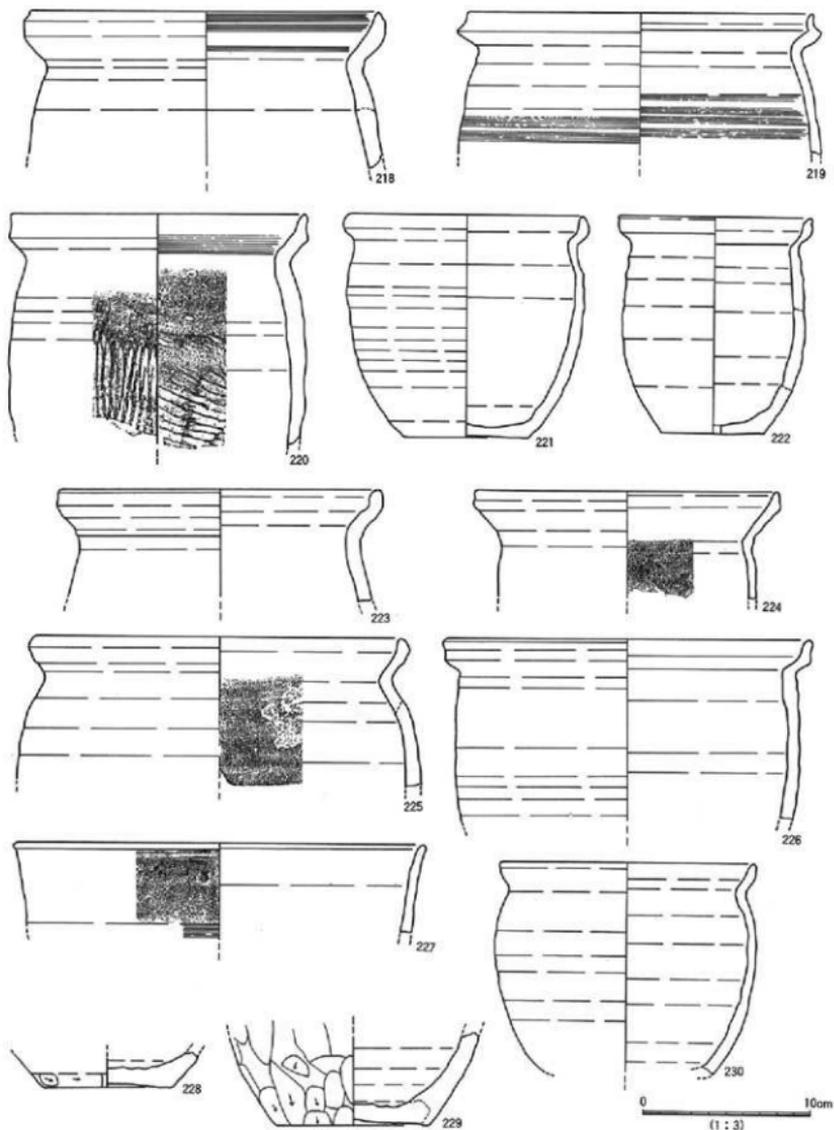
第21圖 遺物実測図(9)土器



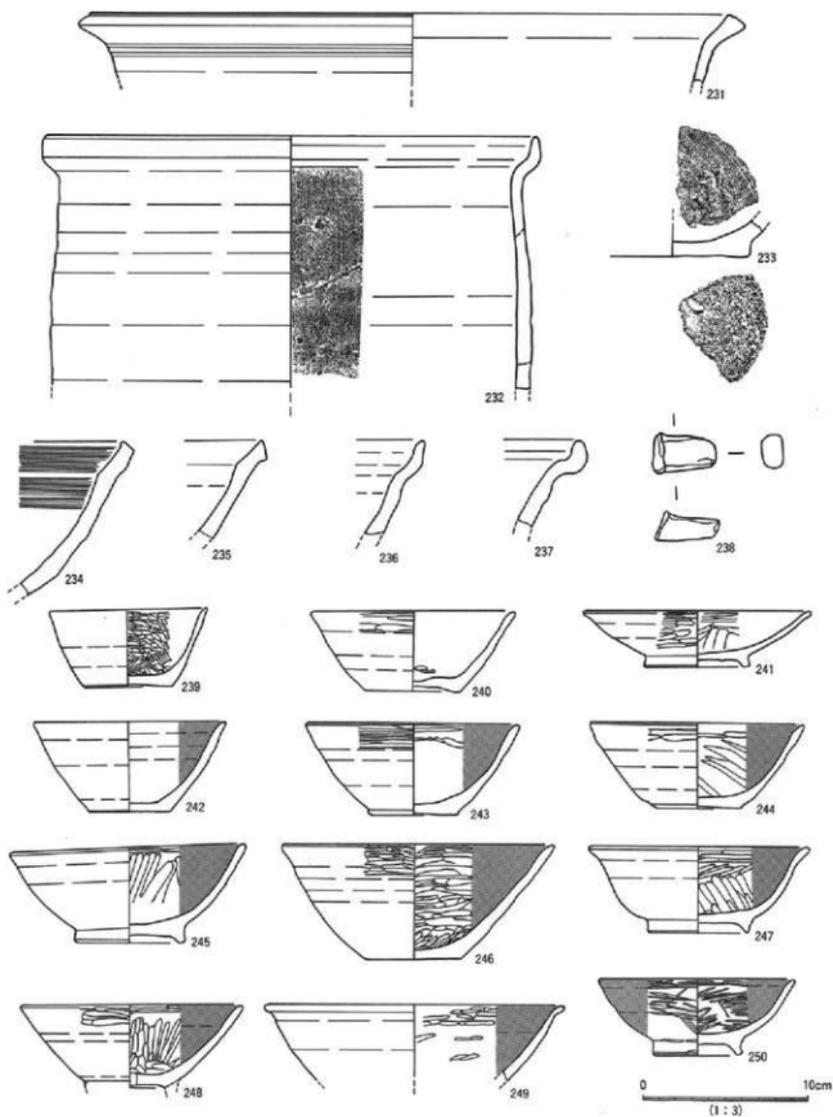
第22図 遺物実測図(10)土器



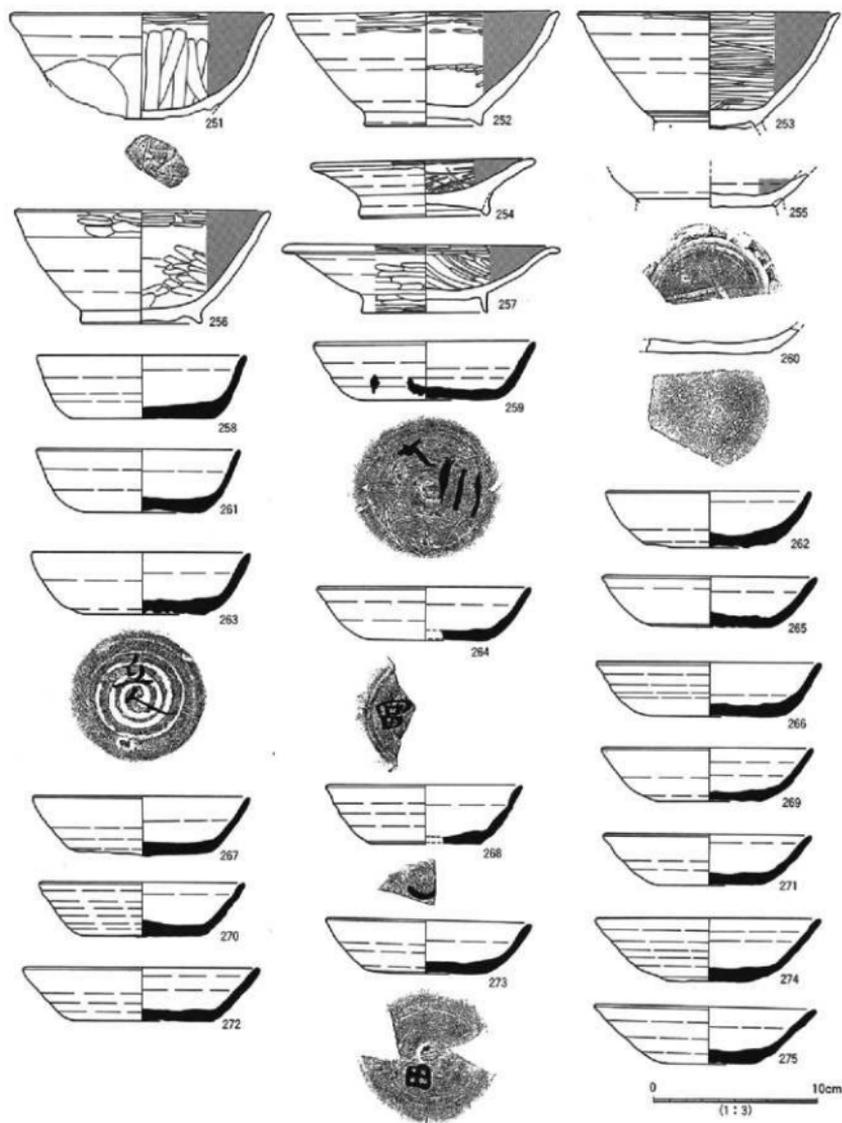
第23圖 遺物実測図(11)土器



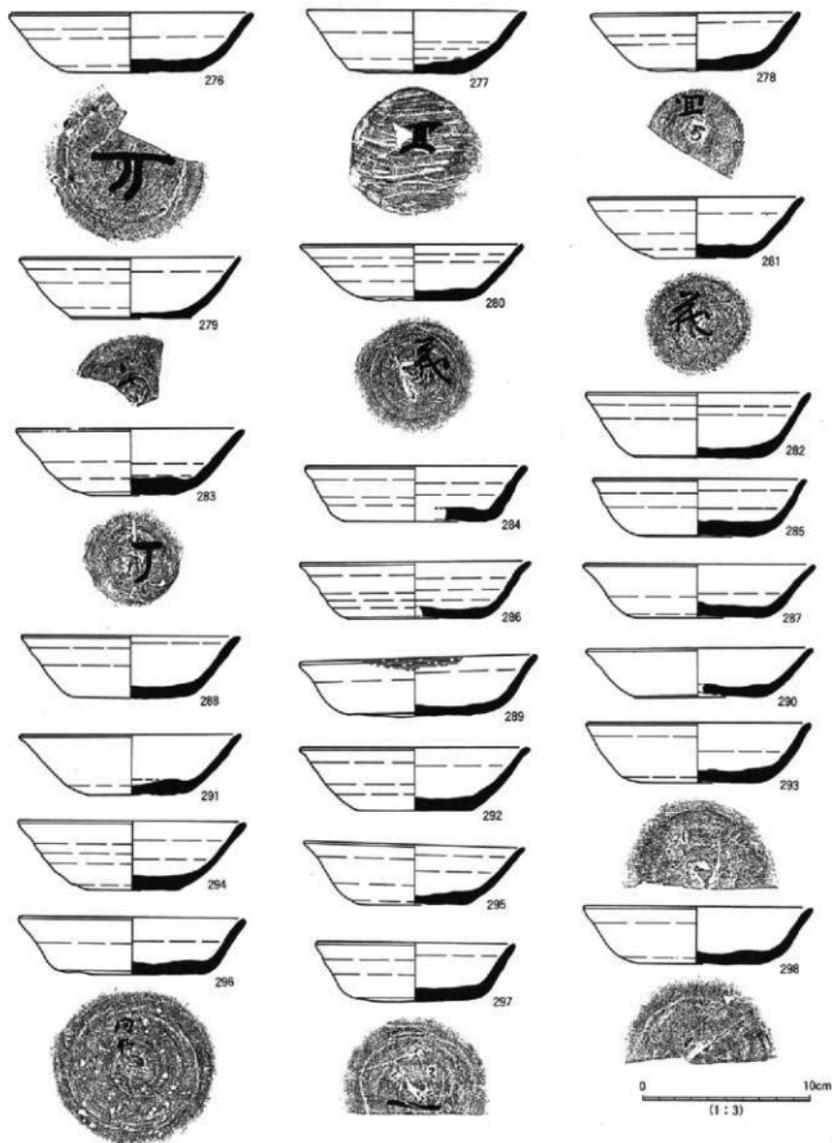
第24図 遺物実測図(12)土器



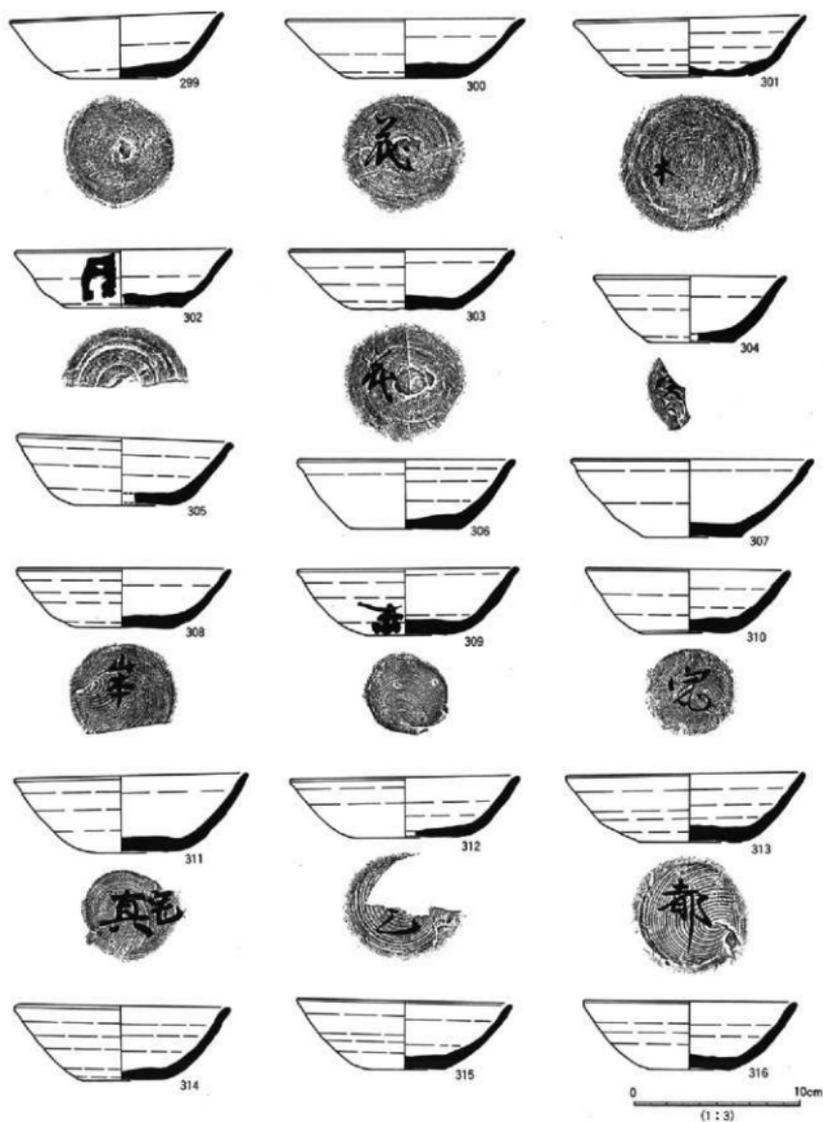
第25図 遺物実測図(13)土器



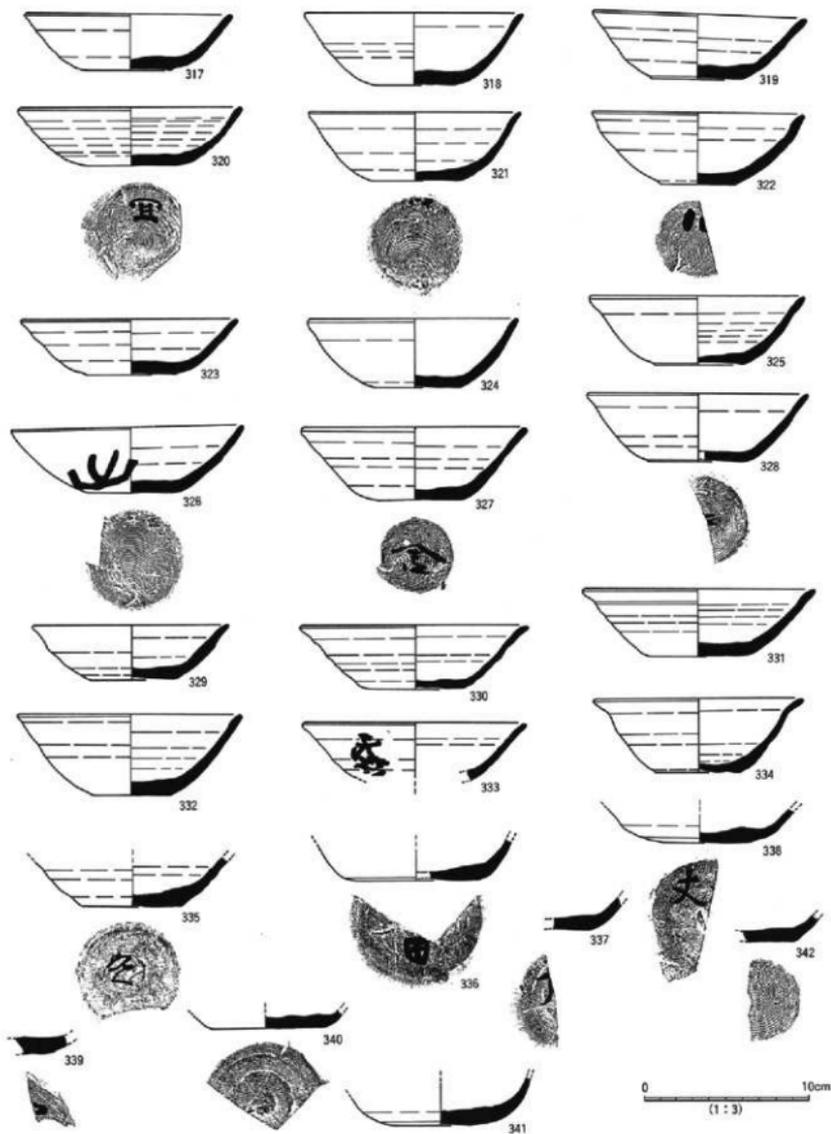
第26図 遺物実測図(14)土器



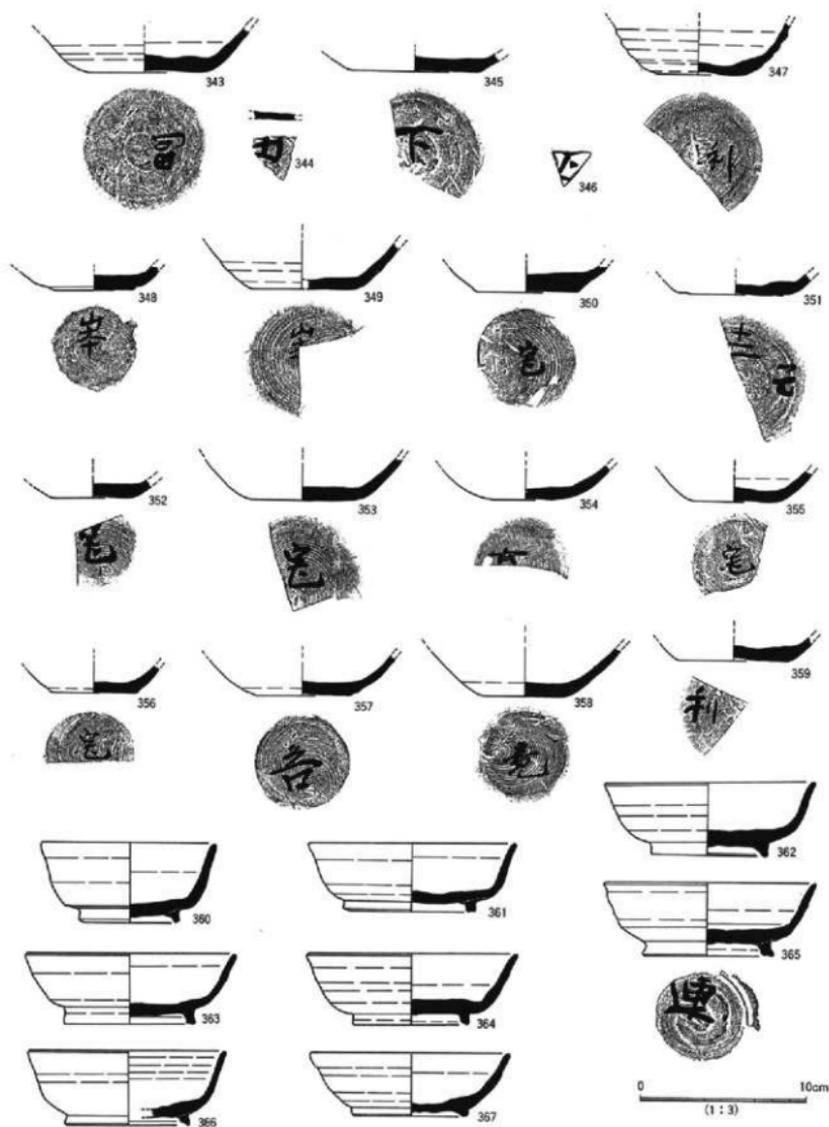
第27図 遺物実測図(15)土器



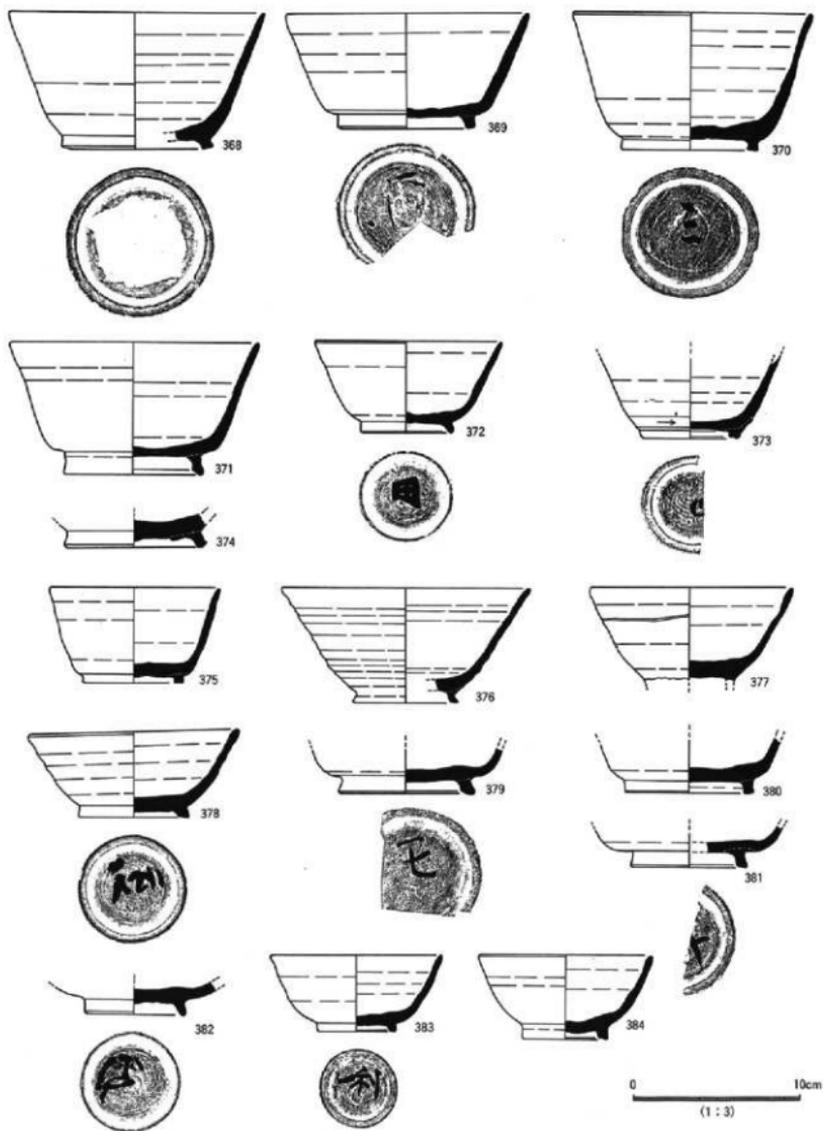
第28圖 遺物実測図(16)土器



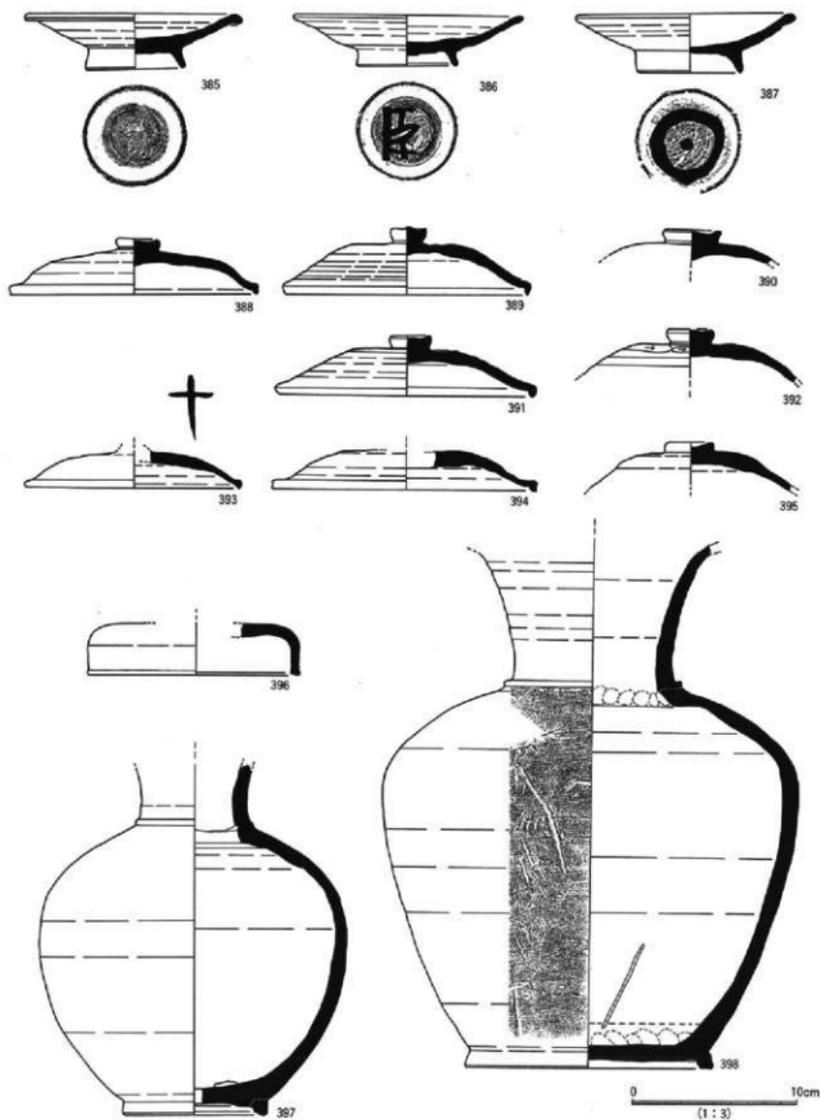
第29回 遺物実測図(17)土器



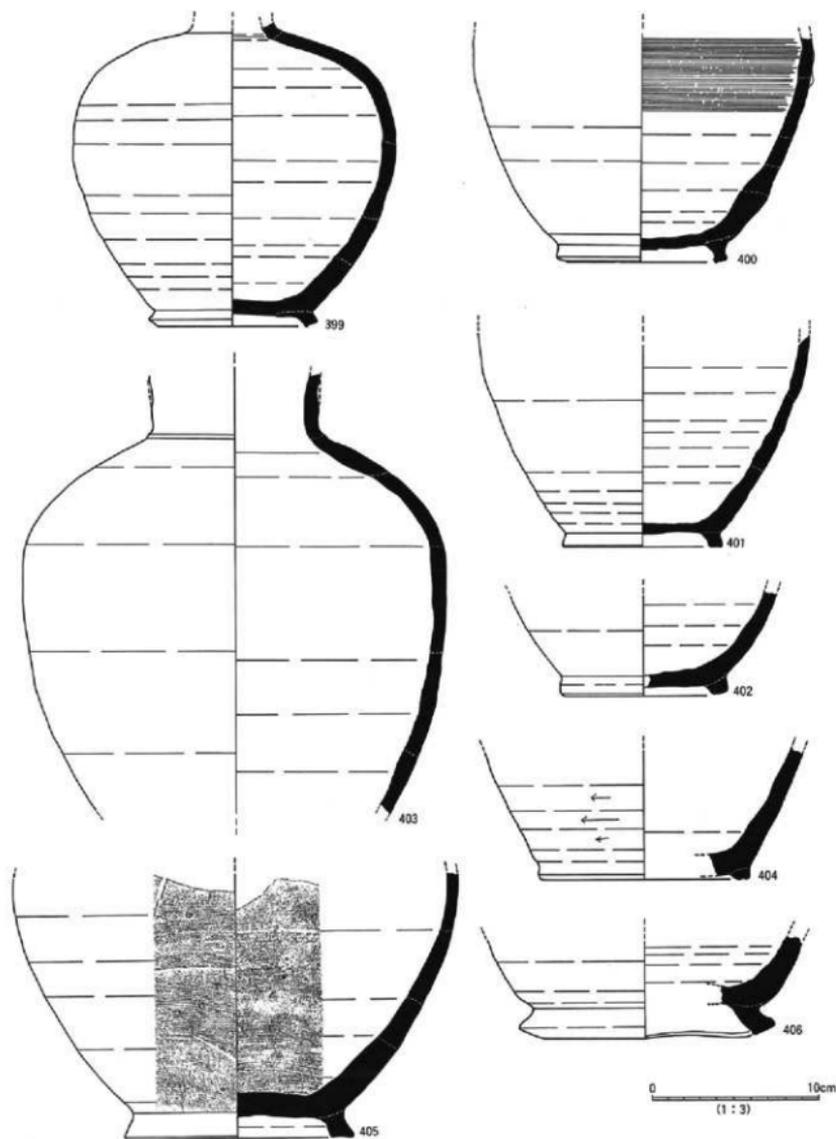
第30图 遺物実測図(18)土器



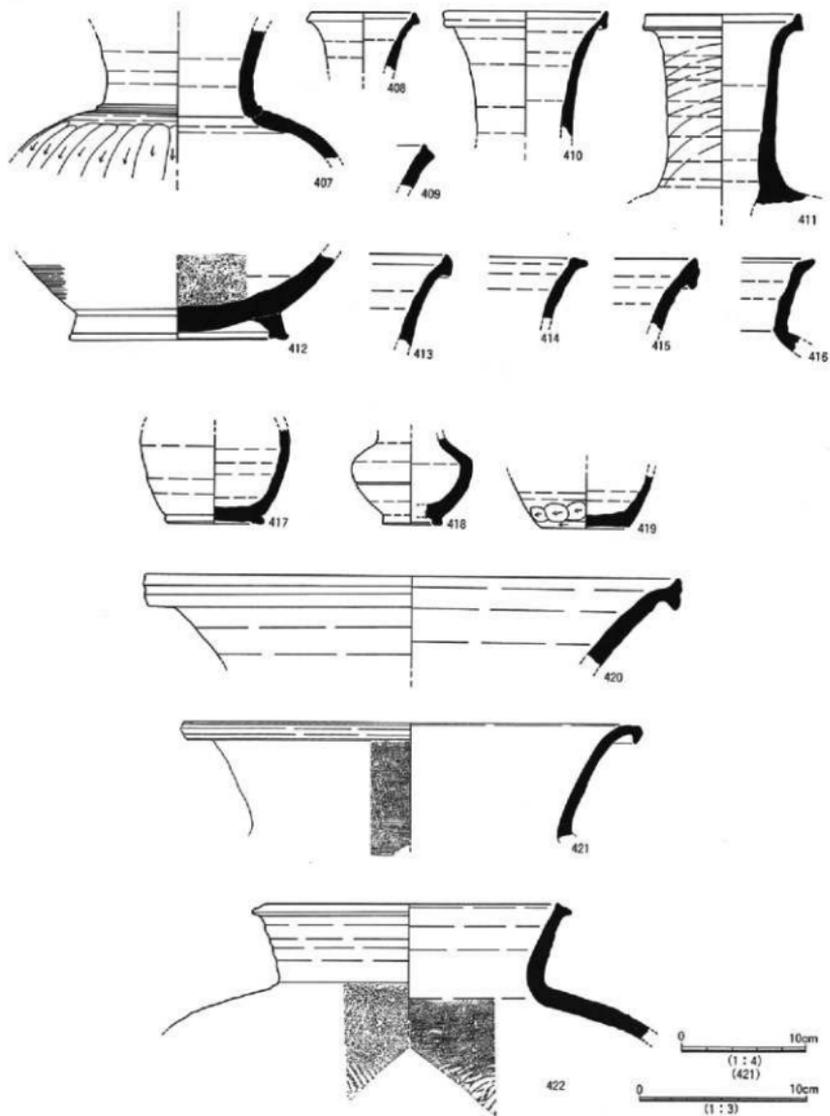
第31圖 遺物実測圖(19)土器



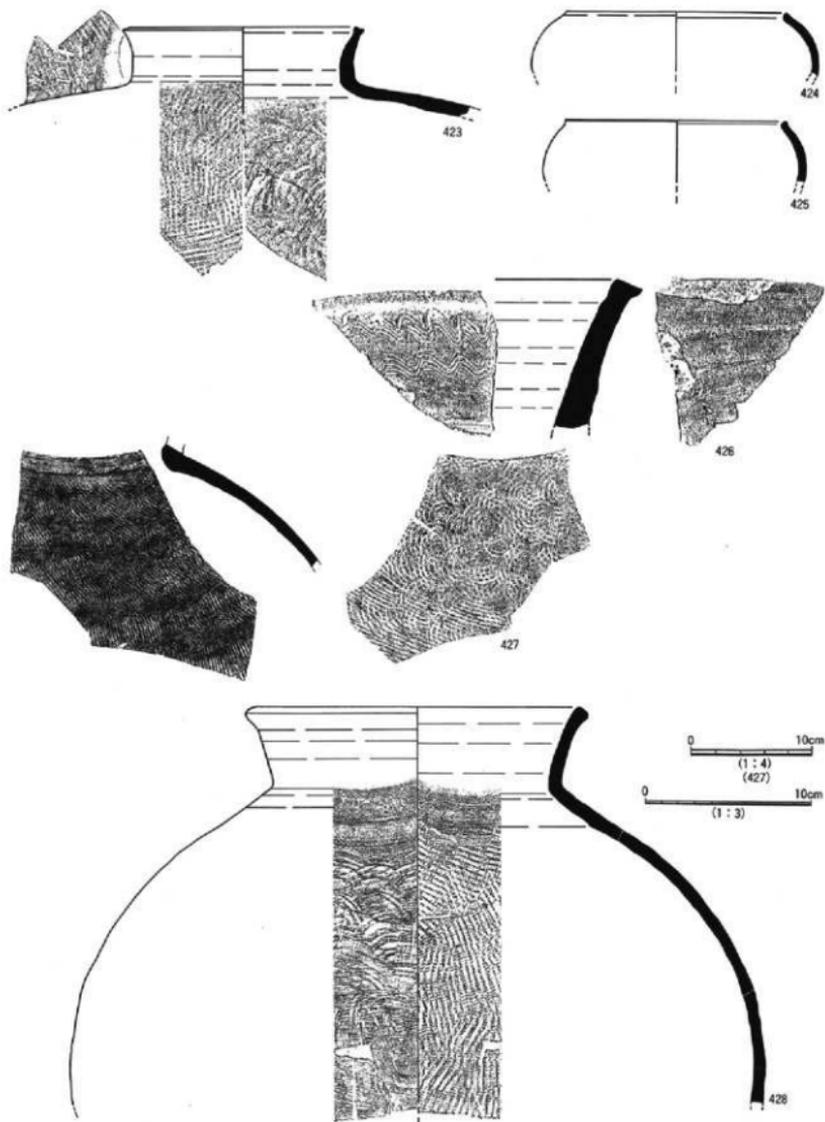
第32図 遺物実測図(20)土器



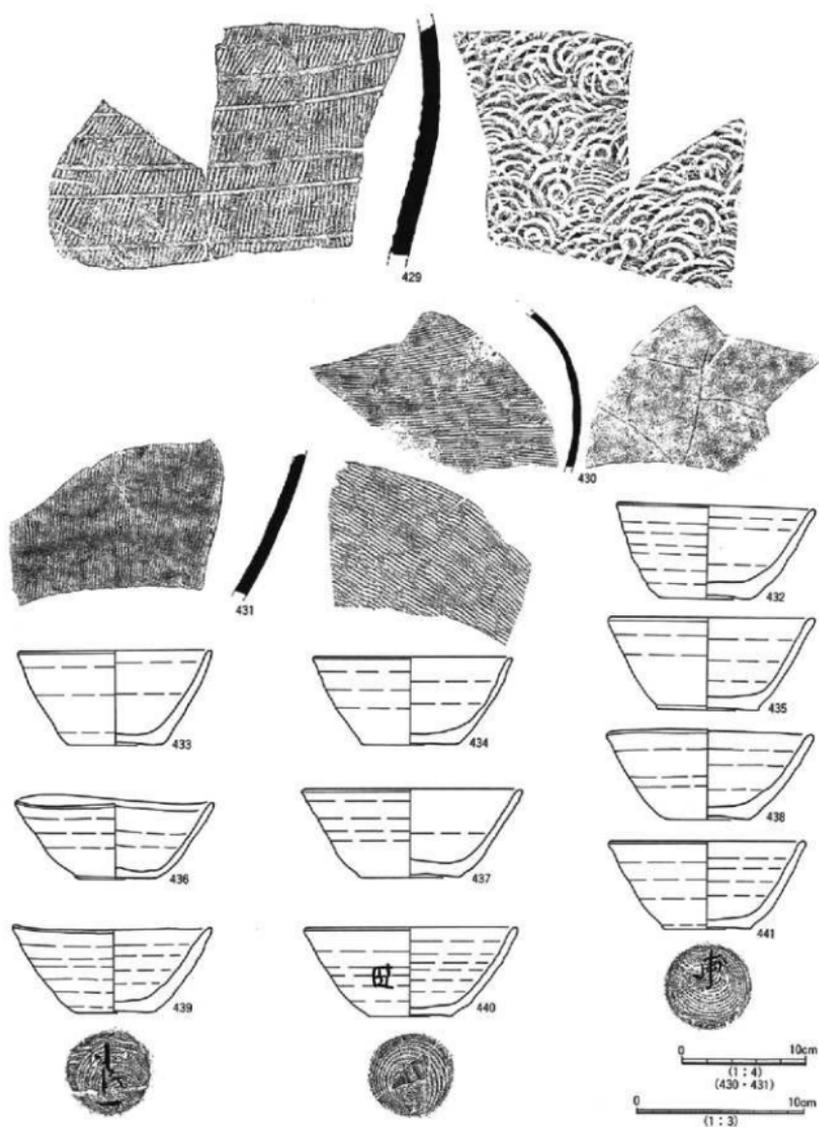
第33図 遺物実測図(21)土器



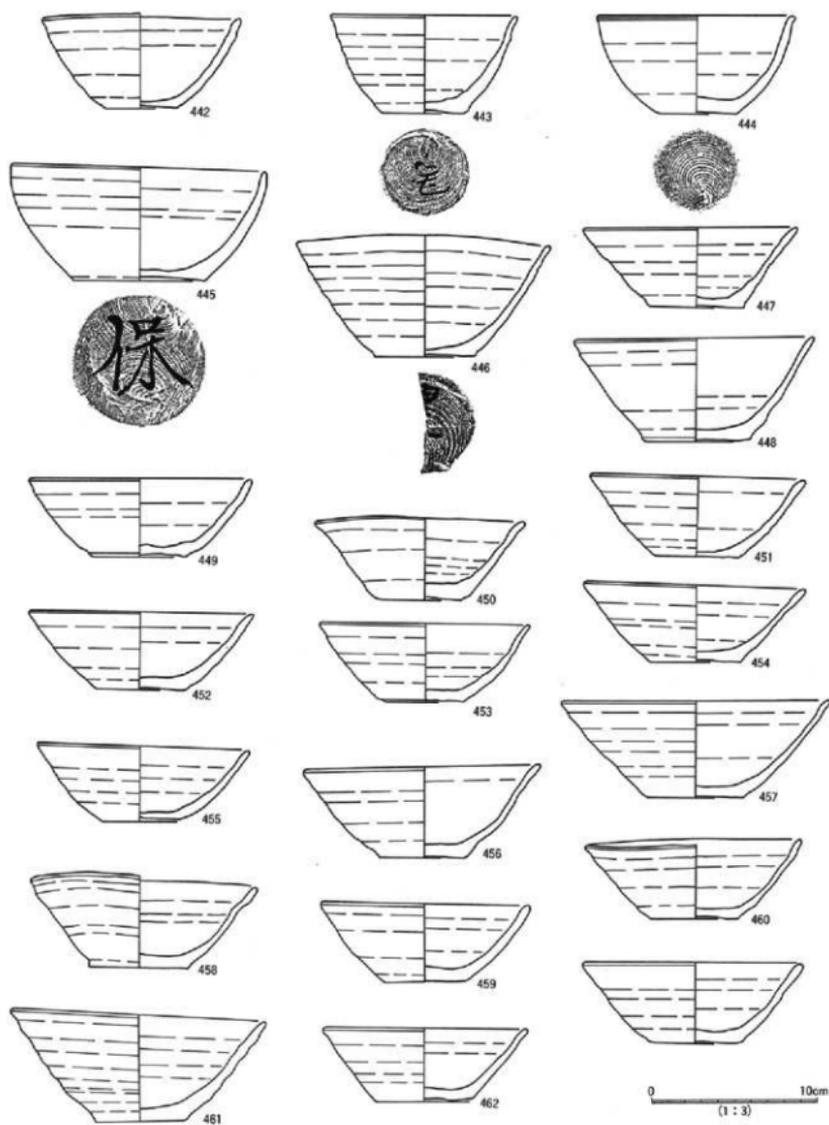
第34図 遺物実測図(22)土器



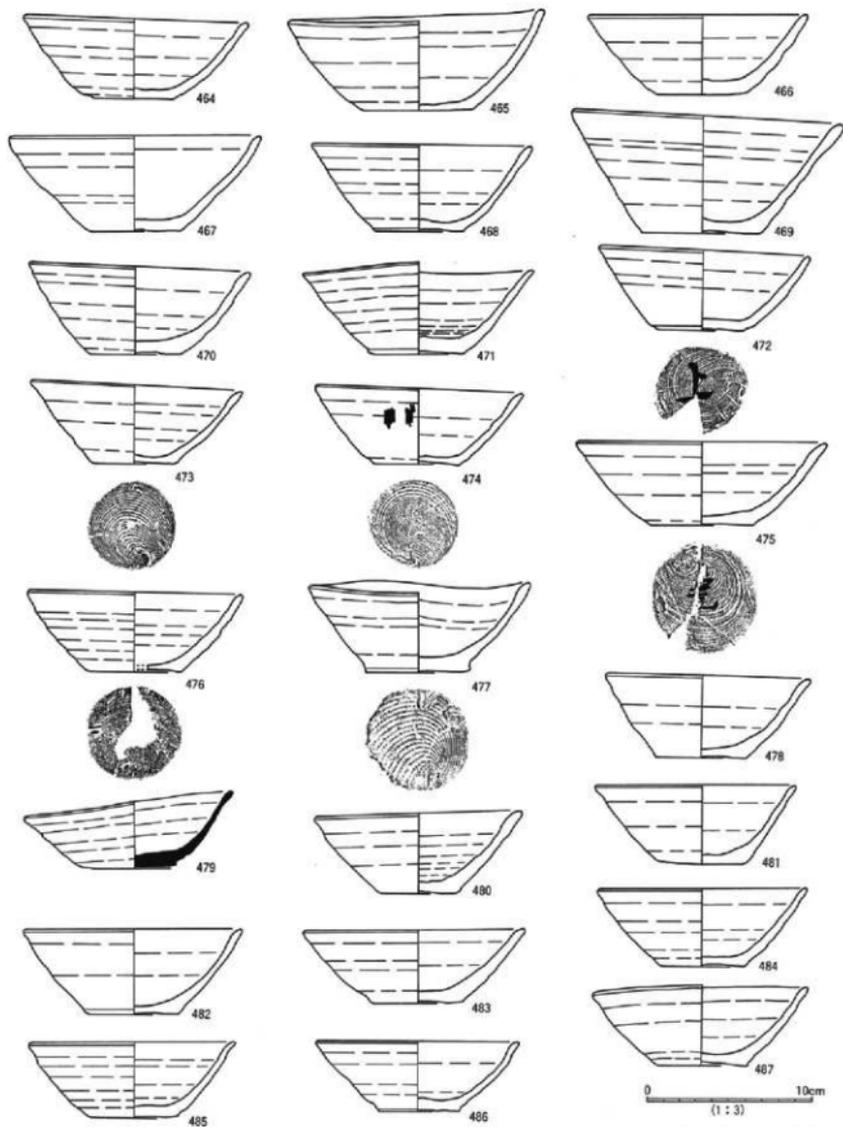
第35図 遺物実測図(23)土器



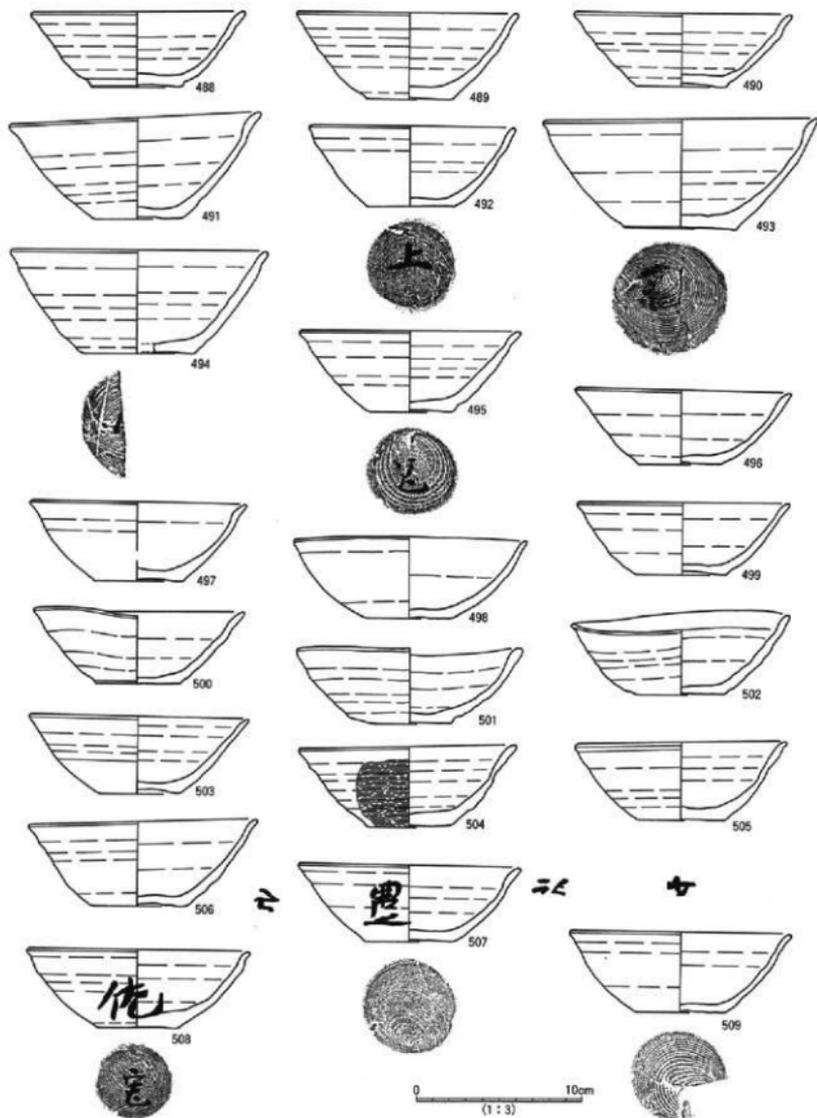
第36図 遺物実測図(24)土器



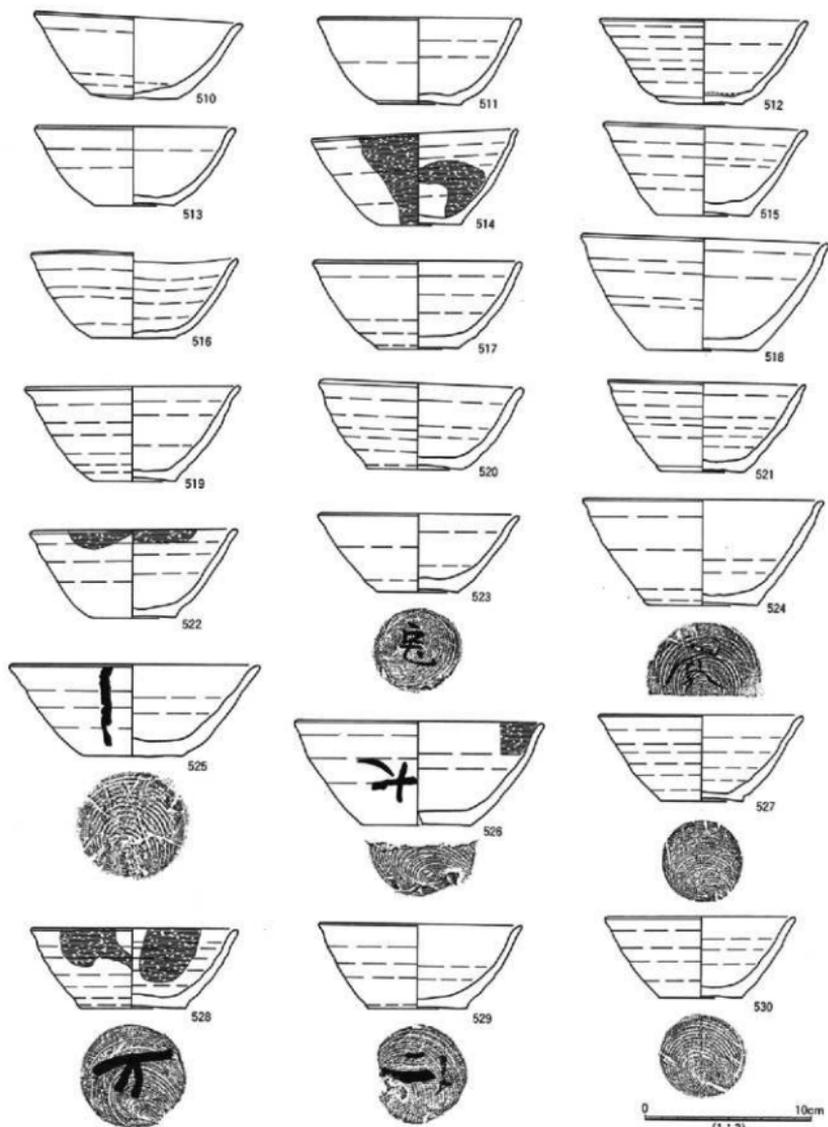
第37圖 遺物実測図(25)土器



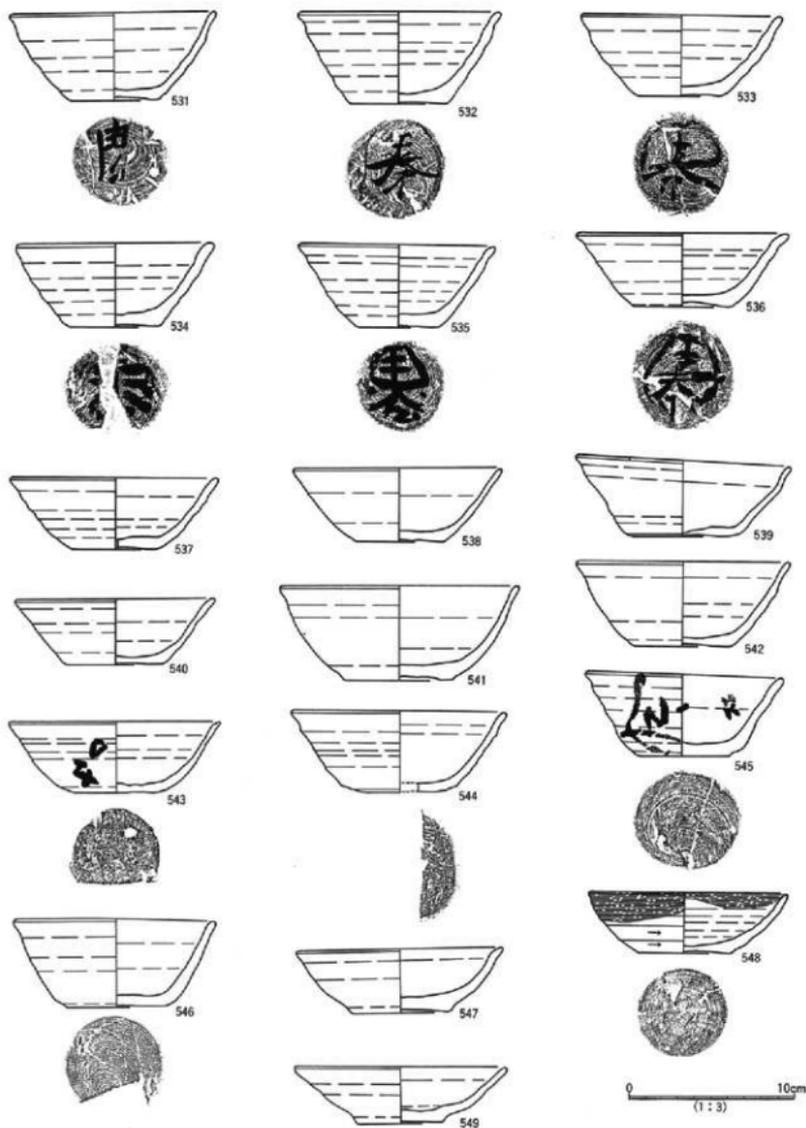
第38図 遺物実測図(26)土器



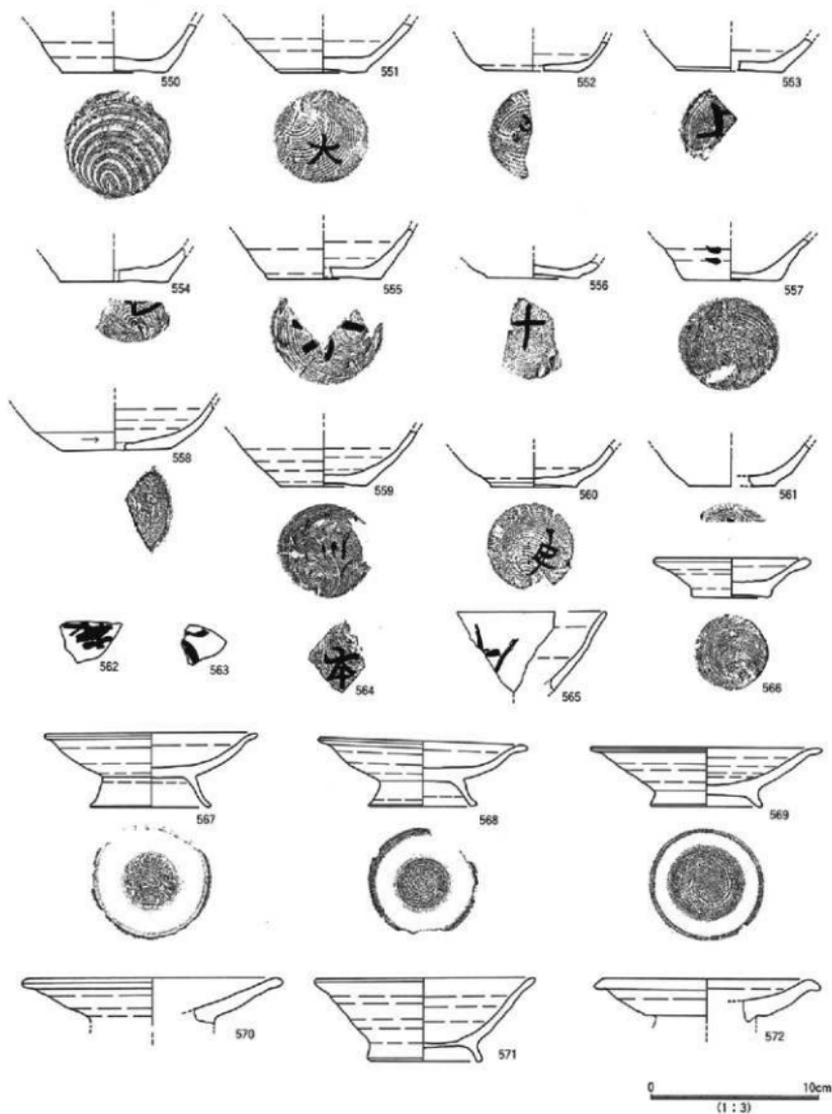
第39圖 遺物実測図(27)土器



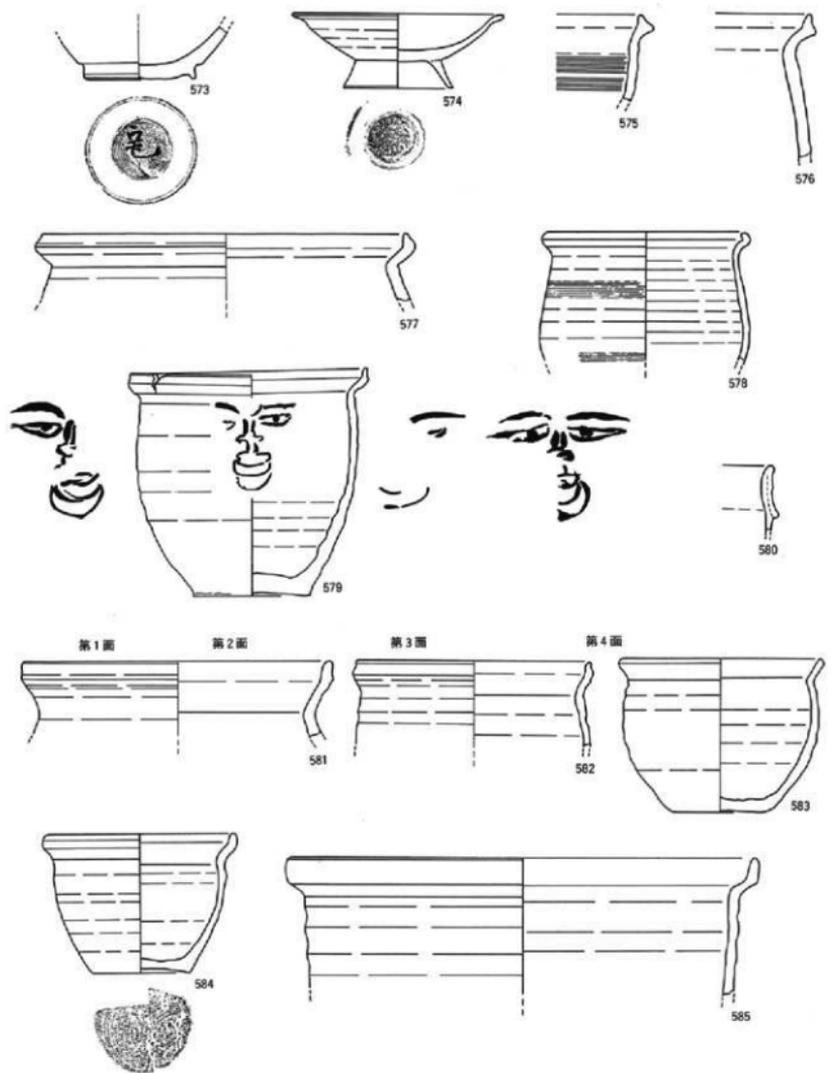
第40図 遺物実測図(28)土器



第41圖 遺物実測図(29)土器

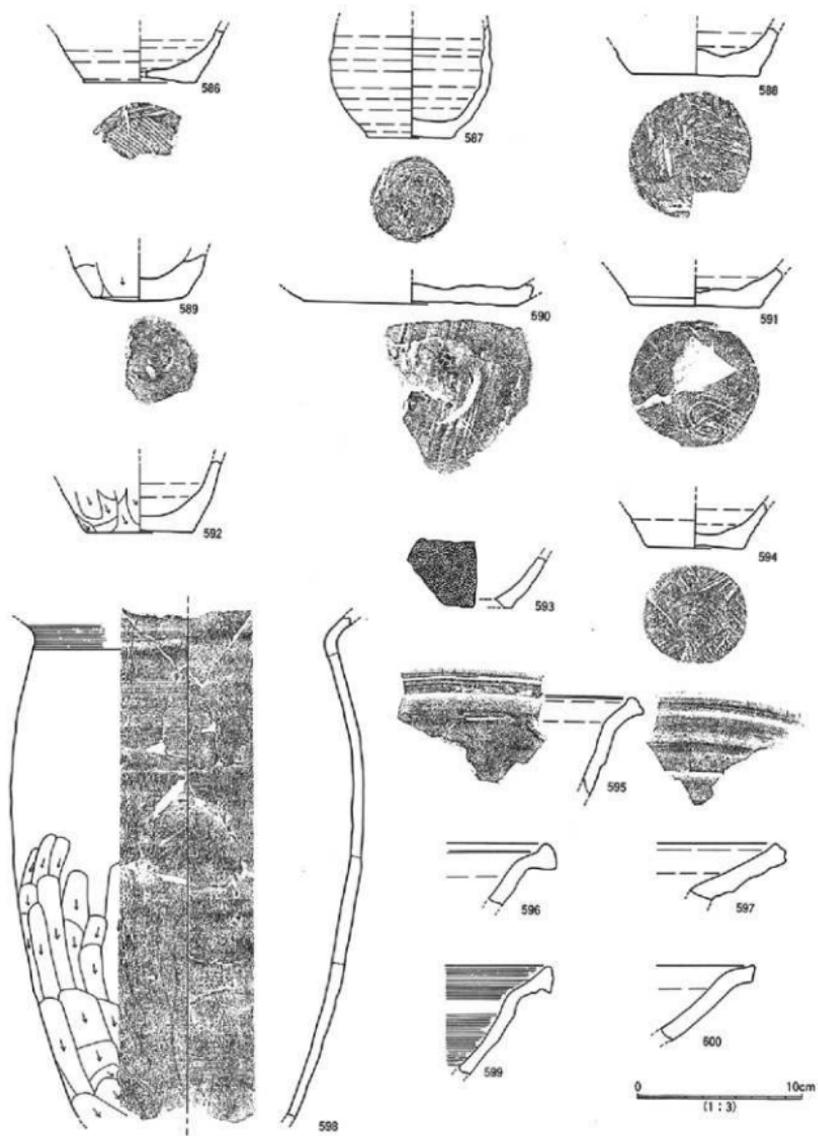


第42図 遺物実測図(30)土器

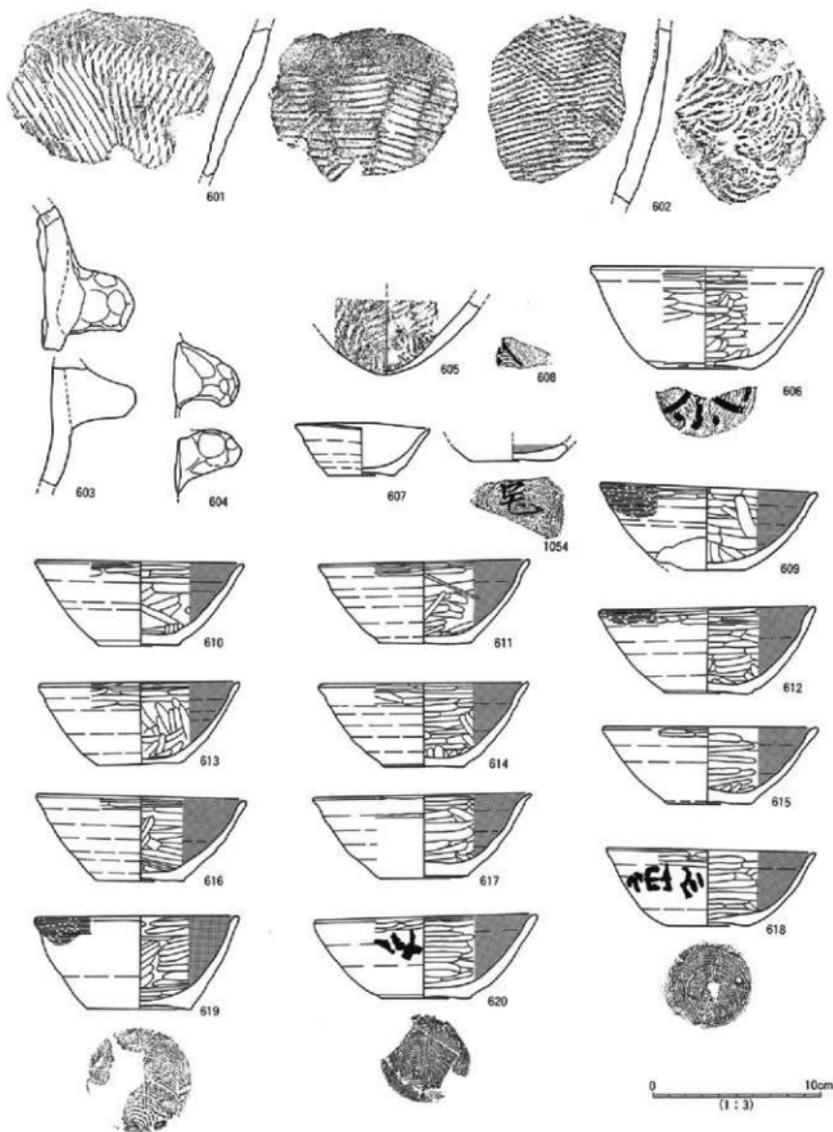


0 10cm
(1:3)

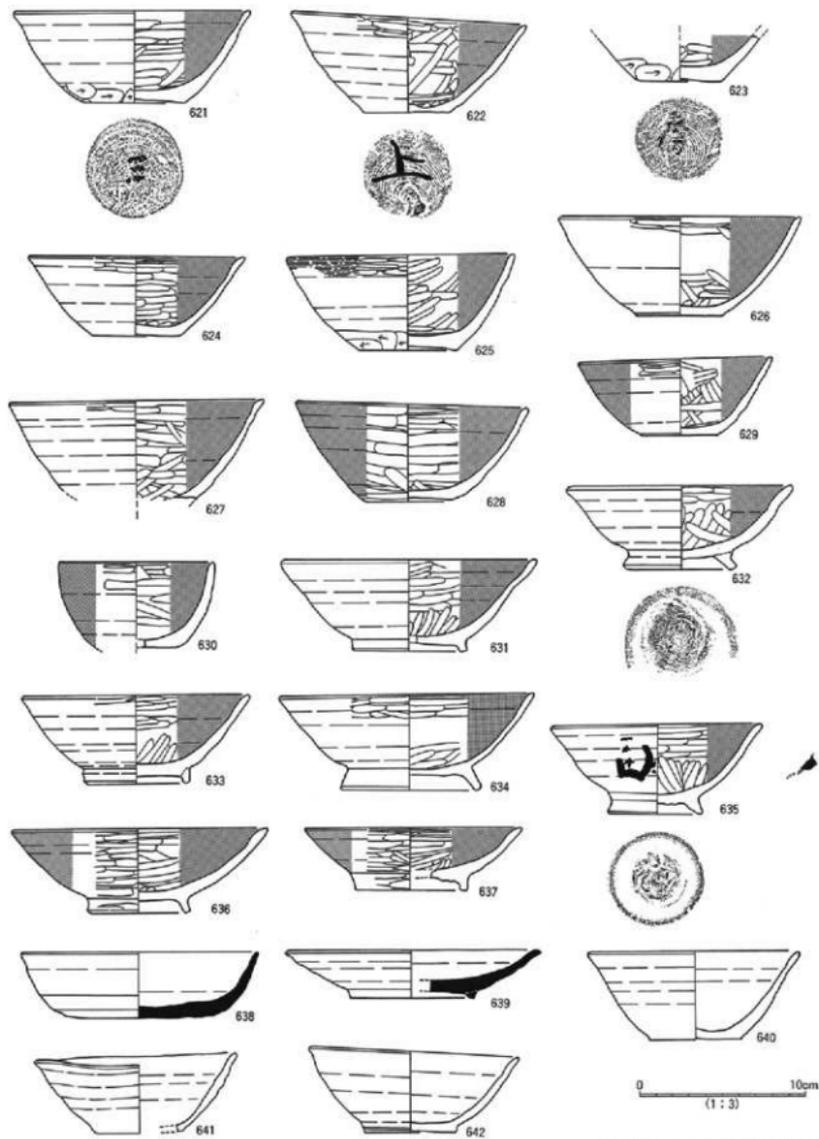
第43圖 遺物実測図(31)土器



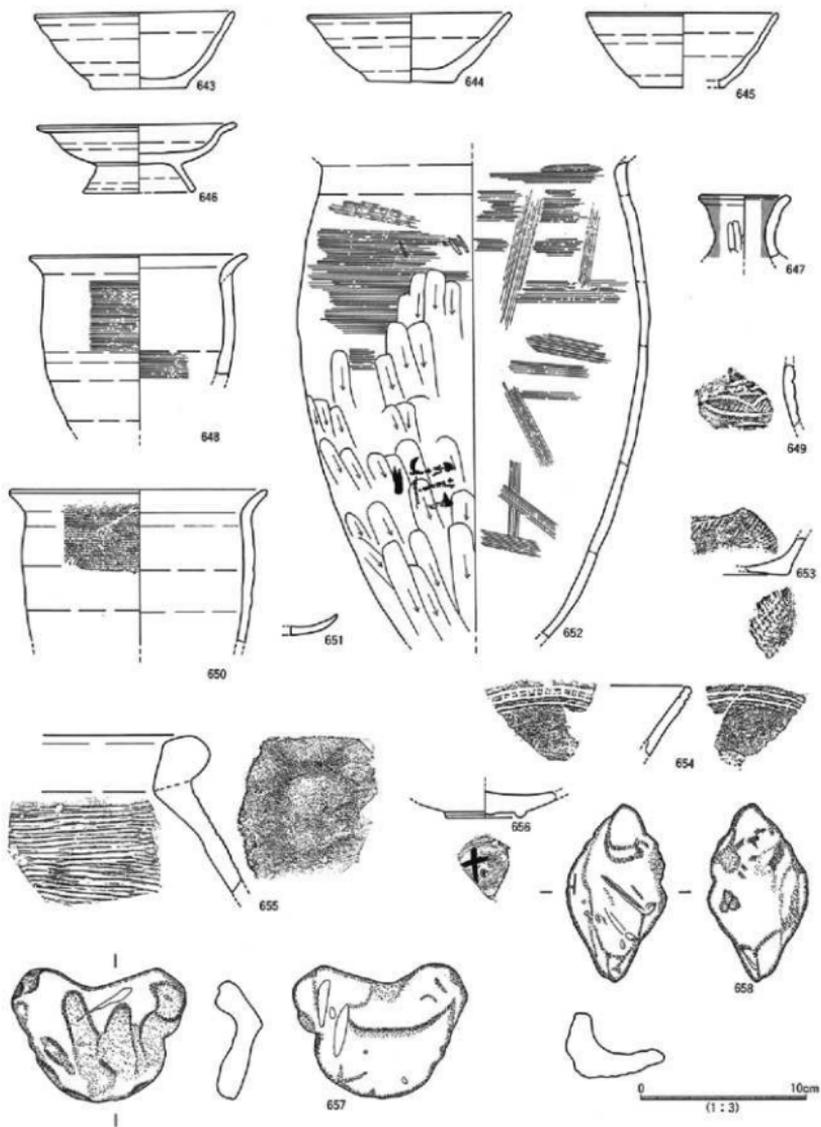
第44図 遺物実測図(32)土器



第45圖 遺物実測図(33)土器



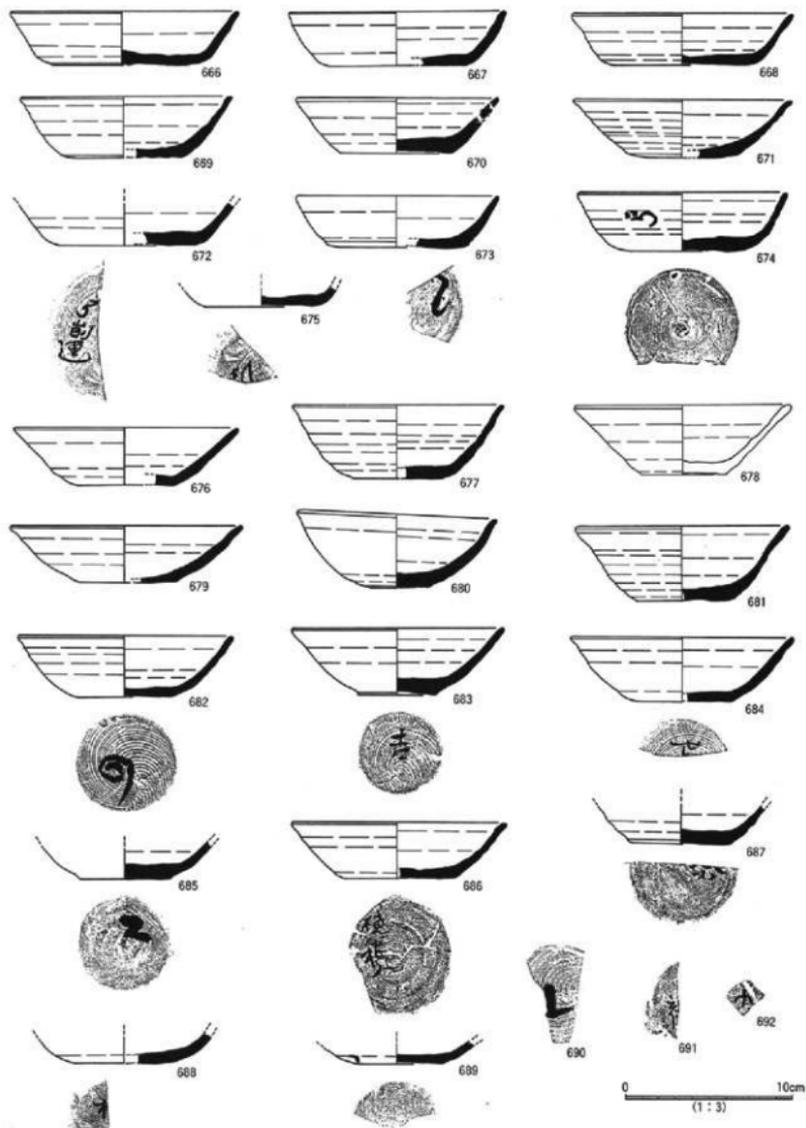
第46図 遺物実測図(34)土器



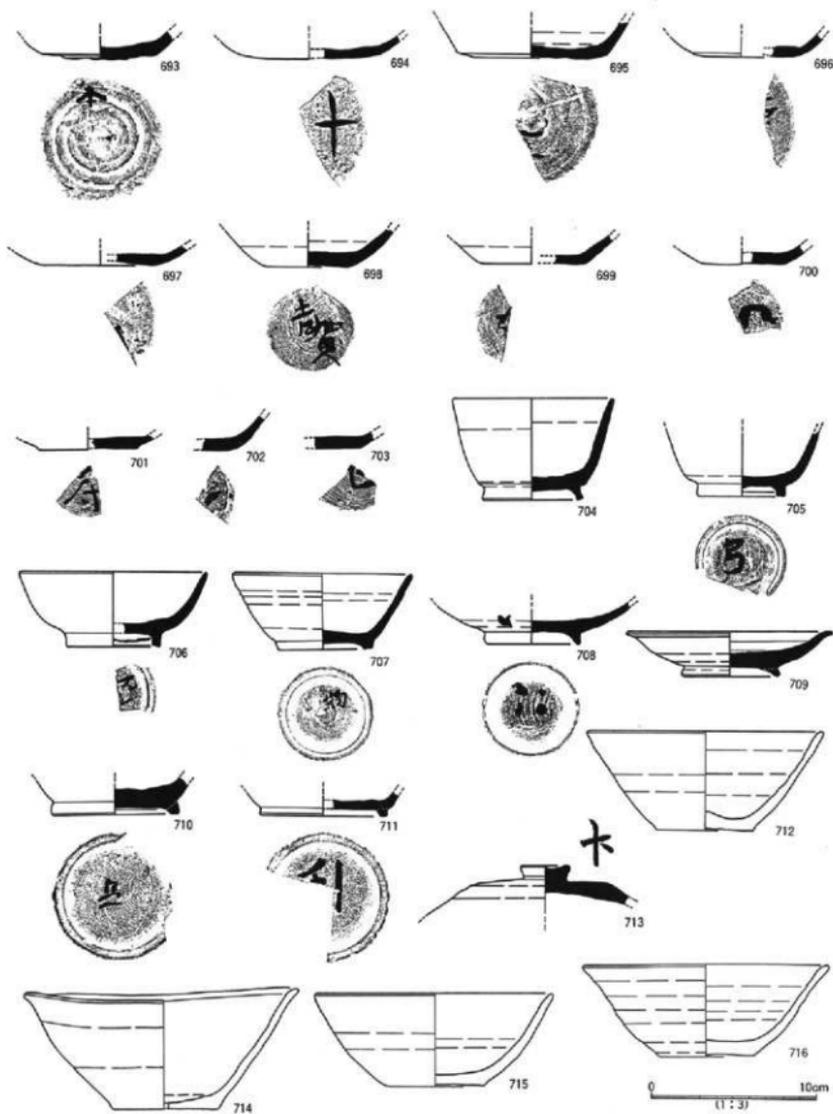
第47図 遺物実測図(35)土器・土製品



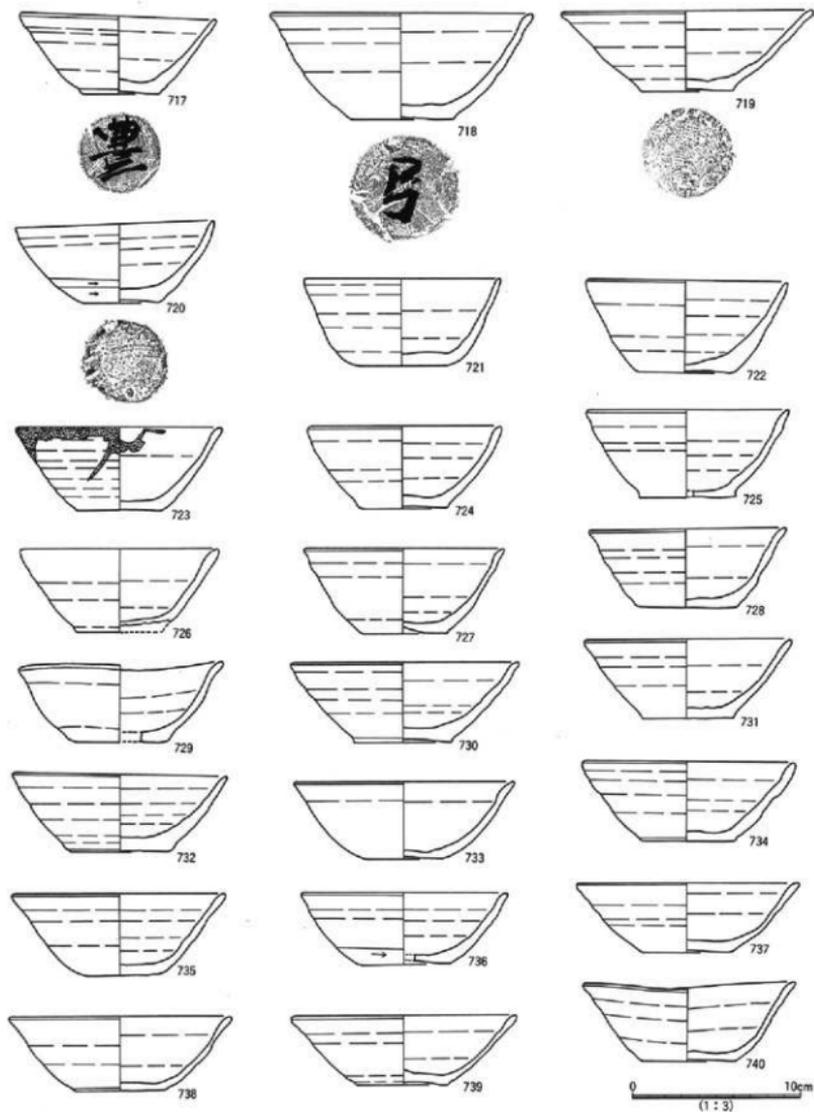
第48図 遺物実測図(36)土製品・石製品



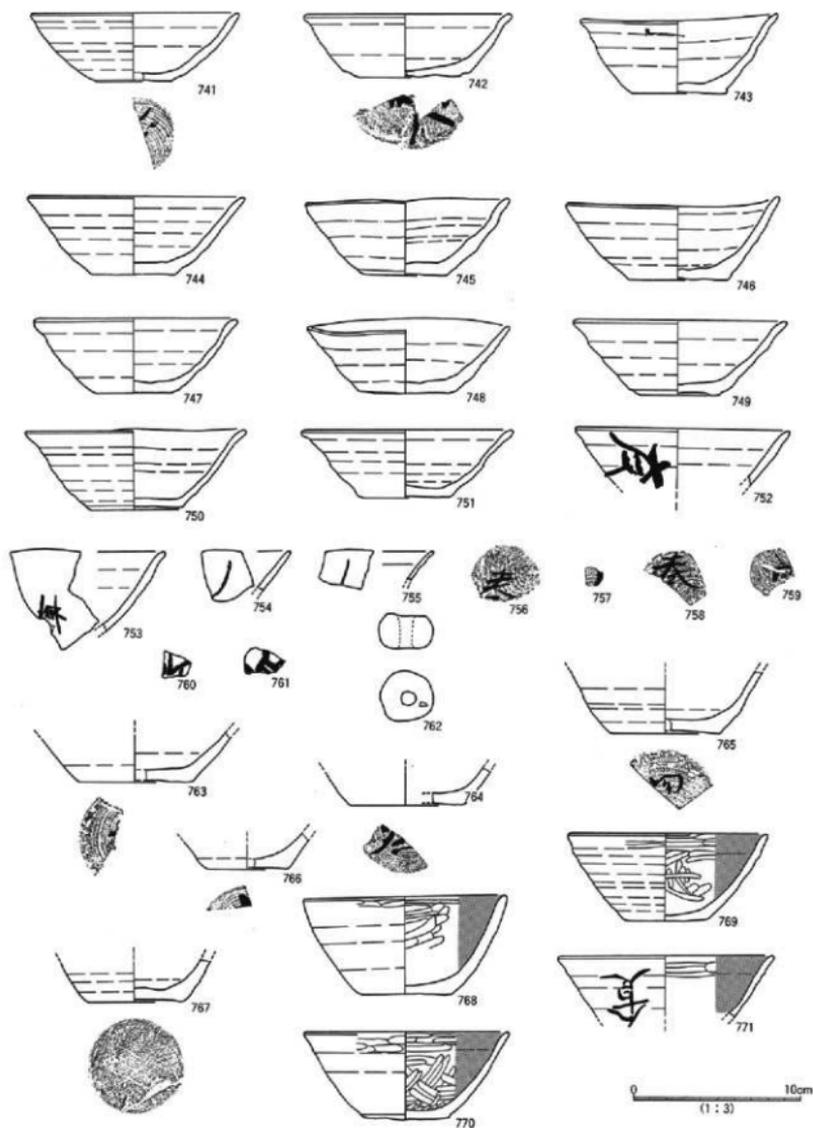
第49図 遺物実測図(37)土器



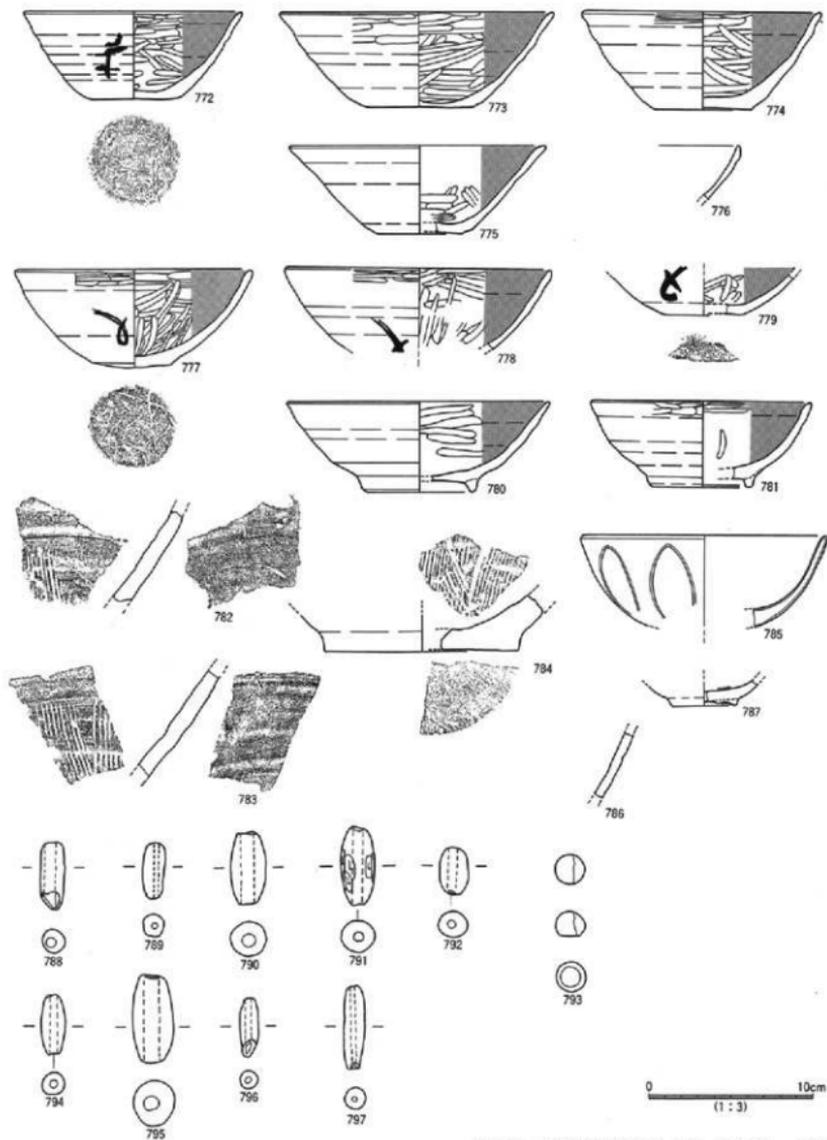
第50図 遺物実測図(38)土器



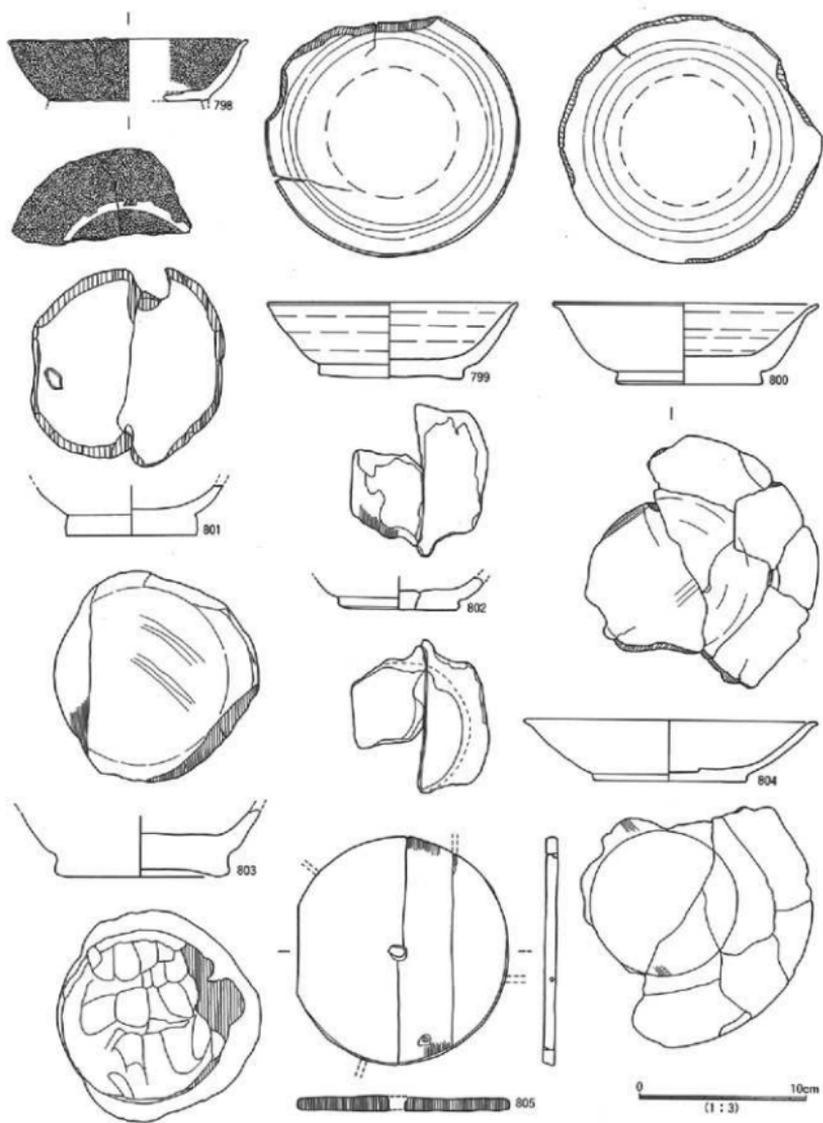
第51図 遺物実測図(39)土器



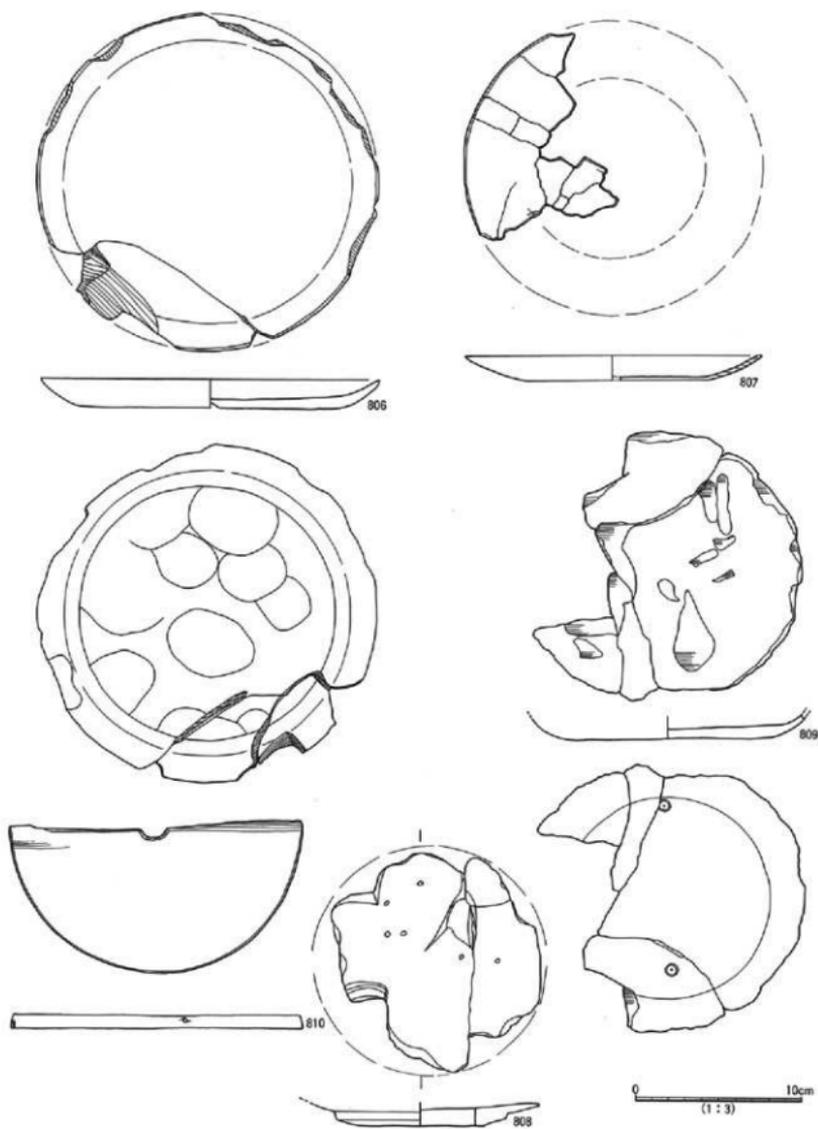
第52図 遺物実測図(40)土器



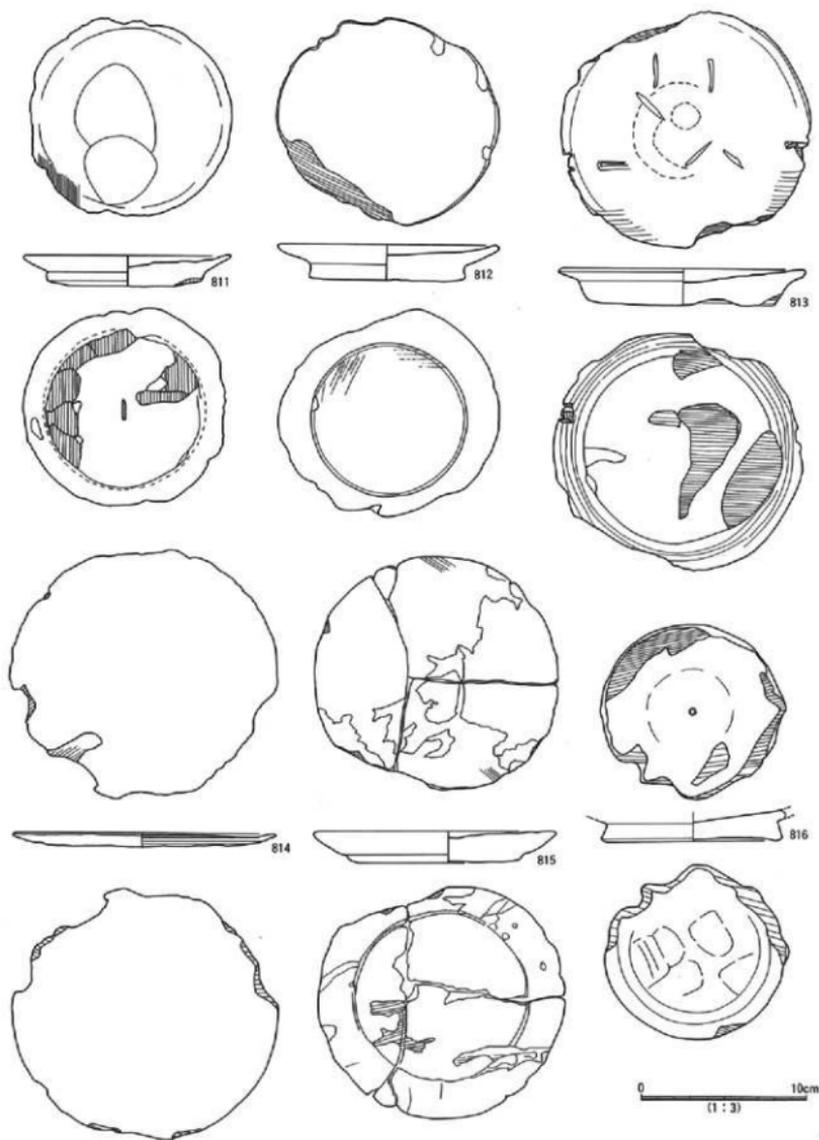
第53図 遺物実測図(41)土器・陶磁器・土製品



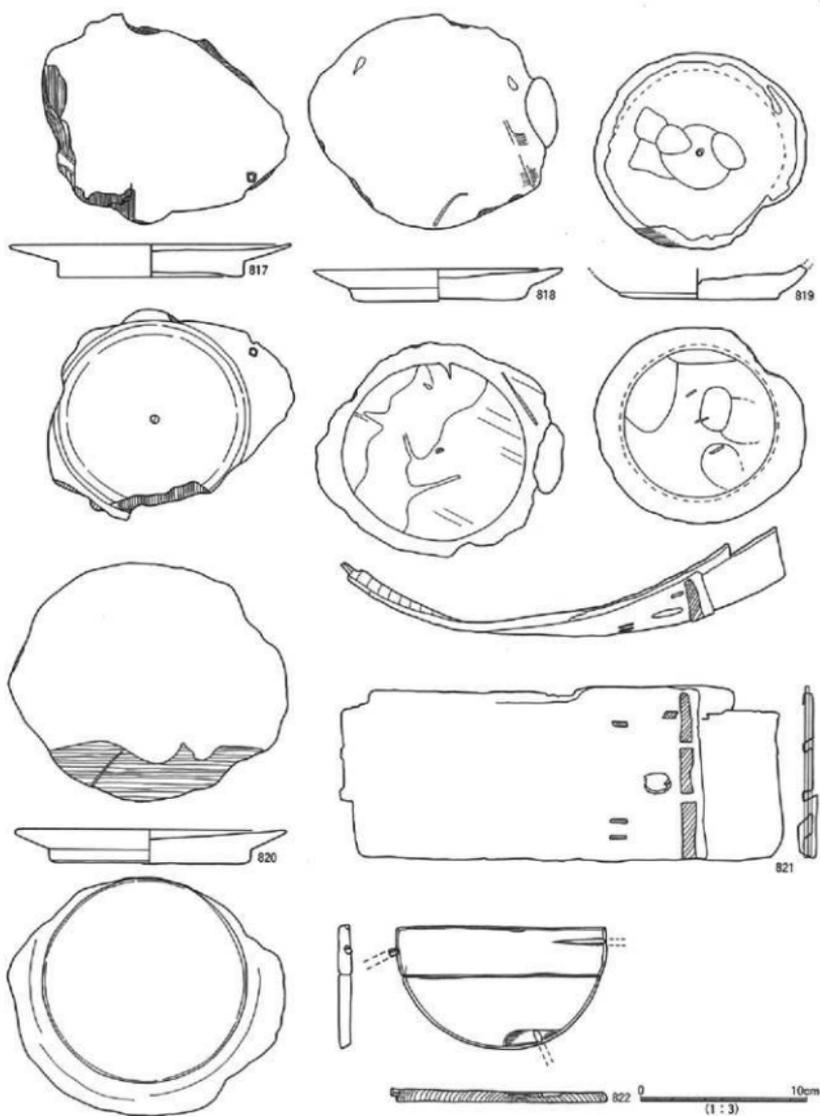
第54図 遺物実測図(42)木製品



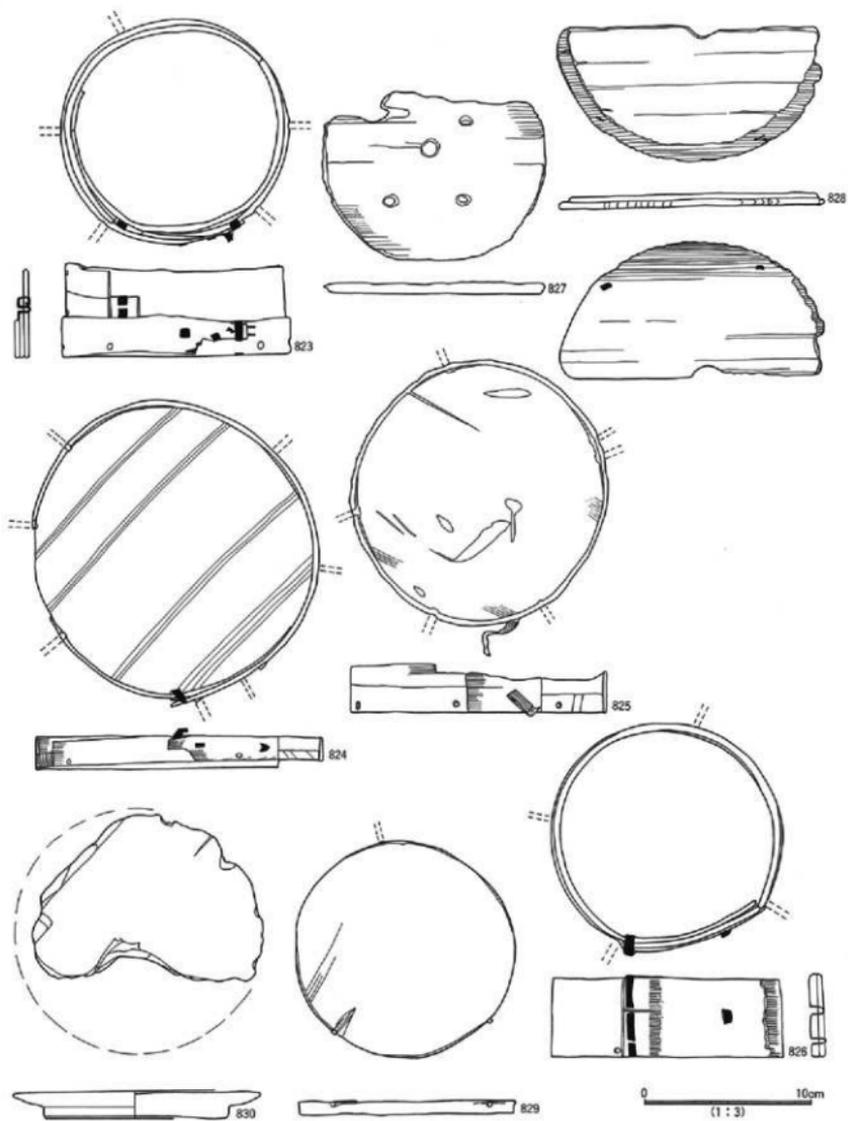
第55図 遺物実測図(43)木製品



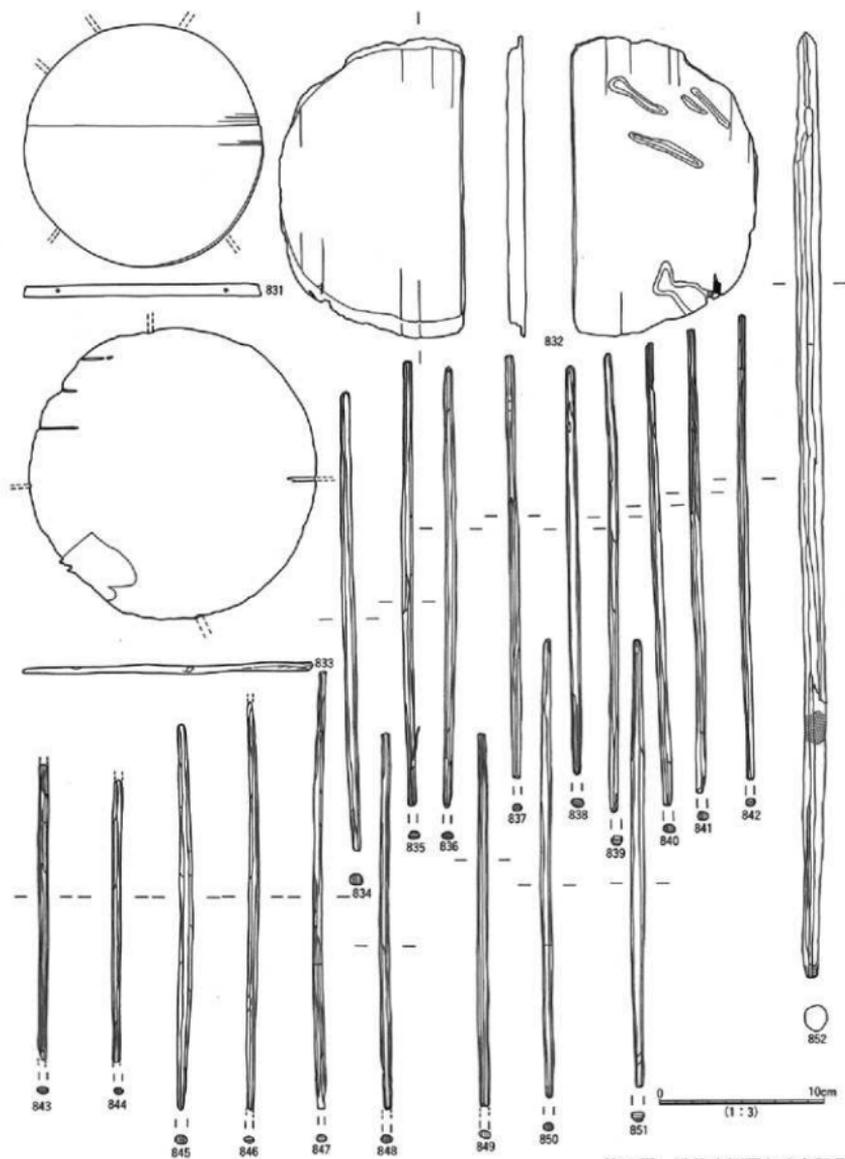
第56図 遺物実測図(44)木製品



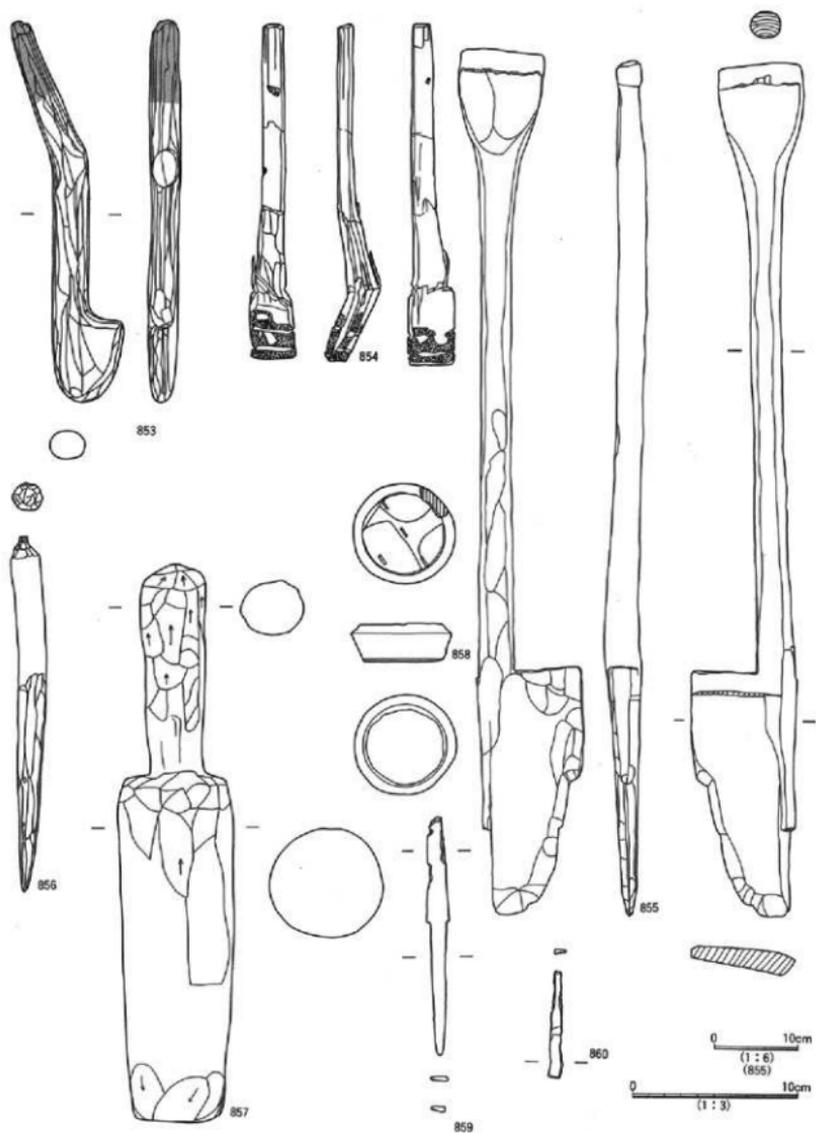
第57図 遺物実測図(45)木製品



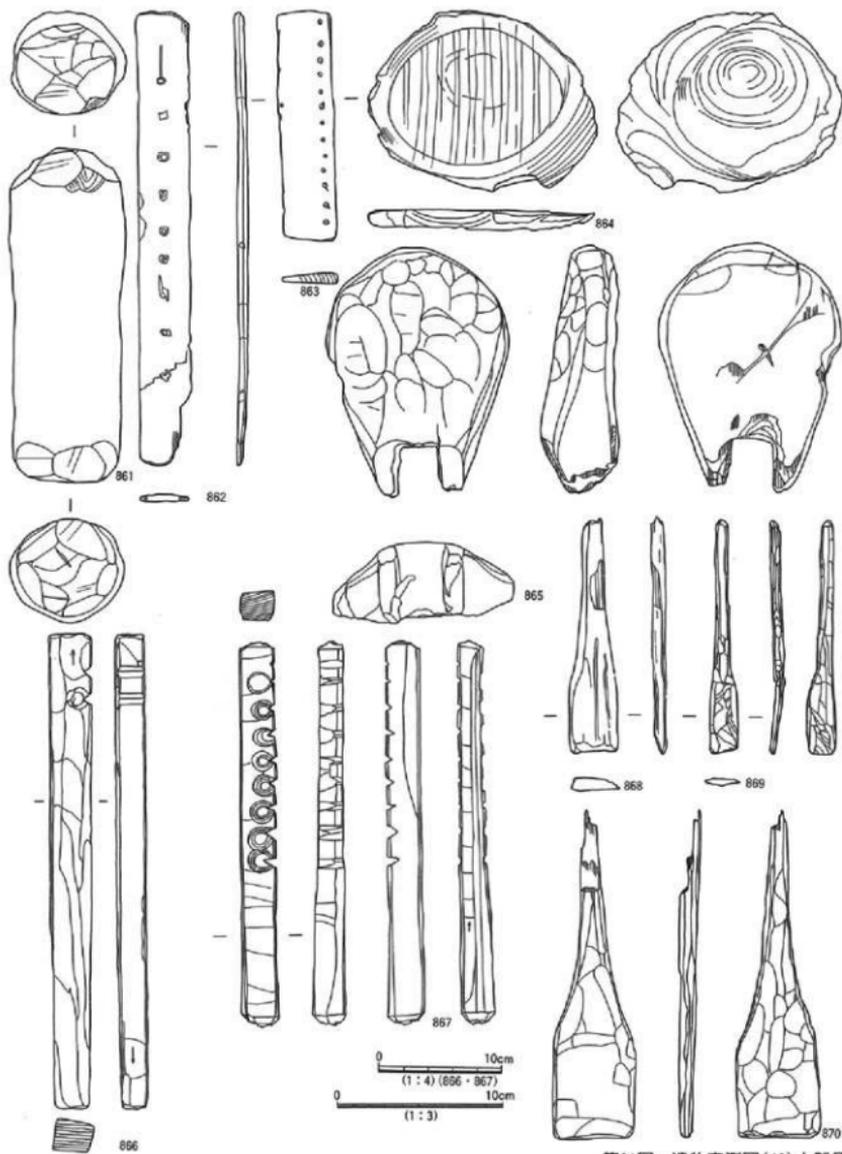
第58図 遺物実測図(46)木製品



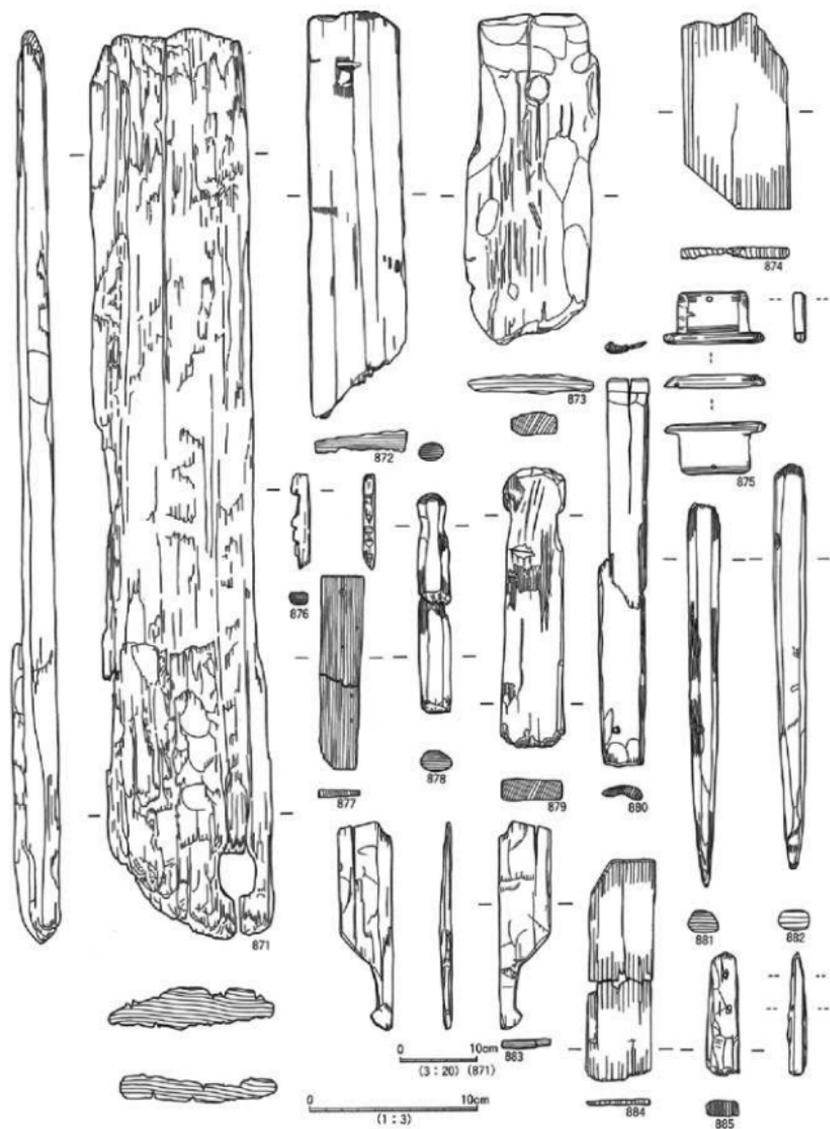
第59図 遺物実測図(47)木製品



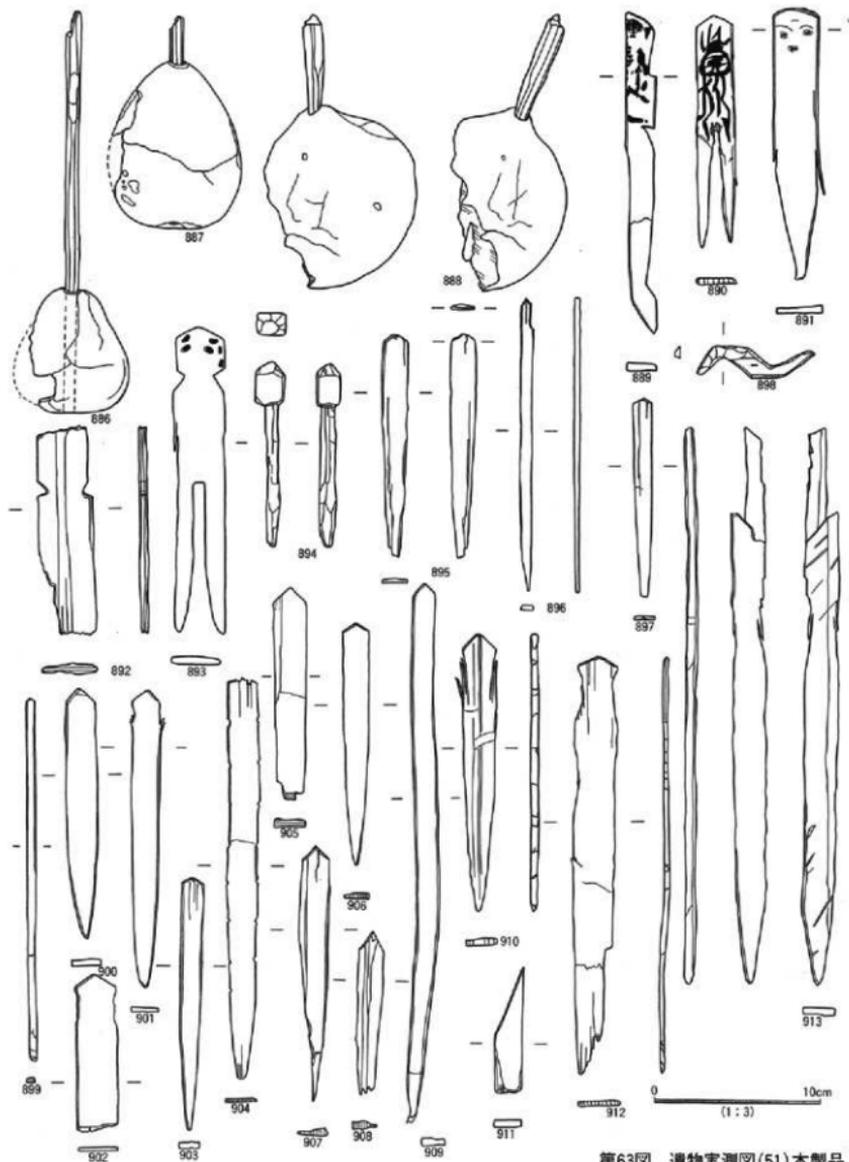
第60図 遺物実測図(48)木製品



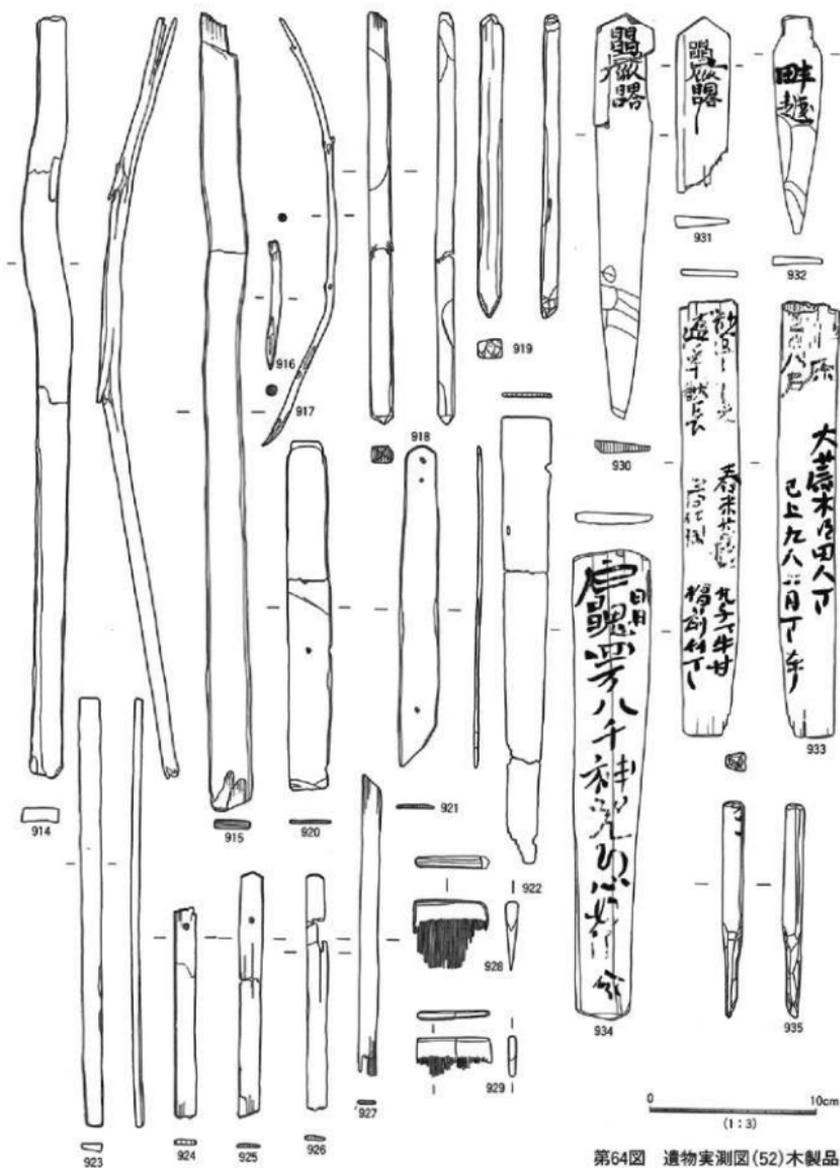
第61図 遺物実測図(49)木製品



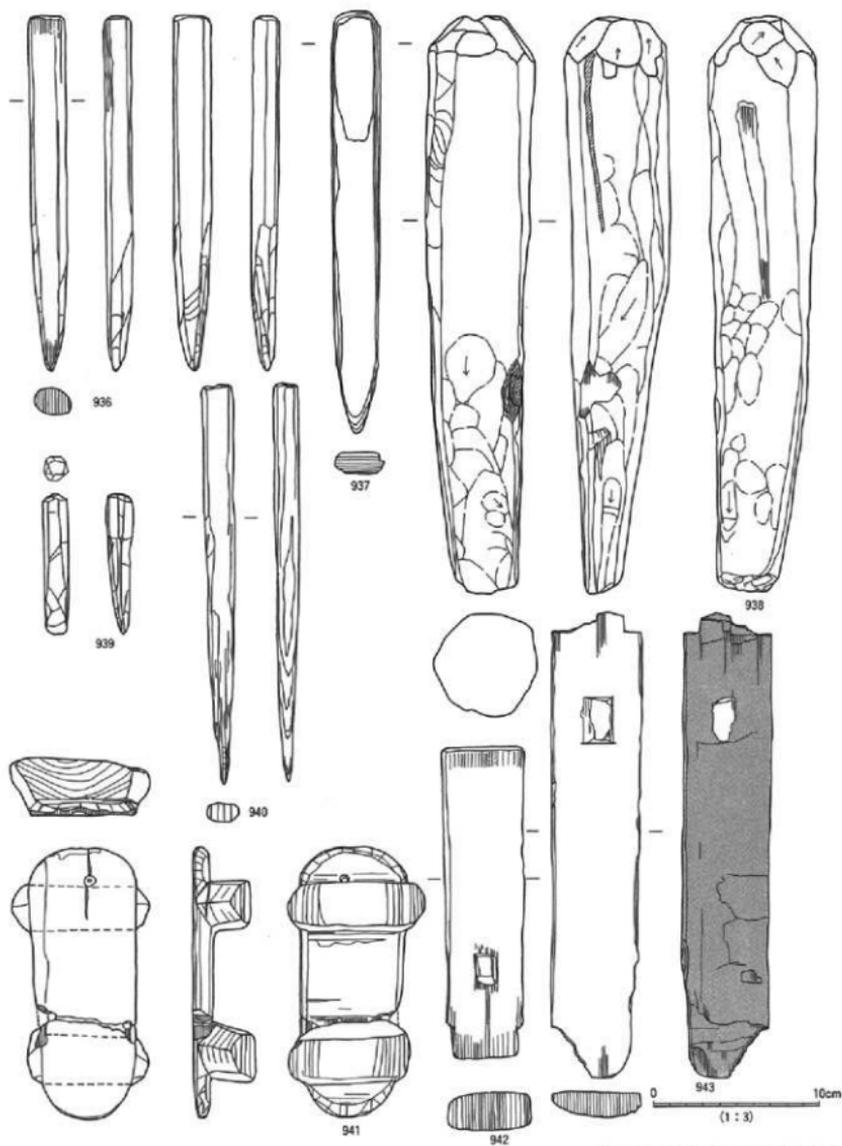
第62図 遺物実測図(50)木製品



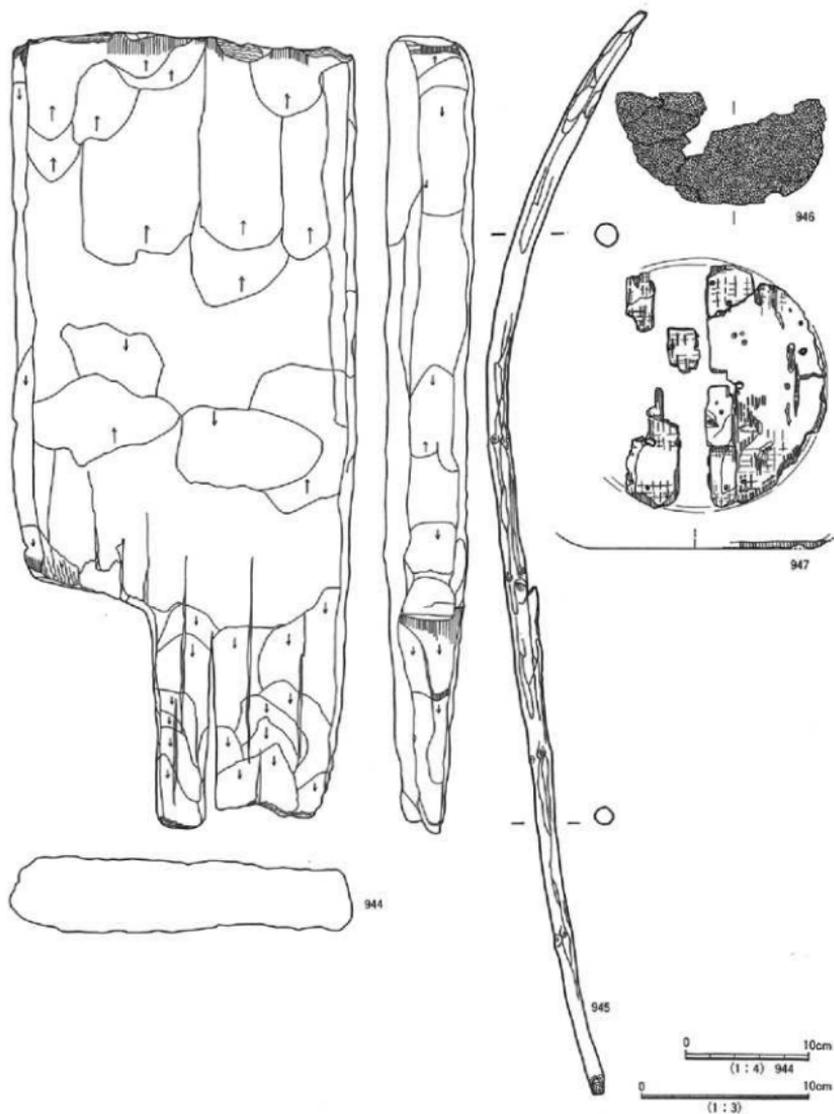
第63図 遺物実測図(51)木製品



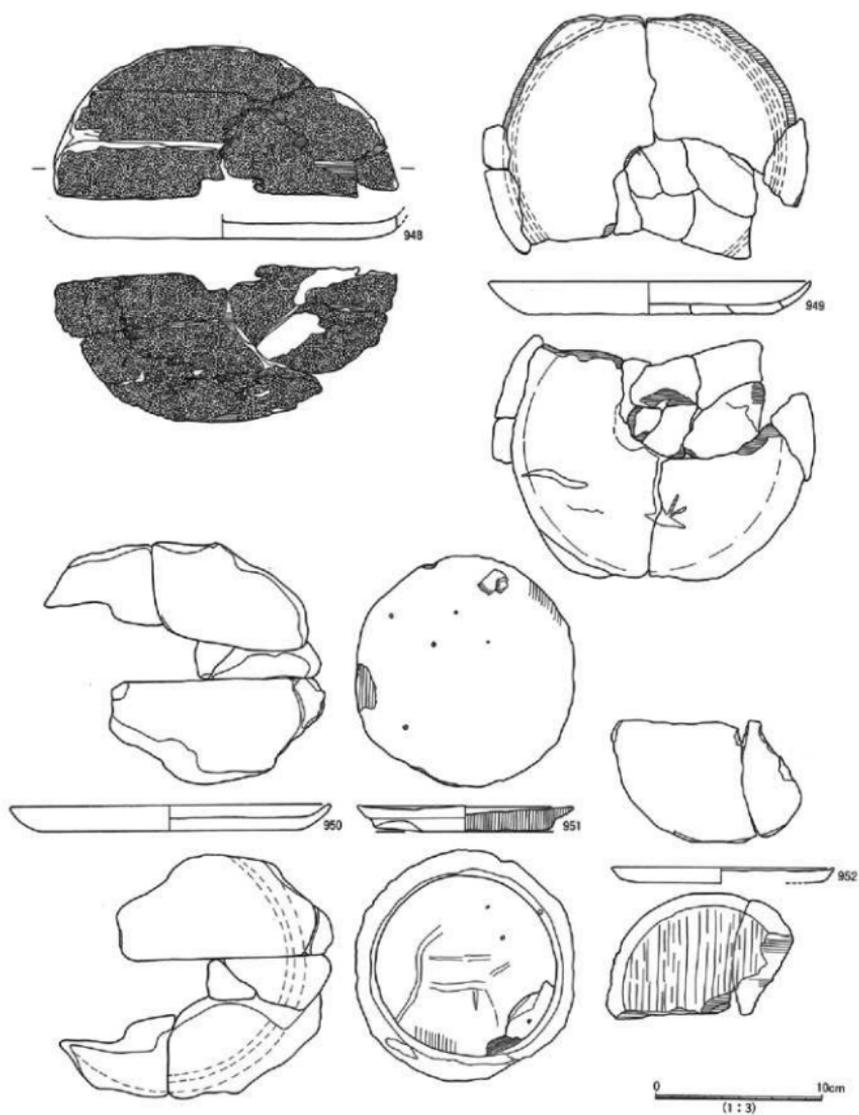
第64図 遺物実測図(52)木製品



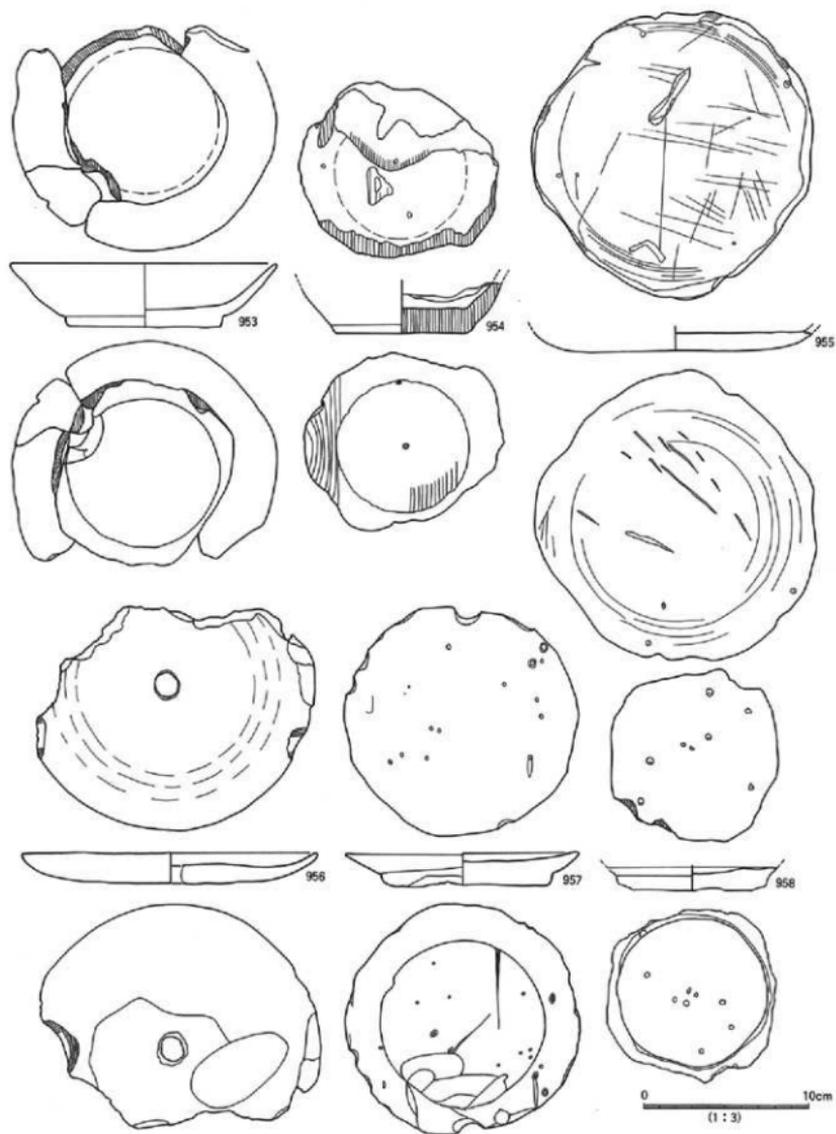
第65図 遺物実測図(53)木製品



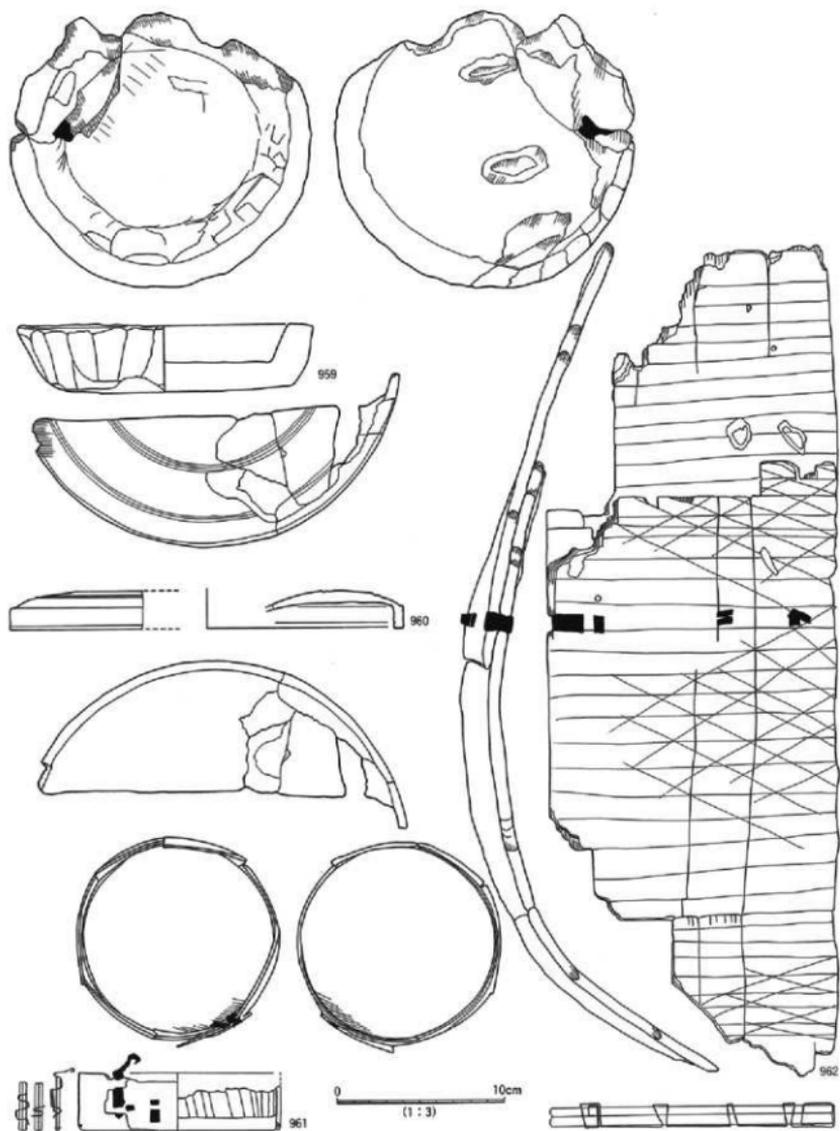
第66図 遺物実測図(54)木製品



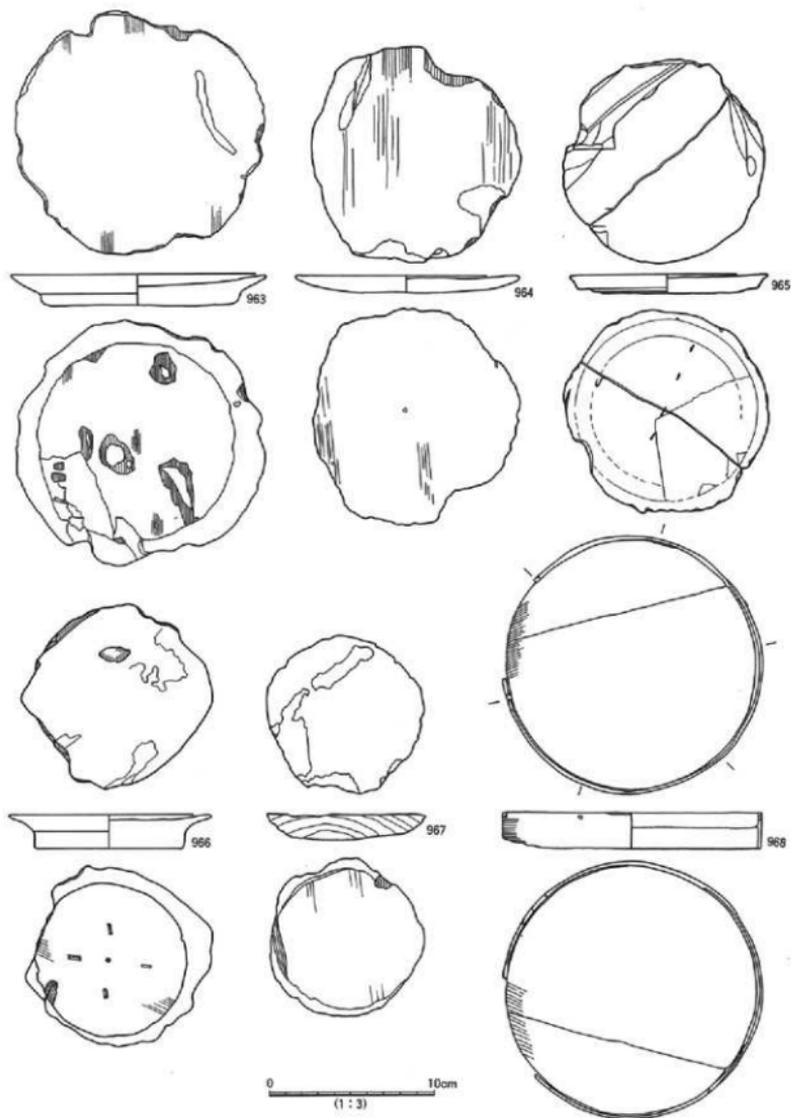
第67図 遺物実測図(55)木製品



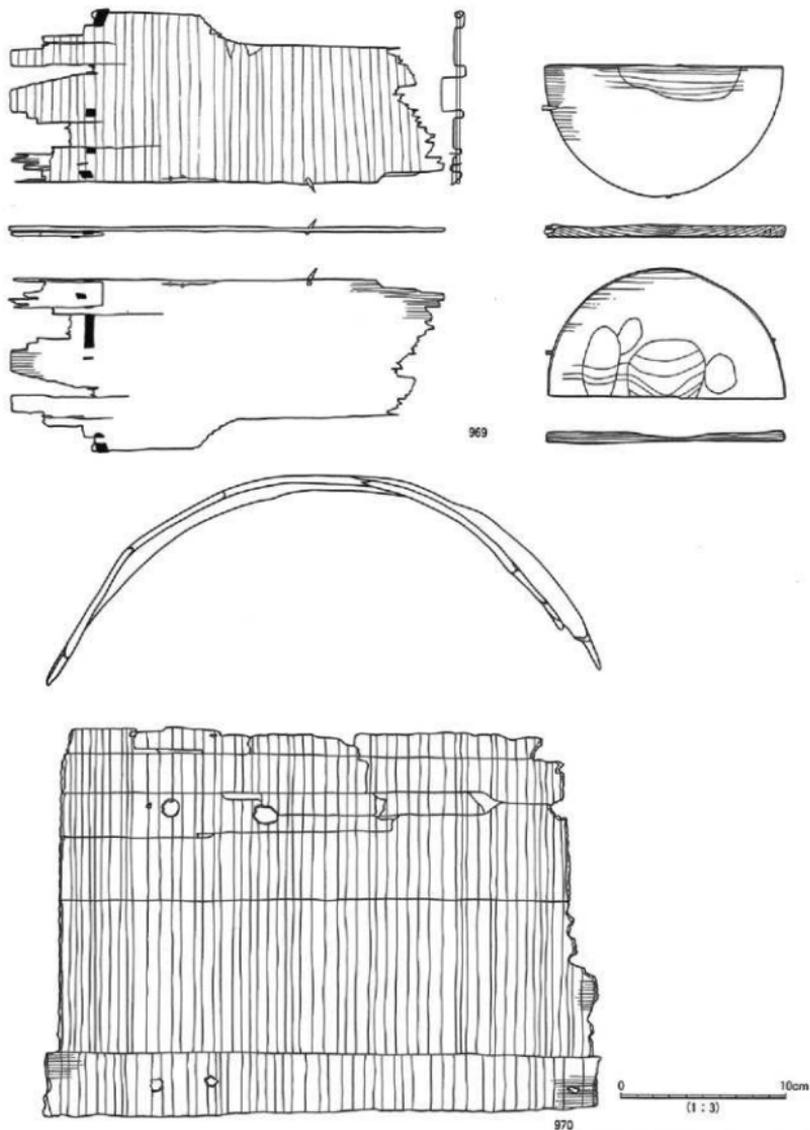
第68図 遺物実測図(56)木製品



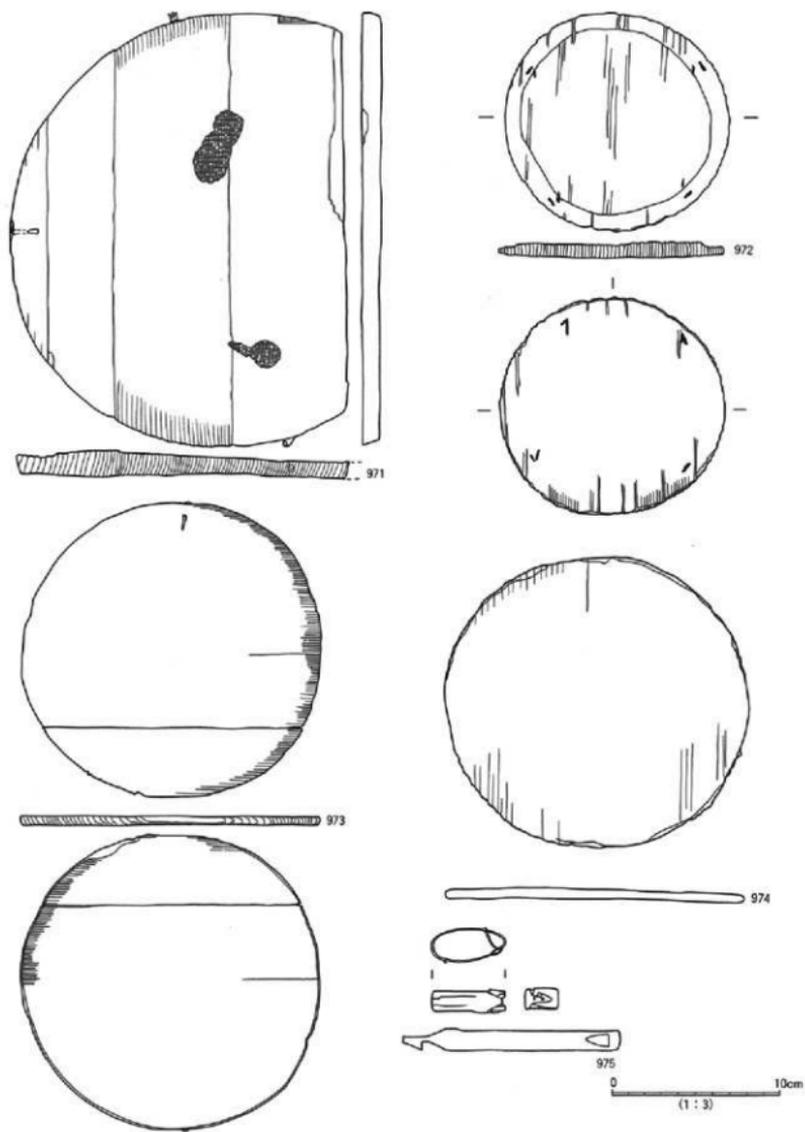
第69圖 遺物実測図(57)木製品



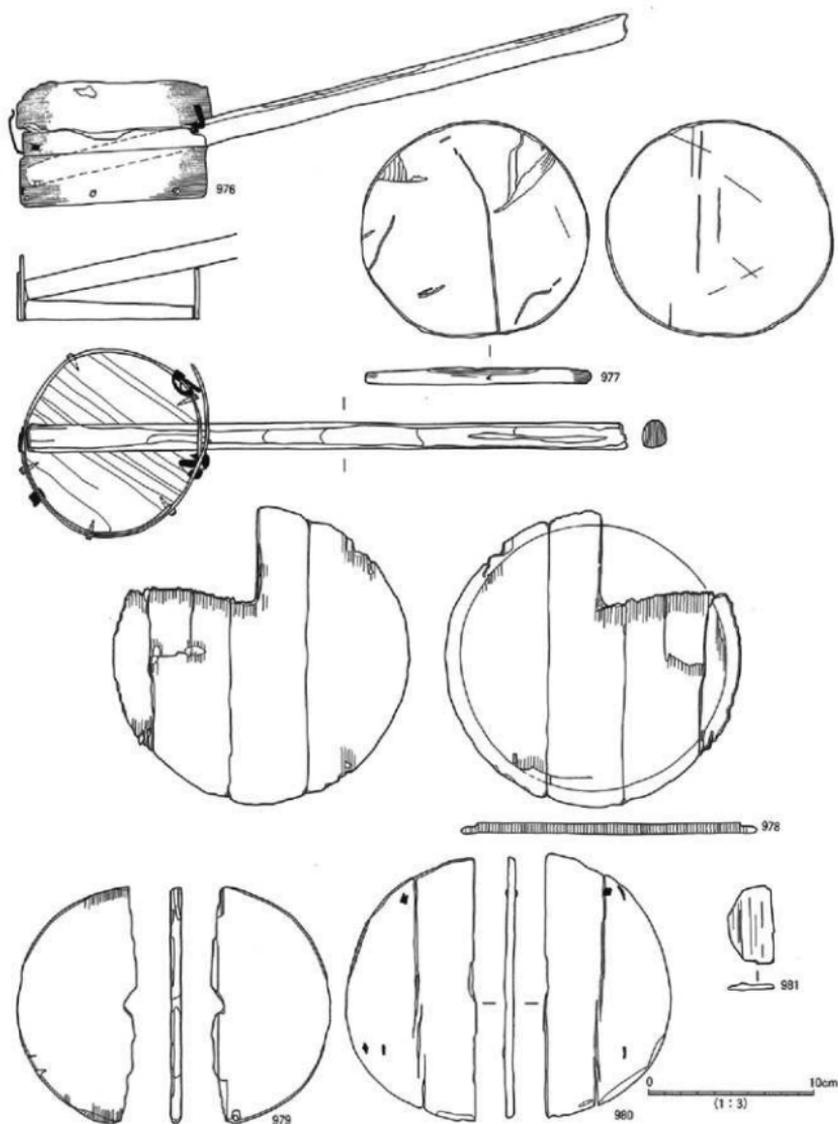
第70図 遺物実測図(58)木製品



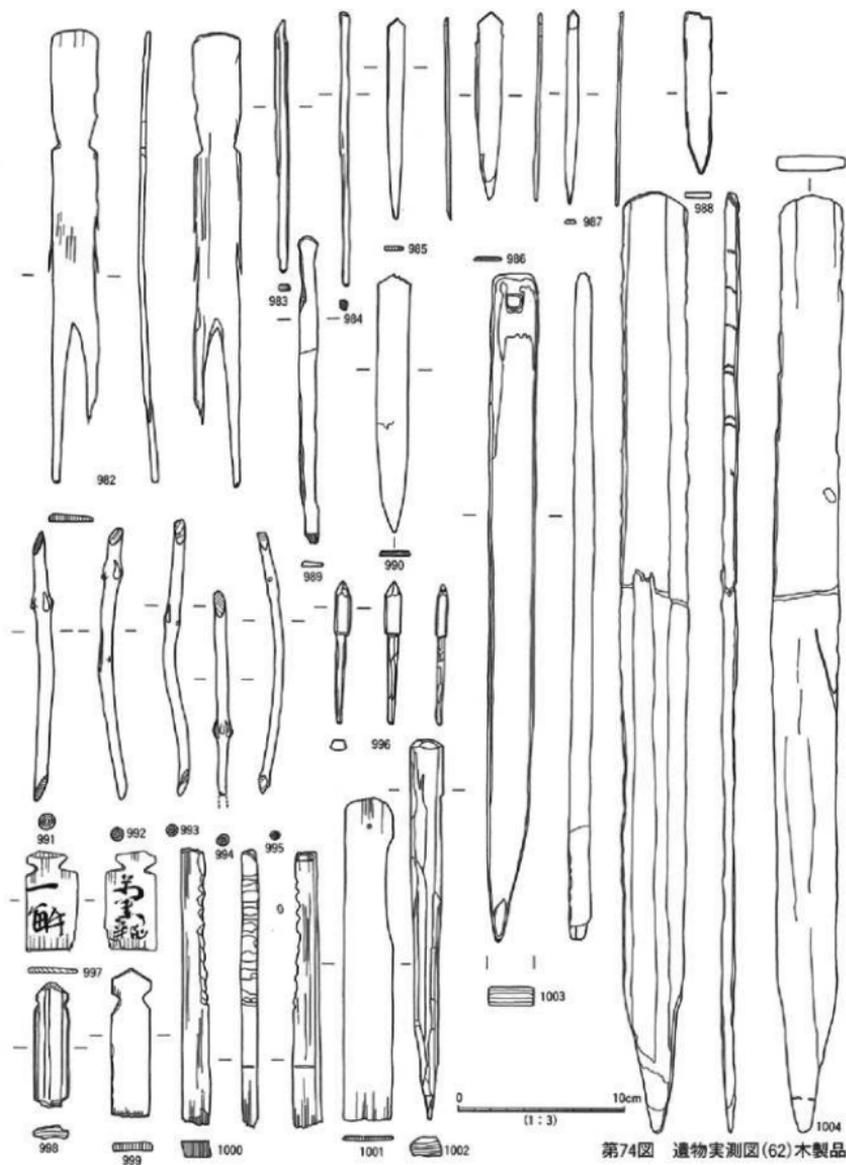
第71図 遺物実測図(59)木製品



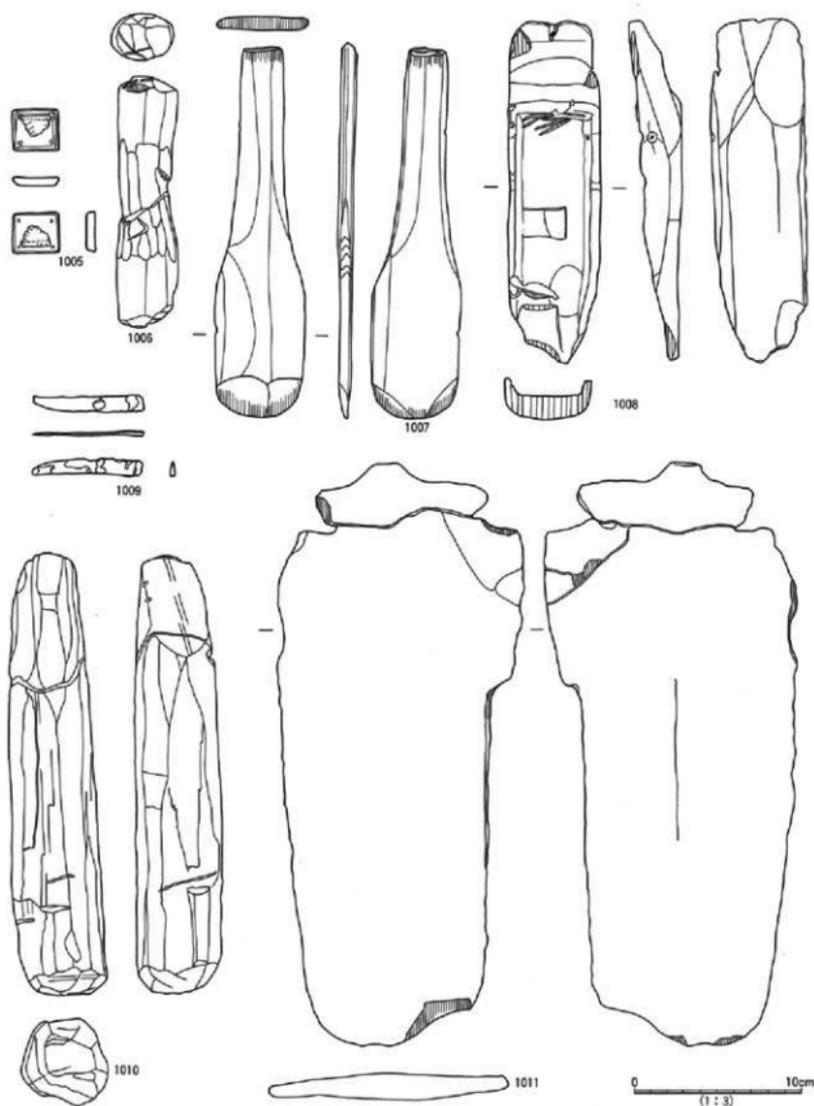
第72図 遺物実測図(60)木製品



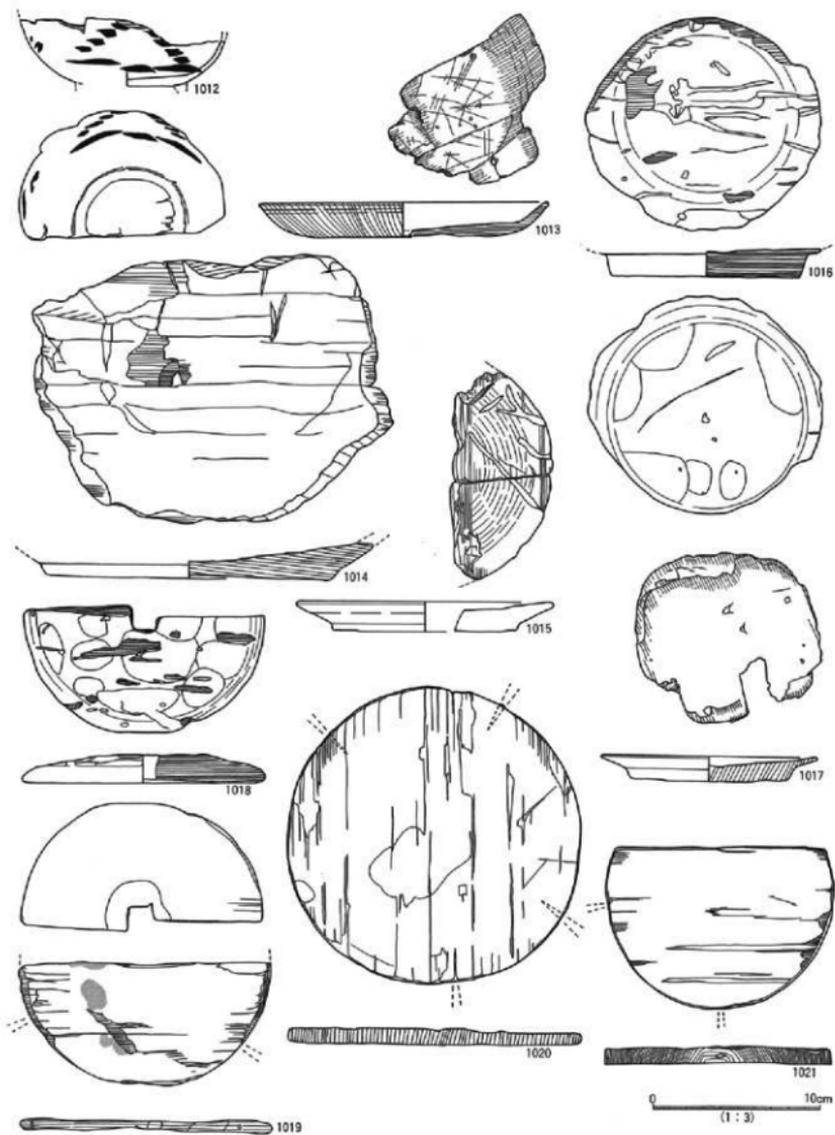
第73図 遺物実測図(61)木製品



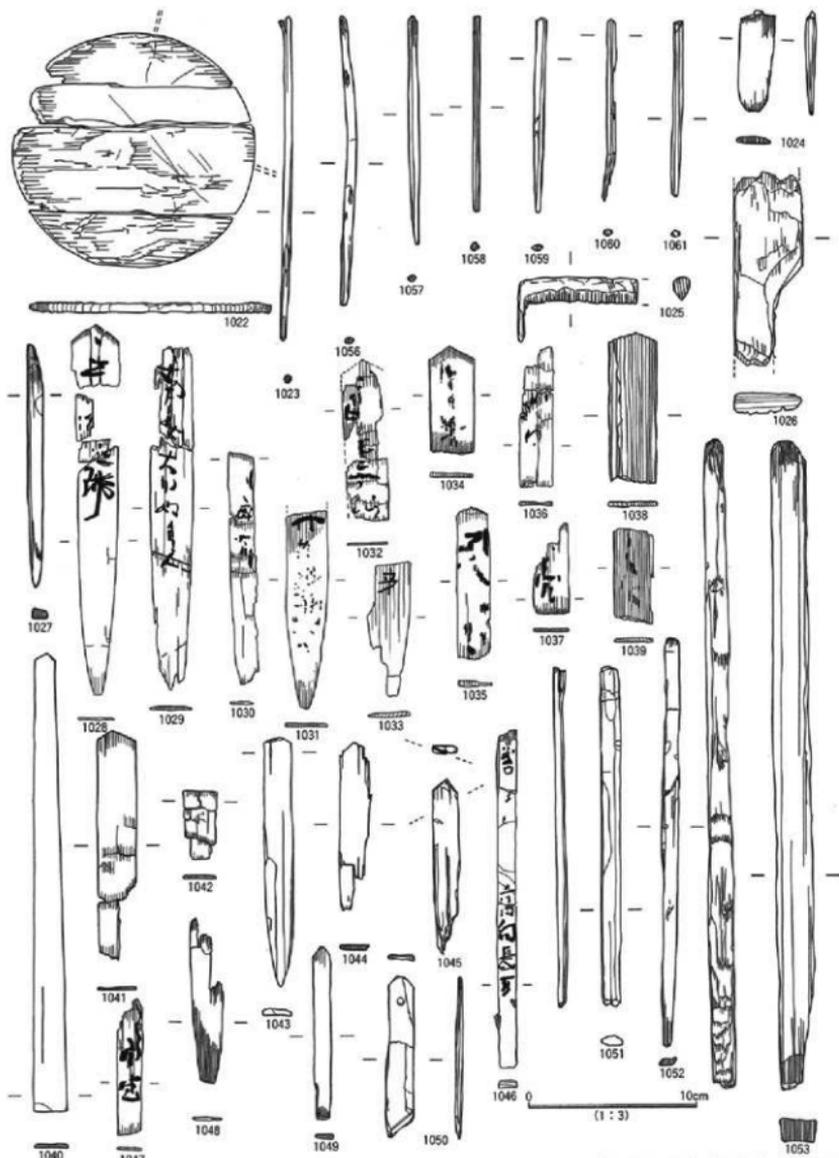
第74図 遺物実測図(62)木製品



第75図 遺物実測図(63)木製品



第76図 遺物実測図(64)木製品



第77図 遺物実測図(65)木製品

表-1 出土遺物観察表(1)

採集 番号	遺物 番号	種類	出土 地点	層位	計 測 値 (mm)				色 調	成 形 技 法			標・使用痕		品名・時期			備 考	
					口径	底径	高さ	胴厚		外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	内面		底部
										外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	内面		底部
13	1	須臾器	杯	SG 1	F 3	135.0	80.0	36.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削						
	2	須臾器	杯	SG 1	F 5	125.0	60.0	33.5	4.5	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削						
	3	須臾器	杯	SG 1	F 8	126.0	42.0	41.0	4.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	使用痕					
	4	須臾器	杯	SG 1	F 7	120.0	80.0	35.0	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					火だすき有	
	5	須臾器	杯	SG 1	F 9	131.0	76.0	40.0	5.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	磨 痕				口縁部欠損部類	
	6	須臾器	杯	SG 1	F 8	124.0	76.0	35.0	4.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削						
	7	須臾器	杯	SG 1	F 9	120.0	72.0	33.2	3.5	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」	
	8	須臾器	杯	SG 1	F 9	124.0	76.0	34.5	5.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」	
	9	須臾器	杯	SG 1	F 9	(126)	80.0	35.5	6.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	磨 痕				「杯」 灯明遣	
	10	須臾器	杯	SG 1	F 5	128.0	76.0	37.0	8.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					磨き不明	
	11	須臾器	杯	SG 1	F 8	122.0	73.0	35.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	使用痕	使用痕			「杯」	
	12	須臾器	杯	SG 1	F 8	170.0	90.0	36.0	8.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」	
	13	須臾器	杯	SG 1	F 7	146.0	84.0	37.0	4.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕	
	14	須臾器	杯	SG 1	F 9	132.0	62.0	40.0	5.5	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」	
	15	須臾器	杯	SG 1	F 7	126.0	78.0	42.0	5.0	ワタテ	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕	
	16	須臾器	杯	SG 1	F 9	116.0	78.0	33.0	6.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	磨 痕				灯明遣	
	17	須臾器	杯	SG 1	F 9	132.0	78.0	33.0	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」	
	18	須臾器	杯	SG 1	F 8	136.0	88.0	41.0	5.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」	
	19	須臾器	杯	SG 1	F 9	(130)	75.0	28.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	使用痕	使用痕				
	20	須臾器	杯	SG 1	F 8	(130)	65.0	34.0	4.5	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					磨き不明	
	21	須臾器	杯	SG 1	F 10	127.0	83.0	36.0	5.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「物取」	
	22	須臾器	杯	SG 1	F 9	124.0	76.0	34.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕	
	23	須臾器	杯	SG 1	F 9	136.0	80.0	36.5	5.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	磨 痕				「杯」	
	24	須臾器	杯	SG 1	F 9	(126)	74.0	47.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	磨 痕					
	25	須臾器	杯	SG 1	F 9	132.0	83.0	43.0	7.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「手取」	
26	須臾器	杯	SG 1	F 7	(124)	64.0	37.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	磨 痕				灯明遣		
27	須臾器	杯	SG 1	F 8	130.0	82.0	39.0	4.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕		
28	須臾器	杯	SG 1	F 7	(142)	60.0	40.0	4.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕		
29	須臾器	杯	SG 1	F 8	(142)	80.0	32.0	5.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」		
30	須臾器	杯	SG 1	F 8	130.0	69.5	38.0	4.5	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「磨」		
31	須臾器	杯	SG 1	F 9	146.0	66.0	37.0	5.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「口」 「縁部欠損部類」		
32	須臾器	杯	SG 1	F 9	(130)	91.0	34.0	5.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「乙」 「×」		
33	須臾器	杯	SG 1	F 8	122.0	60.0	34.0	3.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削	使用痕	使用痕			「杯」		
34	須臾器	杯	SG 1	F 9	130.0	70.0	38.0	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕		
35	須臾器	杯	SG 1	F 7	121.0	70.0	31.0	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					「杯」		
36	須臾器	杯	SG 1	F 9	(130)	(58)	38.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削					使用痕		
37	須臾器	杯	SG 1	F 5	120.0	54.0	47.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
38	須臾器	杯	SG 1	F 8	(116)	44.0	51.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
39	須臾器	杯	SG 1	F 5	(130)	(56)	43.0	4.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
40	須臾器	杯	SG 1	F 5	138.0	32.0	44.0	4.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
41	須臾器	杯	SG 1	F 9	(130)	(50)	43.0	5.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					使用痕		
42	須臾器	杯	SG 1	F 8	(128)	(59)	42.0	5.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
43	須臾器	杯	SG 1	F 5	(103)	56.0	48.0	4.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
44	須臾器	杯	SG 1	F 9	(125)	(58)	40.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					使用痕		
45	須臾器	杯	SG 1	F 5	126.0	55.0	34.0	5.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
46	須臾器	杯	SG 1	F 5	130.0	55.0	36.0	5.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
47	須臾器	杯	SG 1	F 10	136.0	104.0	40.0	6.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
48	須臾器	杯	SG 1	F 7	136.0	54.0	41.0	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
49	須臾器	杯	SG 1	F 7	126.0	55.0	35.0	4.5	黄白色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
50	須臾器	杯	SG 1	F 5	(128)	52.0	40.0	6.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
51	須臾器	杯	SG 1	F 5	(119)	48.0	38.0	6.0	黄白色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
52	須臾器	杯	SG 1	F 5	(128)	30.0	41.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
53	須臾器	杯	SG 1	F 9	(122)	47.0	38.0	5.0	黄白色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
54	須臾器	杯	SG 1	F 5	(126)	44.0	43.0	7.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切	磨 痕				「蓋」		
55	須臾器	杯	SG 1	F 10	(126)	40.0	46.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
56	須臾器	杯	SG 1	F 8	(128)	42.0	41.0	4.5	灰褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
57	須臾器	杯	SG 1	F 8	129.0	43.0	44.0	5.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切	使用痕	使用痕			「蓋」		
58	須臾器	杯	SG 1	F 5	(137)	58.0	42.0	5.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
59	須臾器	杯	SG 1	F 8	124.0	51.0	35.0	5.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切	使用痕				「蓋」		
60	須臾器	杯	SG 1	F 9	138.0	57.0	42.0	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
61	須臾器	杯	SG 1	F 7	126.0	52.0	40.0	6.0	白灰色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
62	須臾器	杯	SG 1	F 5	(140)	(60)	6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削						「蓋」		
63	須臾器	杯	SG 1	F 5	(130)	(54)	34.0	4.5	黄褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					「蓋」		
64	須臾器	杯	SG 1	F 9	132.0	60.0	36.0	4.5	灰褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切					使用痕		
65	須臾器	杯	SG 1	F 8	131.0	(29)	4.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	鉋削未切						「蓋」		
66	須臾器	杯	SG 1	F 10	142.0		4.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ワタテ						「蓋」		
67	須臾器	杯	SG 1	F 8	128.0	(33)	4.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ワタテ						「蓋」		
68	須臾器	杯	SG 1	F 7			4.0	黄い褐色	ワタテ	ワタテ	ワタテ						「蓋」		
69	須臾器	杯	SG 1	F 8			6.0	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ワタテ						「蓋」		
70	須臾器	杯	SG 1	F 8			3.5	黄褐色	ワタテ	ワタテ	ワタテ						「蓋」		
71	須臾器	杯	SG 1	F 8			4.0	灰褐色	ワタテ	ワタテ	ワタテ						「蓋」		
72	須臾器	杯	SG 1	F 9			6.0	内灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削						「蓋」		
73	須臾器	杯	SG 1	F 10			5.5	白灰色	ワタテ	ワタテ	ヘラ削						「蓋」		

表-2 出土遺物観察表(2)

調査年度	遺物番号	種別	器種	出土地点	層位	計測値(mm)			色調	成形技法			部・使用痕		磨削・磨削		備考	
						口径	底径	器高		外周	内周	底部	外周	内周	底部	外周		内径
18	74	煎釜	杯	SG-1	F-8			6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			磨削不明	
	75	煎釜	杯	SG-1	F-9			5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			[削+]	
	76	煎釜	杯	SG-1	F-10			7.0	白色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削+]	
	77	煎釜	杯	SG-1	F-10			7.0	褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削+]	
	78	煎釜	杯	SG-1	F-10			5.5	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削+]	
	79	煎釜	杯	SG-1	F-8			6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					磨削不明	
	80	煎釜	杯	SG-1	F-9			7.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形		使用痕			[削+]	
	81	煎釜	杯	SG-1	F-5			6.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]	
	82	煎釜	杯	SG-1	F-10			7.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]	
	83	煎釜	杯	SG-1	F-10			4.5	黄褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					磨削不明	
	84	煎釜	杯	SG-1	F-5			6.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			磨削不明	
	85	煎釜	杯	SG-1	F-9			4.5	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削+]	
	86	煎釜	杯	SG-1	F-9			5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					磨削	
	87	煎釜	杯	SG-1	X-0			8.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]	
	88	煎釜	杯	SG-1	F-9			5.0	白色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					磨削不明	
	89	煎釜	杯	SG-1	F-9			4.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					確認	
	90	煎釜	杯	SG-1	F-9			5.5	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			磨削不明	
	91	煎釜	杯	SG-1	F-9			4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					磨削不明	
	92	煎釜	杯	SG-1	F-9			5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]	
	93	煎釜	杯	SG-1	F-5	(121)	55.0	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形				磨削不明	正訳	
	94	煎釜	杯	SG-1	F-8		88.0	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					磨削不明	
	95	煎釜	杯	SG-1	F-4		55.0	(24)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形				[黄+]	
	96	煎釜	杯	SG-1	F-10		(77)	4.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			磨削不明	
	97	煎釜	杯	SG-1	F-9		72.0	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[毛]	
	98	煎釜	杯	SG-1	F-9		88.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		使用痕			[削+]	
	99	煎釜	杯	SG-1	F-9		56.0	5.0	灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形					[削]	
	100	煎釜	杯	SG-1	F-9		136.0	91.0	34.0	3.0	白灰色	ロクロ	ロクロ		使用痕		磨削不明	
	101	煎釜	杯	SG-1	F-9		74.0	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]	
	102	煎釜	杯	SG-1	F-8		(80)	4.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[毛]	
103	煎釜	杯	SG-1	F-5	(106)	56.0	26.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形				磨削不明		
104	煎釜	杯	SG-1	F-9		78.0	6.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[毛]		
105	煎釜	杯	SG-1	F-5	(96)	60.0	(17)	4.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形				磨削不明		
106	煎釜	高柄杯	T形	Ⅱ	(104)	(57)	42.0	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[削]		
107	煎釜	高柄杯	SG-1	F-10	(110)	(76)	45.0	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	調整ヘラ				[削]		
108	煎釜	高柄杯	SG-1	F-8	(118)	(72)	42.0	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		煙	煙	灯明籠		
109	煎釜	高柄杯	SG-1	F-7	126.0	(74)	43.0	4.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[削]		
110	煎釜	高柄杯	SG-1	F-8	123.0	80.0	41.5	4.5	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[削]		
111	煎釜	高柄杯	SG-1	F-3	(64)		4.0	灰色	ロクロ	ロクロ						[削]		
112	煎釜	高柄杯	SG-1	F-7	72.0	(20)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]		
113	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	85.0		5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]		
114	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	63.0		4.5	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					[削]		
115	煎釜	高柄杯	SG-1	F-10	77.0		5.0	白灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切					転用履		
116	煎釜	高柄杯	SG-1	F-8	(135)	83.0	77.0	4.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				磨削不明		
117	煎釜	高柄杯	SG-1	F-5	148.0	83.0	87.0	6.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[削]		
118	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	153.0	72.0	24.0	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転覆り		丸正(右多数直 外周全体に磨削)		
119	煎釜	高柄杯	SG-1	F-5	74.0	(31)	3.5	暗赤褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切		転覆り	転覆り	磨用履			
120	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	114.0	55.0	53.0	4.0	赤色	ロクロ	ロクロ	回転成形				[削]		
121	煎釜	高柄杯	SG-1	F-7	65.0		6.0	暗褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形		磨用履			[削]		
122	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	97.0	58.0	54.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[木]		
123	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	102.0	50.0	52.0	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				磨削不明		
124	煎釜	高柄杯	SG-1	F-9	58.0		4.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形		転用履			磨削不明		
125	煎釜	高柄杯	SG-1	F-4	(122)	76.0	(43)	5.0	黄白色	ロクロ	ロクロ	回転成形				高台の取り付けが腐		
126	煎釜	小釜	SG-1	F-10	(78)		(48)	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ					[削]		
127	煎釜	高柄杯	SG-1	F-8	59.0		6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形		転用履			2次使用有		
128	煎釜	釜	SG-1	F-5	(146)		38.0	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ					[削]		
129	煎釜	釜	SG-1	F-9	(127)		23.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ					[削]		
130	煎釜	釜	SG-1	F-5	(121)		34.0	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ					[削]		
131	煎釜	釜	SG-1	F-9	(120)		(25)	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ					[削]		
132	煎釜	釜	SG-1	F-8	153.0		36.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ					[削]		
133	煎釜	釜	SG-1	F-5	155.0			9.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[削]		
134	煎釜	釜	SG-1	F-9	(152)			7.0	暗褐色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				[削]		
135	煎釜	釜	SG-1	F-8	155.0		37.5	8.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ					高台あり		
136	煎釜	釜	SG-1	F-10	(152)		(27)	7.0	灰色	ロクロ	ロクロ					転用履		
137	煎釜	釜	SG-1	F-10		(25)	8.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ						転覆り		
138	煎釜	釜	SG-1	F-8	(135)		(28)	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ	ヘラ切				転覆り		
139	煎釜	釜	SG-1	F-10	(110)		(17)	5.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ					[削]		
140	煎釜	釜	SG-1	F-8	(138)		38.0	6.0	灰色	ロクロ	ロクロ					転覆り		
141	煎釜	釜	SG-1	F-5	(148)		40.0	4.5	灰色	ロクロ	ロクロ					転覆り		
142	煎釜	釜	SG-1	F-9	(148)			4.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ					[削]		
143	煎釜	釜	SG-1	F-8		110.0	(67)	16.0	黒褐色	調整・調整	調整・調整	ヘラ切		煙	転覆り	高台あり		
144	煎釜	釜	SG-1	F-4		141.0		9.0	灰色	調整	調整	調整		調整		高台に磨削有		
145	煎釜	釜	SG-1	F-7	(77)		(73)	8.0	白灰色	ロクロ	ロクロ					[削]		
146	煎釜	釜	SG-1	F-4	(103)		(33)	4.0	灰色	ロクロ	ロクロ					転覆り		

表-3 出土遺物観察表(3)

群	遺物 番号	種類	図録	出土 地点	層位	計測値(mm)			色調	成形技法			保・使用痕			遺存・状態	備考					
						口径	径	高さ		外面	内面	底部	外面	内面	底部							
19	147	磁器鉢	SG1 F 4	(200)				14.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ											
	148	磁器鉢	SG1 F 5	(200)				12.0	灰褐色	ロクロ	ロクロ											
	149	磁器鉢	SG1 F 9	(210)				11.0	灰色	ハナテ	フナ・ハナテ											
	150	磁器鉢	SG1 F 9	(220)				11.0	黄灰色	ロクロ	ロクロ											
	151	磁器鉢	SG1 F 10	(26)				10.0	灰色	ロクロ	ロクロ											
	152	磁器鉢	SG1 F 8					11.0	灰色	フナキ	フナ											
	153	磁器鉢	SG1 F 5					12.0	灰色	フナキ	フナ											
	154	磁器鉢	SG1 F 8	224.0			418.0		11.0	灰色	フナキ	フナ		板裏り	武蔵り		外面に板面有り					
	155	磁器鉢	SG1 F 7					7.0	暗褐色	フナキ	フナ			板裏り	使用痕							
	156	磁器鉢	SG1 F 5					12.0	灰色	フナキ	フナ											
20	157	磁器鉢	SG1 F 3	(13)				18.5	緑褐色	フナキ	フナ				自然蝕							
	158	磁器土器	年	SG1 F 8	(228.0)	50.0	50.0	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	使用痕	外面の縁が厚く滑らか					
	159	磁器土器	年	SG1 F 9	124.0	51.0	50.0	6.5	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐	石筆痕					
	160	磁器土器	年	SG1 F 9	140.0	50.0	40.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			底部周辺に剥離					
	161	磁器土器	年	SG1 F 7	120.0	57.0	40.0	4.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	162	磁器土器	年	SG1 F 9	119.0	54.0	47.0	4.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐	口縁部欠け成り等					
	163	磁器土器	年	SG1 F 9	107.0	54.0	45.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			全面に黄鉄					
	164	磁器土器	年	SG1 F 9	(114)	56.0	54.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	使用痕	全面に黄鉄					
	165	磁器土器	年	SG1 F 7	(182)	83.0	80.0	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐	打明眼					
	166	磁器土器	年	SG1 F 8	120.0	53.0	50.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕							
21	167	磁器土器	年	SG1 F 9	(127)	56.0	50.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			[毛]					
	168	磁器土器	年	SG1 F 4	(128)	55.0	50.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐						
	169	磁器土器	年	SG1 F 7	128.0	50.0	49.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			ヘラ切	腐	使用痕	口縁部に黄鉄層有り					
	170	磁器土器	年	SG1 F 7	(158)	65.0	65.0	7.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	171	磁器土器	年	SG1 F 8	(130)	56.0	48.0	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			[輪+]	逆位				
	172	磁器土器	年	SG1 F 8	146.0	64.0	55.5	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕		遺書不明	正位				
	173	磁器土器	年	SG1 F 8	(126)	68.0	48.0	4.5	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			遺書不明	[輪+]	逆位			
	174	磁器土器	年	SG1 F 8	(124)	55.0	49.0	6.5	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕	使用痕	[輪+]	逆位				
	175	磁器土器	年	SG1 F 7	(120)	54.0	47.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	176	磁器土器	年	SG1 F 8	(145)	52.0	54.5	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			遺書不明	正位				
22	177	磁器土器	年	SG1 F 9	147.0	50.0	52.0	4.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕		[三]	正位				
	178	磁器土器	年	SG1 F 7	128.0	50.0	50.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	179	磁器土器	年	SG1 F 9	120.0	46.0	46.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐			打明眼			
	180	磁器土器	年	SG1 F 9	126.0	50.0	44.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			遺書不明					
	181	磁器土器	年	SG1 F 9	120.0	51.0	47.0	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕		[腐]					
	182	磁器土器	年	SG1 F 9	(158)	50.0	6.0	白灰色	ロクロ	ロクロ				回転成形								
	183	磁器土器	年	SG1 F 5	(126)	53.0	48.0	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐			口縁部に黄鉄層有り			
	184	磁器土器	年	SG1 F 4	123.0	52.0	47.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	185	磁器土器	年	SG1 F 5	122.0	50.0	50.0	5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	186	磁器土器	年	SG1 F 8	142.0	49.0	51.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
23	187	磁器土器	年	SG1 F 8	132.0	63.0	51.0	7.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕							
	188	磁器土器	年	SG1 F 8	130.0	56.0	52.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	189	磁器土器	年	SG1 F 3	145.0	62.0	47.5	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐							
	190	磁器土器	年	SG1 F 9	128.0	46.0	49.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐			打明眼			
	191	磁器土器	年	SG1 F 7	148.0	58.0	43.5	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐			外側に剥離に腐			
	192	磁器土器	年	SG1 F 7	(182)	60.0	37.5	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐			逆大、打明眼			
	193	磁器土器	年	SG1 F 9	128.0	48.0	48.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	194	磁器土器	年	SG1 F 8	131.0	49.0	48.0	6.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐			打明眼、蓋			
	195	磁器土器	年	SG1 F 8	130.0	54.0	46.0	7.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	使用痕							
	196	磁器土器	年	SG1 F 8	134.0	48.0	44.5	4.5	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
24	197	磁器土器	年	SG1 F 8	137.5	50.0	47.5	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	198	磁器土器	年	SG1 F 10	121.0	57.0	49.0	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			[二]	逆位		打明眼、蓋		
	199	磁器土器	年	SG1 F 8	129.0	51.5	47.5	8.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐		[毛]	打明眼、蓋		蓋大		
	200	磁器土器	年	SG1 F 8	129.0	48.0	43.5	4.5	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	201	磁器土器	年	SG1 F 8	125.0	51.0	46.0	6.5	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			使用痕	[毛]	逆位			
	202	磁器土器	年	SG1 F 9	116.0	47.0	48.0	5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形					[×毛]	口の方向に		
	203	磁器土器	年	SG1 F 9	105.0	58.0	49.0	6.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ			ヘラ切			[黄]		外面に剥離有り		打明眼	
	204	磁器土器	年	SG1 F 9	122.0	51.0	38.5	7.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形	腐	腐						
	205	磁器土器	年	SG1 F 9	121.0	52.0	37.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形								
	206	磁器土器	年	SG1 F 8	(110)	53.0	40.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			遺書不明					
25	207	磁器土器	年	SG1 F 5	(56)	(8)			黄褐色	ロクロ	ロクロ			回転成形			遺書不明					
	208	磁器土器	年	SG1 F 7	55.0	6.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ					回転成形	腐	腐						
	209	磁器土器	蓋	SG1 F 9	(120)	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ													
	210	磁器土器	蓋	SG1 F 8	69.0	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ													
	211	磁器土器	蓋	SG1 F 9	(128)	76.0	(29)	5.0	褐色	ロクロ	1.5寸				回転成形	腐	腐				体内に、打明眼	
	212	磁器土器	年	SG1 F 9		5.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ						回転成形	使用痕	遺書不明	正位				
	213	磁器土器	年	SG1 F 5		5.0	褐色	ロクロ	ロクロ						ヘラ切							
	214	磁器土器	蓋	SG1 F 3	(214)	(67)	9.0	褐色	ロクロ	ロクロ					ロクロ					[毛]		
	215	磁器土器	蓋	SG1 F 7	49.0	44.0	25.0		褐色	ロクロ	ロクロ											
	216	磁器土器	年	SG1 F 9		6.0	褐色	ロクロ	ロクロ								使用痕	遺書不明	正位			
217	磁器土器	年	SG1 F 7		7.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ						ヘラ切		蓋					打明眼	
218	磁器土器	蓋	SG1 F 5	(212)	(97)	9.0	黄褐色	ロクロ	ロクロ							使用痕						
219	磁器土器	蓋	SG1 F 8	(209)	(65)	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ							使用痕					好着物	

出土遺物

表-4 出土遺物観察表(4)

発掘調査 番号	遺物 種別	品名	出土 地点	層位	計測 単位(mm)			色調	成形技法			保・使用痕			墨書・刻削			備考	
					口径	径	高さ		外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き	底面		
24	220	赤絵土器	甕	SG 1 F 9	(179)			9.0	褐色	叩打研	叩打研		輪郭線	線					
	221	赤絵土器	甕	SG 1 F 7	(139)	76.0	135.0	5.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵	叩打研	線				右側面に 打明線	
	222	赤絵土器	甕	SG 1 F 5	(116)	161	131.0	7.0	褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵	叩打研	線				右側面に 打明線	
	223	赤絵土器	甕	SG 1 F 7	(192)			(67)	9.0	褐色	叩打研	叩打研						右側面に 打明線	
	224	赤絵土器	甕	SG 1 F 9	(181)			(65)	5.0	褐色	叩打研	叩打研							
	225	赤絵土器	甕	SG 1 F 5	(220)			(98)	8.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研							
	226	赤絵土器	甕	SG 1 F 8	(218)			108.0	7.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研							
	227	赤絵土器	甕	SG 1 F 5	(248)				7.0	黄褐色	叩打研	叩打研							
	228	赤絵土器	甕	SG 1 F 8				78.0	19.0	8.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研					外側下縁にケズリ有	
	229	赤絵土器	甕	SG 1 F 5				92.0		11.0	褐色	ケズリ	ハケメ						
	230	赤絵土器	甕	SG 1 F 9	152.0			(127)	7.5	褐色	叩打研	叩打研						右側面に打矢状打明線	
	231	赤絵土器	甕	SG 1 F 5	(384)			(42)	6.0	褐色	叩打研	叩打研							
	232	赤絵土器	甕	SG 1 F 5	(298)			(196)	5.0	灰白色	叩打研	叩打研							
	233	赤絵土器	甕	SG 1 F 7				(87)		10.0	鈍い褐色							底面に印状打	
	234	赤絵土器	甕	SG 1 F 5						10.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研						
	235	赤絵土器	甕	SG 1 F 8						10.0	褐色	叩打研	叩打研						
	236	赤絵土器	甕	SG 1 F 3						9.0	赤褐色	叩打研	ハケメ						
	237	赤絵土器	甕	SG 1 F 5						10.0	灰褐色	叩打研	叩打研					右側面に打矢状打明線	
	238	赤絵土器	つぼみ	SG 1 F 5						17.0	褐色	ケズリ							
	25	239	黒色土器	杯	SG 1 F 7	96.0	52.0	48.0	4.0	褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内・内面、打明線 内風、土着を不明瞭
		240	黒色土器	杯	SG 1 F 8	121.0	56.0	49.5	6.0	褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						内・内面、帯有 内風、土着を不明瞭
		241	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 3	(134)	62.0	34.0	3.5	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内・内面、帯有 内風、土着を不明瞭
242		黒色土器	杯	SG 1 F 3	114.0	50.0	32.0	6.0	黄褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						内風	
243		黒色土器	杯	SG 1 F 7	(127)	(54)	54.0	5.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						内風	
244		黒色土器	杯	SG 1 F 8	128.0	54.0	52.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						土着を不明瞭 内風	
245		黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 5	141.0	63.0	66.0	7.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						内風	
246		黒色土器	杯	SG 1 F 8	163.0	57.0	69.0	7.0	褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						内風、内面 内風、土着を不明瞭	
247		黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 6	(31)	60.0	52.0	5.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内風	
248		黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 8	(132)	(41)	(5)	5.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内風	
26	249	黒色土器	杯	SG 1 F 3	(178)			(45)	6.0	鈍い褐色	叩打研	1才を						内面	
	250	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 5	117.0	50.0	46.0	4.0	黒色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内面	
	251	黒色土器	杯	SG 1 F 5	157.0	(38)	64.0	5.0	黄褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						「中」 内風、土着を不明瞭	
	252	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 9	165.0	70.0	68.0	7.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内風、土着を不明瞭	
	253	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 5	158.0	(58)	(69)	6.0	褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内風	
	254	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 9	(100)	77.0	39.0	6.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内風、底縁に土着を 不明瞭	
	255	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 9		(81)		7.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						「×」 内風、土着を不明瞭	
	256	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 9	(153)	72.0	68.0	6.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	1才を 新転赤絵						内風	
	257	黒色土器	盃形埴輪	SG 1 F 9	161.0	76.0	40.0	4.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	新転赤絵						内風、底縁に土着を 不明瞭	
	258	灰岩製	杯	SG 2 F 7	(124)	86.0	38.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						内・内面に大穴に土着	
27	259	灰岩製	杯	SG 2 F 7	133.0	44.0	34.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	260	黒色土器	杯	SG 1 F 8				5.5	褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	261	灰岩製	杯	SG 2 F 8	122.0	69.0	39.0	3.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	262	灰岩製	杯	SG 2 F 7	(124)	82.0	34.0	5.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	263	灰岩製	杯	SG 2 F 8	(131)	30.0	37.0	4.5	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	264	灰岩製	杯	SG 2 F 9	(128.0)	71.0	33.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	265	灰岩製	杯	SG 2 F 6	(129)	172.0	30.0	5.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	266	灰岩製	杯	SG 2 F 7	134.0	62.0	33.0	5.0	白灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	267	灰岩製	杯	SG 2 F 5	(129)	(87)	37.0	4.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	268	灰岩製	杯	SG 2 F 5	(119)	(65)	34.0	5.5	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
28	269	灰岩製	杯	SG 2 F 8	(127)	(65)	32.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	270	灰岩製	杯	SG 2 F 4	(123)	71.0	33.0	5.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	271	灰岩製	杯	SG 2 F 5	(128)	61.0	3.0	5.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	272	灰岩製	杯	SG 2 F 5	(143)	35.0	32.0	5.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	273	灰岩製	杯	SG 2 F 9	123.0	76.0	33.0	4.0	黄褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	274	灰岩製	杯	SG 2 F 8	136.0	54.0	38.5	3.5	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	275	灰岩製	杯	F10	132.0	60.0	35.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	276	灰岩製	杯	SG 2 F 8	(145)	63.0	36.0	5.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	277	灰岩製	杯	SG 2 F 9	132.0	72.0	39.0	5.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	278	灰岩製	杯	SG 2 F 9	(124.0)	62.0	36.5	4.5	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
29	279	灰岩製	杯	SG 2 F 9	(131)	(73)	37.0	3.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	280	灰岩製	杯	SG 2 F 9	134.5	65.0	34.0	3.5	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	281	灰岩製	杯	SG 1 F 8	128.0	60.0	38.0	4.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	282	灰岩製	杯	SG 2 F 9	134.0	79.0	39.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	283	灰岩製	杯	SG 2 F 6	(136)	60.0	40.0	5.5	黄褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	284	灰岩製	杯	SG 2 F 6	(133)	93.0	33.0	5.0	黄褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	285	灰岩製	杯	SG 2 F 8	(127)	65.0	34.0	4.0	黒褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	286	灰岩製	杯	SG 2 F 5	(139)	(78)	34.0	4.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	287	灰岩製	杯	SG 2 F 5	(138)	84	32.0	4.0	白灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	288	灰岩製	杯	SG 2 F 4	129.0	70.0	37.0	4.0	黄褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
30	289	灰岩製	杯	SG 2 F 7	144.0	60.0	38.0	6.0	鈍い褐色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	290	灰岩製	杯	SG 2 F 6	(136)	81.0	39.0	5.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	291	灰岩製	杯	SG 2 F 5	134.0	60.0	36.0	5.0	灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	
	292	灰岩製	杯	SG 2 F10	(136)	(66)	38.0	4.0	内灰色	叩打研	叩打研	ハケ研						使用痕	

表-5 出土遺物觀察表(5)

採集 種別	遺物 番号	類別	標榜	出土 地層	層位	計 画 箇 数 (mm)				色 調	成 形 注 法			傷、使用痕			磨蝕・線刻			備 考		
						口 徑	底 徑	高 度	厚 度		外 面	内 面	底 部	外 側	内 側	底 部	外 側	内 側	底 部			
																					外 側	内 側
27	293	硬底器	片	SG 2	F 9	(135)	(80)	37.0	4.0	黒褐色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									線刻
	294	硬底器	片	SG 2	F 7	(127)	59.0	42.0	3.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			使用痕						
	295	硬底器	片	SG 2	F 9	131.0	62.0	36.5	3.5	褐色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			傷						表面に黒色の付着物あり
	296	硬底器	片	SG 2	F 7	(125.0)	56.0	34.0	4.0	灰白色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									【片】中
	297	硬底器	片	SG 2	F 7	(140)	75.0	35.0	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			傷						磨蝕不明
	298	硬底器	片	SG 2	F 6	(140)	(80)	34.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									磨蝕不明
	299	硬底器	片	SG 2	F 9	128.0	62.0	40.0	4.5	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									磨蝕不明
	300	硬底器	片	SG 2	F 9	(143.0)	65.0	36.0	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			使用痕						磨蝕不明
	301	硬底器	片	SG 2	F 6	136.0	77.0	37.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			傷						【底】 口縁部に付着物あり・磨蝕
	302	硬底器	片	SG 2	F 9	134.0	(72.0)	35.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			傷						【片】 線刻
	303	硬底器	片	SG 2	F 6	137.0	67.0	36.0	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			使用痕						【底】 磨蝕不明
	304	硬底器	片	SG 2	F 4	(115)	(50)	50.0	6.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						磨蝕不明
305	硬底器	片	SG 2	F 5	(129)	(60)	42.0	5.5	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						磨蝕不明	
306	硬底器	片	SG 2	F 5	136.0	63.0	42.0	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
307	硬底器	片	SG 2	F 5	146.0	62.0	41.5	4.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
308	硬底器	片	SG 2	F 9	129.0	59.0	36.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【自然】	
309	硬底器	片	SG 2	F 6	131.0	47.0	39.0	4.5	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									磨蝕不明	
310	硬底器	片	SG 2	F 7	122.0	55.0	49.0	6.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						【底】 打明	
311	硬底器	片	SG 1	F 10	130.0	55.0	47.0	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【底】 打明	
312	硬底器	片	SG 2	F 5	(136)	68.0	37.0	5.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕						【底】	
313	硬底器	片	SG 2	F 10	148.5	62.0	42.5	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【底】	
314	硬底器	片	SG 2	F 9	126.0	48.0	47.0	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕						使用痕	
315	硬底器	片	SG 2	F 9	129.0	47.5	43.0	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕						使用痕	
316	硬底器	片	SG 2	F 7	(120)	(50)	41.5	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
317	硬底器	片	SG 2	F 4	(124)	52.0	34.0	4.0	黒褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
318	硬底器	片	SG 2	F 5	(121)	56.0	44.0	5.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
319	硬底器	片	SG 2	F 9	128.0	55.0	42.0	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
320	硬底器	片	SG 2	F 6	(133.0)	63.0	35.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕						【底】 磨蝕	
321	硬底器	片	SG 2	F 6	(130)	54.0	41.0	4.0	黒褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
322	硬底器	片	SG 2	F 10	(127.5)	(46.0)	43.0	6.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									磨蝕不明	
323	硬底器	片	SG 2	F 8	(131)	54.0	33.0	4.0	黒褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削			磨蝕痕							
324	硬底器	片	SG 2	F 9	(130)	53.0	41.5	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕							
325	硬底器	片	SG 2	F 7	129.0	55.0	41.0	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕							
326	硬底器	片	SG 2	F 6	(149.0)	(55.0)	41.0	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			転用痕						【底】 線刻	
327	硬底器	片	SG 2	F 5	(133.0)	54.0	44.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【底】	
328	硬底器	片	SG 2	F 5	(134)	54.0	41.0	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									磨蝕不明	
329	硬底器	片	SG 2	F 3	(118)	52.0	30.0	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷							
330	硬底器	片	SG 2	F 5	(137)	58.0	37.0	4.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
331	硬底器	片	SG 2	F 6	139.0	58.0	48.0	4.5	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						打明	
332	硬底器	片	SG 2	F 9	(135)	46.0	49.0	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削										
333	硬底器	片	SG 2	F 9	(134.0)				4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						
334	硬底器	片	SG 2	F 6	126.0	52.0	4.4	4.0	黒褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						【底】 線刻	
335	硬底器	片	SG 1	F 4	60.0				7.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切								【底】	
336	硬底器	片	SG 2	F 6	(118)	(82)	(22)	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									【底】	
337	硬底器	片	SG 2	F 6					5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切								磨蝕不明	
338	硬底器	片	SG 2	F 5	(114)	(96)	(19)	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			使用痕						【底】	
339	硬底器	片	SG 2	F 4					7.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削								磨蝕不明	
340	硬底器	片	XO			(74.0)			3.5	白灰色	ワタロ	ヘラ切									【底】	
341	硬底器	片	SG 2	F 7		72.0	(24)	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			傷						口縁部に付着物あり	
342	硬底器	片	SG 2	F 4		80.0			5.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削								【底】	
343	硬底器	片	SG 2	F 7	(124)	72.0	(23)	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			使用痕						【底】 底縁に付着物あり	
344	土器土器	片	SG 2	F 8					4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切								【底】 磨蝕	
345	硬底器	片	SG 2	F 9	(102.0)	(86.0)	(11.0)	5.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									【底】	
346	硬底器	片	SG 2	F 6					6.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									磨蝕不明
347	硬底器	片	SG 2	F 7	(107.0)	(68.0)	(39.0)	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切										【底】
348	硬底器	片	SG 2	F 4	(92)	48.0	(14)	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【底】	
349	硬底器	片	SG 2	F 4	(115)	60.0	(25)	5.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【底】	
350	硬底器	片	SG 2	F 5	(94)	60.0	(15)	5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削									【底】	
351	硬底器	片	SG 2	F 7		(78.0)			5.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切								【底】	
352	硬底器	片	SG 2	F 5		(48)	(7)	6.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			転用痕						【底】	
353	硬底器	片	SG 2	F 5	(118)	(68)	(39)	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕						【底】	
354	硬底器	片	SG 2	F 5	(99)	(45)			4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削								【底】	
355	硬底器	片	SG 2	F 5	(90)	(52)	(18)	4.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						【底】	
356	硬底器	片	SG 2	F 5		52.0			3.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削								【底】 底縁磨蝕	
357	硬底器	片	SG 2	F 9	(112.0)	55.0	(21.0)	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	回転切削			傷						【底】	
358	硬底器	片	SG 2	F 6	(115)	48.0			5.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削								【底】	
359	硬底器	片	SG 2	F 5		(68)			4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切								【底】	
360	硬底器	黄砂片	SG 2	F 5	(164)	87.0	48.5	5.0	白褐色	ワタロ	ワタロ	回転切削			使用痕						【底】	
361	硬底器	黄砂片	SG 2	F 4	124.5	69.0	42.0	4.0	黄褐色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			使用痕						【底】	
362	硬底器	黄砂片	SG 2	F 5	126.0	69.0	46.0	4.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									【底】	
363	硬底器	黄砂片	SG 2	F 7	(126)	78.0	43.0	3.0	灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									【底】	
364	硬底器	黄砂片	SG 2	F 8	(127)	79.0	42.5	5.0	黒褐色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切									【底】	
365	硬底器	黄砂片	SG 2	F 10	(120)	(79)	44.0	4.0	白灰色	ワタロ	ワタロ	ヘラ切			転用痕						【底】	

表一六 出土遺物観察表(6)

遺物番号	種類	図録	出土地点	層位	計測値(mm)				色調	成形技法			傷・使用痕		器容・線刻		備考	
					口徑	底徑	高さ	器厚		外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面		底部
366	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 8	(118)	(74)	45.0	4.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削						
367	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 7	120.0	67.6	20.0	5.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削						
368	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 5	155.0	80.0	83.5	6.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削	傷	傷				
369	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 6	(145)	84.0	70.0	6.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					器容不明	
370	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 9	144.0	83.0	83.0	6.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					「三」	
371	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 5	(140)	(83)	80.0	5.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削	使用痕	使用痕			器容不明	
372	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 2	(112.0)	55.0	55.0	4.0	白灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					「四」	
373	瓶蓋部	高台付	XO	(108.0)	58.0	49.0	4.5	灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						器容不明	
374	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 6		(86)		10.0	黒灰色			ヘラ削					傷痕	
375	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 8	104.0	61.0	(57)	4.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					「五」	
376	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 7	(145)	65.0	70.0	4.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ							
377	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 10	122.0	(54)	(54)	3.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削						
378	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 9	122.0	67.0	54.0	4.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯					器容不明	
379	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 7		83.0	28.0	4.0	灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯					「電」	
380	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 9		(76)		4.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					打明蓋	
381	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 2	(113.0)	(58.0)	(22.0)	3.5	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					「十」	
382	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 6	(96)	59.0	(15)	5.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					器容不明	
383	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 5	(96)	48.0	46.0	4.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					「一割」	
384	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 4	(106)	(54)	51.0	4.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					内面に欠けすぎ	
385	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 9	126.0	56.0	35.0	5.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削						
386	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 9	136.0	59.0	32.0	5.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					「既」	
387	瓶蓋部	高台付	SG 2	F 9	126.0	65.0	26.0	5.0	灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯					「〇」	
388	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 4	152.0		24.0	5.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ							
389	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7	(149)		41.0	7.5	灰色	ロタロ	ロタロ							
390	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7				6.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
391	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 4	(151)		37.0	5.0	灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯					上面に回転痕あり	
392	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 8	(147.0)		(31)	5.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ							
393	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 8	(130)			3.5	灰色	ロタロ	ロタロ						「十」	
394	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 8	(160)		(23)	6.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
395	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7				5.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
396	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 10	(127)		(31)	5.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ							
397	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7		9.0		8.0	緑褐色	ロタロ	ロタロ	ロタロ					蓋子に凹みあり	
398	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 9	148.0		8.0	灰色	ロタロ	ロタロ	ロタロ	ヘラ削					外面に凹みあり	
399	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5	(90)	(170)	10.0	10.0	灰色	ロタロ	ロタロ	不明						
400	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 2	(90)		8.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ	不明						自然蝕	
401	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 4	98.0	(115)	7.0	7.0	灰色	ロタロ	ロタロ	不明						
402	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 4	(95)	(61)	9.0	9.0	灰色	ロタロ	ロタロ	不明						
403	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5			7.0	7.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
404	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7	(134)		11.0	赤褐色	フチ	フチ								
405	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 10			(187)	11.0	灰色	ロタロ	ロタロ	不明						
406	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5	(134)	(60)	13.0	13.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ							
407	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5			7.5	7.5	灰色	ロタロ	ロタロ							
408	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7	(64)			6.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ							
409	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 6			7.0	7.0	黒褐色	フチ	フチ							
410	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 6	(98)		7.0	7.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ							
411	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5	(92)		7.0	7.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
412	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 4	(139)	(45)	11.0	11.0	白灰色	ハケメ	ハケメ	ヘラ削						
413	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5			8.0	8.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ							
414	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 6			5.5	5.5	黒褐色	ロタロ	ロタロ							
415	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 9			7.0	7.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
416	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 3		(58)		8.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
417	瓶蓋部	小瓶	SG 2	F 8		53.0	(36)	5.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
418	瓶蓋部	小瓶	SG 2	F 5	(42)	(38)	(51)	7.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ							
419	瓶蓋部	小瓶	SG 2	F 7		55.0	32.0	4.0	黒灰色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
420	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 9	(201)			10.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ							
421	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 9	(53)			15.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
422	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5	(178)			10.0	灰色	ロタロ	ロタロ	フチ						
423	瓶蓋部	横蓋	SG 2	F 5	(136)			7.0	灰色	フチ	フチ	フチ						
424	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5	(132)		(38)	4.0	褐色	ロタロ	ロタロ							
425	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 9	(132)			4.5	褐色	ロタロ	ロタロ							
426	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 4			19.0	19.0	灰色	ロタロ	ロタロ							
427	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5			20.0	20.0	灰色	フチ	フチ	フチ						
428	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5	106.0		7.0	7.0	白灰色	ロタロ	ロタロ	フチ						
429	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 2			11.0	11.0	灰色	フチ	フチ							
430	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 7			9.0	9.0	黄灰色	フチ	フチ							
431	瓶蓋部	瓶	SG 2	F 5			15.0	15.0	灰色	フチ	フチ							
432	埴輪土器	杯	SG 2	F 7	117.0	55.0	57.0	6.0	緑褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
433	埴輪土器	杯	SG 2	F 5	(116)	(59)	58.0	6.0	褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
434	埴輪土器	杯	SG 2	F 6	119.0	55.0	52.0	4.0	緑褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
435	埴輪土器	杯	SG 2	F 9	125.5	61.0	58.0	4.5	緑褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
436	埴輪土器	杯	SG 2	F 8	129.0	50.0	51.0	4.0	緑褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
437	埴輪土器	杯	SG 2	F 7	126.0	48.0	48.0	4.5	緑褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						
438	埴輪土器	杯	SG 2	F 9	123.0	49.0	54.0	6.0	黒褐色	ロタロ	ロタロ	回転糸帯						

表-7 出土遺物觀察表(7)

標本番号	種別	部種	出土地点	層位	口径	肩径	底径	高さ	厚さ	色調	成形技法		使用痕			部傷・破損		備考	
											外面	内面	外面	内面	底部	外面	内面		底面
36	430	赤土器	坪	SG 2	F 8	121.9	50.0	53.5	8.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形						
	430	赤土器	坪	SG 2	F 8	152.9	45.0	52.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形			田	破綻	底面不明	
	441	赤土器	坪	SG 2	F 9	114.0	52.0	53.0	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形						
	442	赤土器	坪	SG 2	F 9	118.0	42.0	58.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	443	赤土器	坪	SG 2	F 10	[111]	48.0	50.0	6.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	444	赤土器	坪	SG 2	F 9	117.0	46.0	50.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	445	赤土器	坪	SG 2	F 9	152.0	78.0	71.0	7.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	446	赤土器	坪	SG 2	F 5	152.5	60.0	74.0	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	447	赤土器	坪	SG 2	F 5	127.0	50.0	49.0	3.5	赤褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	448	赤土器	坪	SG 2	F 6	143.0	16.0	63.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	449	赤土器	坪	SG 2	F 5	133.0	58.0	47.0	6.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	450	赤土器	坪	SG 2	F 5	127.7	50.0	50.0	4.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	451	赤土器	坪	SG 2	F 6	129.0	52.0	49.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	452	赤土器	坪	SG 2	F 7	135.0	50.0	47.0	6.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	453	赤土器	坪	SG 2	F 7	125.0	52.0	48.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	454	赤土器	坪	SG 2	F 7	133.5	58.0	59.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	455	赤土器	坪	SG 2	F 8	[132]	63.0	52.0	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	456	赤土器	坪	SG 2	F 7	141.0	51.0	58.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	457	赤土器	坪	SG 2	F 7	101.0	58.0	59.0	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	458	赤土器	坪	SG 2	F 7	136.0	50.0	58.0	3.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	459	赤土器	坪	SG 2	F 7	123.0	42.0	49.0	5.5	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	460	赤土器	坪	SG 2	F 7	130.0	52.0	49.0	3.5	赤褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	461	赤土器	坪	SG 2	F 8	150.0	52.0	69.5	7.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	462	赤土器	坪	SG 2	F 8	124.0	58.0	44.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	463	赤土器	坪	SG 2	F 8	133.0	50.0	49.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	464	赤土器	坪	SG 2	F 8	133.0	50.0	51.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	465	赤土器	坪	SG 2	F 9	[126]	50.0	54.0	4.5	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形			田	底面	底面不明	
	466	赤土器	坪	SG 2	F 8	130.0	57.0	49.0	6.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	467	赤土器	坪	SG 2	F 8	151.0	58.0	58.0	5.0	赤褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	468	赤土器	坪	SG 2	F 8	132.0	54.0	53.5	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	469	赤土器	坪	SG 2	F 9	161.0	73.0	73.0	6.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	470	赤土器	坪	SG 2	F 9	128.0	61.0	55.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	471	赤土器	坪	SG 2	F 9	136.0	61.0	55.5	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	472	赤土器	坪	SG 2	F 7	126.0	53.0	54.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	473	赤土器	坪	SG 2	F 4	129.0	52.0	51.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	474	赤土器	坪	SG 2	F 6	125.0	53.0	47.0	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	475	赤土器	坪	SG 2	F 7	[130]	63.0	50.0	5.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	476	赤土器	坪	SG 2	F 8	[130]	56.0	49.5	6.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	477	赤土器	坪	SG 2	F 9	131.0	63.5	56.0	4.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	478	赤土器	坪	SG 2	F 7	122.0	50.0	50.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	479	赤土器	坪	SG 2	F 5	125.0	48.0	46.0	3.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	480	赤土器	坪	SG 2	F 5	124.0	48.0	51.0	6.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	481	赤土器	坪	SG 2	F 7	123.0	50.0	48.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	482	赤土器	坪	SG 2	F 7	132.0	58.0	44.0	4.0	赤褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	483	赤土器	坪	SG 2	F 5	133.0	58.0	44.0	6.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	484	赤土器	坪	SG 2	F 8	128.0	64.0	48.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	485	赤土器	坪	SG 2	F 8	122.0	53.0	46.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	486	赤土器	坪	SG 2	F 8	121.0	48.0	43.0	4.0	赤褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	487	赤土器	坪	SG 2	F 8	130.0	58.0	49.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	488	赤土器	坪	SG 2	F 9	127.0	56.0	46.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	489	赤土器	坪	SG 2	F 7	133.0	52.0	52.5	8.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	490	赤土器	坪	SG 2	F 7	130.0	56.0	45.0	3.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	491	赤土器	坪	SG 2	F 7	150.0	53.0	65.0	4.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	492	赤土器	坪	SG 2	F 5	123.0	52.0	49.0	4.5	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	493	赤土器	坪	SG 2	F 9	165.0	68.0	68.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	494	赤土器	坪	SG 2	F 9	[153]	[70]	63.0	6.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	495	赤土器	坪	SG 2	F 9	[150]	52.0	49.5	5.5	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	496	赤土器	坪	SG 2	F 7	128.0	51.0	45.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	497	赤土器	坪	SG 2	F 8	123.0	48.0	46.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	498	赤土器	坪	SG 2	F 4	[141]	55.0	50.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	499	赤土器	坪	SG 2	F 6	[128]	54.0	48.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	500	赤土器	坪	SG 2	F 7	126.0	51.0	46.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	501	赤土器	坪	SG 2	F 7	134.0	51.0	46.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	502	赤土器	坪	SG 2	F 8	130.0	53.0	51.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	503	赤土器	坪	SG 2	F 8	130.0	48.0	47.5	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	504	赤土器	坪	SG 2	F 9	128.0	52.0	46.5	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	505	赤土器	坪	SG 2	F 10	124.0	51.0	48.5	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	506	赤土器	坪	SG 2	F 7	137.0	50.0	53.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	507	赤土器	坪	SG 2	F 6	133.0	50.0	47.0	4.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	508	赤土器	坪	SG 2	F 7	[135]	46.0	47.0	4.5	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	509	赤土器	坪	SG 2	F 6	133.0	54.0	48.0	4.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	510	赤土器	坪	SG 2	F 6	125.0	50.0	52.0	5.0	褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	
	511	赤土器	坪	SG 2	F 6	121.0	50.0	52.0	5.0	黄い褐色	ワタロ	ワタロ	回転成形					底面不明	

出土遺物

表一 出土遺物観察表(8)

遺物番号	類別	時代	出土地点	層位	計測値(mm)			色調	成形技法			扉・使用痕			墨書・捺印		備考	
					口徑	底徑	器高		器径	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面		内面
511	赤鉄土器	年	SG2	F7	134.0	51.0	31.0	4.0	赤褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					
513	赤鉄土器	年	SG2	F7	120.0	50.0	48.0	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					灯明蓋
514	赤鉄土器	年	SG2	F7	133.5	49.0	35.5	4.1	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					灯明蓋
515	赤鉄土器	年	SG2	F7	139.0	50.0	36.0	5.1	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					灯明蓋?
516	赤鉄土器	年	SG2	F8	135.0	50.0	52.0	4.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					付着物
517	赤鉄土器	年	SG2	F8	124.0	50.0	53.0	5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					付着物
518	赤鉄土器	年	SG2	F7	147.0	66.0	70.0	7.0	赤褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					
519	赤鉄土器	年	SG2	F9	128.0	48.0	58.5	5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					灯明蓋
520	赤鉄土器	年	SG2	F9	119.0	56.0	53.5	6.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅	使用痕				灯明蓋
521	赤鉄土器	年	SG2	F9	119.0	48.0	55.0	5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					灯明蓋
522	赤鉄土器	年	SG2	F9	123.5	51.0	54.5	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					灯明蓋
523	赤鉄土器	年	SG2	F4	121.0	50.0	47.0	4.0	赤褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[宅]
524	赤鉄土器	年	SG2	F4	(144)	68.0	64.0	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
525	赤鉄土器	年	SG2	F8	149.0	62.0	55.5	6.0	赤褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕		墨書			
526	赤鉄土器	年	SG2	F7	150.0	65.0	63.0	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅		大	逆紋		灯明蓋
527	赤鉄土器	年	SG2	F9	125.0	50.0	52.0	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					
528	赤鉄土器	年	SG2	F9	(123)	54.0	49.0	5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					[万]
529	赤鉄土器	年	SG2	F9	129.0	58.0	52.0	5.0	赤褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					[二]
530	赤鉄土器	年	SG2	F9	114.0	50.0	49.5	6.0	黄褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					[万]
531	赤鉄土器	年	SG2	F10	(123)	53.0	54.0	4.5	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					墨書不明
532	赤鉄土器	年	SG2	F6	120.0	60.0	56.0	6.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
533	赤鉄土器	年	SG2	F9	(120)	52.0	50.0	6.2	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[紫]
534	赤鉄土器	年	SG2	F9	114.0	55.0	52.0	6.5	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					[紫]
535	赤鉄土器	年	SG2	F9	118.0	50.0	51.0	6.5	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					[紫]
536	赤鉄土器	年	SG2	F9	(127)	58.0	44.0	6.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					[紫]
537	赤鉄土器	年	SG2	F5	(124)	(50)	43.0	4.0	黄褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅	使用痕				灯明蓋
538	赤鉄土器	年	SG2	F5	125.0	52.5	44.0	4.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						灯明蓋
539	赤鉄土器	年	SG2	F7	130.0	65.0	49.0	4.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					
540	赤鉄土器	年	SG2	F8	(120)	60.0	49.5	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					灯明蓋
541	赤鉄土器	年	SG2	F6	143.0	68.0	37.5	5.0	褐色	口ナリナリ	口ナリ	回転成形	僅					
542	赤鉄土器	年	SG2	F9	(127)	61.0	52.0	6.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					[万]
543	赤鉄土器	年	SG2	F10	(128.0)	52.0	42.0	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
544	赤鉄土器	年	SG2	F7	128.0	60.0	49.0	5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						底面ナリナリ
545	赤鉄土器	年	SG2	F7	118.0	57.0	51.0	6.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						底面ナリナリ
546	赤鉄土器	年	SG2	F9	120.0	58.0	53.0	6.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[左(口)] 縁紋
547	赤鉄土器	年	SG2	F6	(125)	61.0	38.0	6.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
548	赤鉄土器	年	SG2	F9	119.0	55.0	36.5	5.0	褐色	口ナリナリ	口ナリ	回転成形	僅	僅				
549	赤鉄土器	年	SG2	F7	128.0	52.0	35.0	6.5	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						底面ナリナリナリ
550	赤鉄土器	年	SG2	F7	(100)	63.0	(28)	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
551	赤鉄土器	年	SG2	F8	(106)	57.0	(28)	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					[大]
552	赤鉄土器	年	SG2	F5		(57)	(20)	3.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[宅]
553	赤鉄土器	年	SG2	F5		(63)		5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					
554	赤鉄土器	年	SG2	F6		(66)		5.5	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅	使用痕				[宅]
555	赤鉄土器	年	SG2	F6		(68)		6.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[万]
556	赤鉄土器	年	SG2	F7		(56)		5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[十]
557	赤鉄土器	年	SG2	F8		58.0		4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
558	赤鉄土器	年	SG2	F10		(52)	(20)	5.0	褐色	口ナリナリ	口ナリ	回転成形	赤色	使用痕				底面ナリナリ
559	赤鉄土器	年	SG2	F7	(112)	58.0	(34)	3.5	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
560	赤鉄土器	年	SG2	F7		52.0		4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[史]
561	赤鉄土器	年	SG2	F8		(50)	(30)	5.5	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					墨書不明
562	赤鉄土器	年	SG2	F6				4.8	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
563	赤鉄土器	年	SG2	F3				4.9	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
564	赤鉄土器	年	SG2	F5				5.9	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[紫]
565	赤鉄土器	年	SG2	F8	(111)			5.0	赤褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						墨書不明
566	赤鉄土器	年	SG1	F2	90.0	47.0	24.0	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
567	赤鉄土器	年	SG2	F10	127.0	72.0	44.5	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
568	赤鉄土器	年	SG2	F8	121.0	62.0	41.5	6.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
569	赤鉄土器	年	SG2	F5	132.0	65.0	36.5	6.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
570	赤鉄土器	年	SG2	F7	(152)		(23)	6.0	黄褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
571	赤鉄土器	年	SG2	F5	131.0	65.0	51.0	4.5	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						内面ナリナリナリ
572	赤鉄土器	年	SG2	F9	(124)		(38)	6.0	黄褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
573	赤鉄土器	年	SG2	F8		65.0	(38)	7.5	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						[宅]
574	赤鉄土器	年	SG2	F7	126.0	(63)	45.0	4.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					内面ナリナリナリ
575	赤鉄土器	年	SG2	F7		(53)	6.0	黄褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形							
576	赤鉄土器	年	SG2	F10		(84)	7.5	鈍い褐色	口ナリナリ	口ナリナリ	回転成形	僅						
577	赤鉄土器	年	SG2	F7	(220)		7.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅						
578	赤鉄土器	年	SG1	(120)		(78)	4.0	黄褐色	口ナリナリ	口ナリナリ	回転成形							内面ナリナリナリ
579	赤鉄土器	年	SG2	F8	140.0	71.0	136.0	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						外面に磨だれ有
580	赤鉄土器	年	SG2	F5		(40)	6.4	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形							磨だれ口縁
581	赤鉄土器	年	SG2	F7	(190)		(46)	6.5	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					
582	赤鉄土器	年	SG2	F8	(142)			5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形						
583	赤鉄土器	年	SG2	F8	(132)	56.0	92.5	5.0	褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	使用痕					灰白面
584	赤鉄土器	年	SG2	F8	(114)	59.0	83.8	5.0	鈍い褐色	口ナリ	口ナリ	回転成形	僅					

表-9 出土遺物観察表(9)

埋蔵層	遺物番号	種類	品類	出土地点	単位	計測値(mm)				色調	成形技法			傷・使用痕			磨き・練削		備考		
						口径	底径	器高	器厚		外面	内面	底部	外縁	内底	底部	外面	内底		外面	内底
43	595	赤褐色土器	壺	SG 2	F 2	(260)		(84)	6.5	黄褐色	口ナド	口ナド	底								
	596	赤褐色土器	壺	SG 2	F 7		(68)	(40)	5.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸	使用痕							
	597	赤褐色土器	壺	SG 2	F 4		52.0	(65)	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸	傷					口縁部欠けた		
	598	赤褐色土器	壺	SG 2	F 5		78.0		9.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸	使用痕							
	599	土加部	壺	SG 2	F 7	460			13.0	黄褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸								
	590	赤褐色土器	壺	SG 2	F 7		(130)	(13)		褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								
	591	赤褐色土器	壺	SG 2	F 8		78.0	(18)	7.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸	傷							
	592	赤褐色土器	壺	SG 2	F 9		65.0	(41)	7.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸	傷	使用痕					底面ナド	
	593	赤褐色土器	壺	SG 2	F 7				7.0	褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸							漆付痕	
	594	赤褐色土器	壺	SG 2	F 6		60.0	(28)	6.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								
44	595	赤褐色土器	壺	SG 2	F 5			(39)	8.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								
	596	赤褐色土器	壺	SG 2	F 8			(46)	9.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸							使用痕	
	597	赤褐色土器	壺	SG 2	F 7			(33)	12.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸							使用痕	
	598	赤褐色土器	壺	SG 2	F 9			(340)	8.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								外底にナド跡あり
	599	赤褐色土器	壺	SG 2	F 4			(78)	7.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								
	600	赤褐色土器	壺	SG 2	F 9			(69)	10.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								
	601	赤褐色土器	壺	SG 2	F 5				11.0	黄褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸								
	602	赤褐色土器	壺	SG 2	F 9				12.0	黄褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸								磨用痕
	603	赤褐色土器	壺	SG 2	F 3				11.0	黄褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸								使用痕
	604	赤褐色土器	壺	SG 2	F 7				26.0	黄褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸								傷
45	605	赤褐色土器	壺	SG 2	F 7			(37)	7.0	褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸								傷
	606	黒色土器	杯	SG 2	F 10	(138)	(58)	60.5	4.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸							「傷」	
	607	黒色土器	杯	SG 2	F 7	85.0	39.0	31.0	4.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸							「傷」	
	608	黒色土器	杯	SG 2	F 7				7.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								磨用痕
	609	黒色土器	杯	SG 2	F 9		52.0	(6)	4.5	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
	610	黒色土器	杯	SG 2	F 7	129.0	(46)	51.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	611	黒色土器	杯	SG 2	F 5	126.0	69.0	52.0	5.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	612	黒色土器	杯	SG 2	F 7	126.0	55.0	51.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	613	黒色土器	杯	SG 2	F 8	129.0	50.0	53.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	614	黒色土器	杯	SG 2	F 7	121.0	51.0	50.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
46	615	黒色土器	杯	SG 2	F 8	(125)	51.0	50.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	616	黒色土器	杯	SG 2	F 9	128.0	52.0	46.0	4.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	617	黒色土器	杯	SG 2	F 8	124.0	51.0	51.5	5.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	618	黒色土器	杯	SG 2	F 8	132.0	54.0	51.0	3.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	619	黒色土器	杯	SG 2	F 7	124.0	50.0	47.0	3.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	620	黒色土器	杯	SG 2	F 9	123.0	64.0	57.0	6.5	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
	621	黒色土器	杯	SG 2	F 8	133.0	55.0	51.0	5.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「十」
	622	黒色土器	杯	SG 2	F 9	142.0	60.0	55.0	5.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「三」
	623	黒色土器	杯	SG 2	F 5	141.0	53.0	62.0	7.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「上」
	624	黒色土器	杯	SG 2	F 9	(129)	52.0	48.5	3.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
47	625	黒色土器	杯	SG 2	F 9	(136)	58.0	59.0	5.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								磨用痕
	626	黒色土器	杯	SG 2	F 7	(144)	53.0	60.0	4.5	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
	627	黒色土器	杯	SG 2	F 7	154.0		(60)	4.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	628	黒色土器	杯	SG 2	F 8	148.0	52.0	46.0	4.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	629	黒色土器	杯	SG 2	F 5	117.0	45.0	47.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	630	黒色土器	杯	SG 2	F 6	(91)	(51)	51.5	6.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	631	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 5	157.0	67.0	56.0	5.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	632	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 5	133.0	63.0	51.0	6.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	633	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 5	137.5	(59)	52.5	5.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
	634	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 5	152.5	79.0	59.0	3.5	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
635	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 5	127.0	55.5	55.5	4.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底	
636	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 8	138.0	57.0	51.0	6.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底	
637	黒色土器	高脚杯	SG 2	F 7	138.5	64.0	38.0	6.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底	
638	磁器	杯	SK 303			(140)	57.0	39.5	4.5	黄褐色	口ナド	口ナド	ナズリ	ナズリ	ナズリ	ナズリ	ナズリ	ナズリ	ナズリ	「傷」	
639	磁器	高脚杯	高脚杯	SG 2	F 8	(126)	55.0	53.0	4.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸							「傷」	
640	赤褐色土器	杯	SK 33			(126)	55.0	53.0	4.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
641	赤褐色土器	杯	SK 33			121.0	54.0	48.0	5.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
642	赤褐色土器	杯	SK 33			126.0	55.0	52.0	4.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
643	赤褐色土器	杯	SK 33			120.0	58.0	47.0	4.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
644	赤褐色土器	杯	SK 33			123.0	53.0	43.0	6.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
645	赤褐色土器	杯	SK 463			118.0	54.0	46.0	4.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								内底
646	赤褐色土器	高脚杯	SK 241			(183)	66.0	41.5	4.5	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								赤部
647	黒色土器	壺	SG 2	F 4	51.0			6.2	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸									内底
648	赤褐色土器	壺	SK 303			130.0		(73)	6.0	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
649	黄褐色土器	壺	SG 1	F 6				6.5	黄褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸									内底
650	赤褐色土器	壺	SK 303			153.0		(91)	5.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								「傷」
651	赤褐色土器	壺	SG 1	F 5				5.0	赤褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸									「傷」
652	赤褐色土器	壺	SK 303					6.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸									「傷」
653	黄褐色土器	壺	SG 1	F 9			(78)	31.5	6.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸								外底黄褐色
654	黄褐色土器	壺	C-33	II				6.0	赤褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸									内底黄褐色
655	赤褐色土器	壺	XO					11.0	黄褐色	口ナド	ナズリ	脚輪状凸									内底黄褐色
656	赤褐色土器	壺	SG 2	F 1			(48)	7.0	褐色	口ナド	口ナド	脚輪状凸									「十」

出土遺物

表-10 出土遺物観察表(10)

遺物 番号	種類	群	出土 地点	方位	計測値(mm)				色調	成形技法			窯・使用痕			墨書・捺刷		備考	
					口径	底径	器高	器厚		外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	向き		底面
47	657	土製品	SG 2	F 6	105.0	71.0	32.0		褐色										粘土に磨き有
	658	土製品	SG 2	F 6	108.0	68.0	20.0		褐色										
	659	石製品	硬石	SG 2	F 9	71.0	71.0	69.0		青灰色									
	660	磨製土器	SG100	F 3	(111)	97.0	137.0	14.0	鈍い褐色	メヅリ	加減管	加減管							[欠]
	661	土製品	SG 2	F 6	142.0	22.0			鈍い褐色										
48	662	石製品	硬石	SG 1	F 4	89.0	46.0		青灰色										
	663	土製品	石皿	SG 2	F 8	106.0	52.0		黒色										大成岩
	664	土製品	文甕	SG 1	F 7		89.0	103.0	褐色										
	665	石製品	石皿	SG 1	F 4	153.0	51.0		鈍い褐色										
	666	須恵器	灰	SG100	F 3	136.0	94.0	32.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	667	須恵器	灰	SG100	F 1	130.0	(62)	33.0	5.5	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	668	須恵器	灰	SG100	F 2	134.0	90.0	31.0	3.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	669	須恵器	灰	SG100	F 2	(126)	(74)	27.0	4.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切	窯	窯				
	670	須恵器	灰	SG100	F 2	(122)	66.0	33.0	5.5	黄灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[欠]
	671	須恵器	灰	SG100	F 2	(103)	(66)	36.0	4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	672	須恵器	灰	SG100	F 3		(84)		5.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[可動蓋]
	673	須恵器	灰	SG100	F 3	(122)	(87)	31.0	4.0	黒灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[可動蓋]
	674	須恵器	灰	SG100	F 3	(124)	(66)	35.5	3.5	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[可]
	675	須恵器	灰	SG100	F 3		(68)		5.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[有]
	676	須恵器	灰	SG100	F 3	(134)	(63)	34.0	4.5	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	677	須恵器	灰	SG100	F 4	126.0	52.0	45.0	4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕	使用痕				
	678	磨製土器	灰	SG100	F 1	(126)	(51)	42.0	4.5	白灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
49	679	須恵器	灰	SG100	F 3	(139)	(52)	34.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕	使用痕				
	680	須恵器	灰	SG100	F 4	120.0	40.0	47.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕	使用痕				[線刻行次後行断面]
	681	須恵器	灰	SG100	F 2	(127)	(55)	45.0	4.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	682	須恵器	灰	SG100	F 3	129.0	55.0	26.0	3.0	黄灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕	使用痕				[月+]
	683	須恵器	灰	SG100	F 1	(126)	55.0	40.0	4.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						[有]
	684	須恵器	灰	SG100	F 3	(134)	58.0	29.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	685	須恵器	灰	SG100	F 3		56.0	(22)	4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[乙]
	686	須恵器	灰	SG100	F 1	(126)	(72)	33.5	4.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[管線]
	687	須恵器	灰	SG100	F 3		65.0	(22)	4.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						墨書不明
	688	須恵器	灰	SG100	F 4		(60)		4.0	黒灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕					[本]
	689	須恵器	灰	SG100	F 3		(54)		4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	690	須恵器	灰	SG100	F 3				7.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	691	須恵器	灰	SG100	F 3				10.0	黄灰色	ワタリ	ヘラ切							墨書不明
	692	須恵器	灰	SG100	F 3				5.0	灰色	ワタリ	ヘラ切							墨書不明
	693	須恵器	灰	SG100	F 2		68.0	(16)	6.5	白灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切	窯	使用痕				[本]
	694	須恵器	灰	SG100	F 3		(74)		13.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切					[十]
	695	須恵器	灰	SG100	F 2		(42)	(22)	4.5	黒灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						墨書不明
	696	須恵器	灰	SG100	F 3		(60)		4.5	黒灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						墨書不明
	697	須恵器	灰	SG100	F 4		(71)		4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						墨書不明
	698	須恵器	灰	SG100	F 2		50.0	(23)	6.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切		使用痕				[古]
	699	須恵器	灰	SG100	F 3		(60)		4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	700	須恵器	灰	D-8	Ⅲ		(50)		7.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	701	須恵器	灰	SG100	F 3		(60)		7.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	702	須恵器	灰	SG100	F 1			(21)	4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	703	須恵器	灰	SG100	F 2				7.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						[七]
50	704	須恵器	灰	SG100	F 1	90.0	62.0	61.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						
	705	須恵器	高台鉢	SG100	F 2		53.0	(30)	4.0	黒灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[弓]
	706	須恵器	高台鉢	SG100	F 2	(104)	(56)	45.0	4.5	黒灰色	ワタリ	ワタリ	不明						墨書不明
	707	須恵器	高台鉢	SG100	F 3	(106)	56.0	47.0	3.5	黒灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切	使用痕					[物]
	708	須恵器	高台鉢	SG100	F 1		55.0	(24)	4.0	灰色	ワタリ	ワタリ	磨上糸切	使用痕					[；]
	709	須恵器	高台鉢	SG100	F 3	(120)	(66)	27.0	5.0	灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						墨書不明
	710	須恵器	高台鉢	SG100	F 1		77.0		7.0	白灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						ヘラ切
	711	須恵器	高台鉢	SG100	F 2		(76)		5.5	黄灰色	ワタリ	ワタリ	ヘラ切						[有]
	712	磨製土器	灰	SG100	F 3	(142)	66.0	80.0	6.0	赤褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	713	須恵器	蓋	SG100	F 3		(22)		8.0	褐色	メヅリ	ワタリ							[十]
	714	磨製土器	灰	SG100	F 3	165.0	65.0	72.5	4.5	鈍い褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	715	磨製土器	灰	SG100	F 3	(144)	60.0	56.0	5.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	716	磨製土器	灰	D-9	Ⅲ		(45)	58.0	54.0	5.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕	使用痕			
	717	磨製土器	灰	SG100	F 3	118.0	49.0	49.0	4.0	黒灰色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	718	磨製土器	灰	SG100	F 2	(157)	62.0	65.0	5.5	鈍い褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	窯	窯				[弓]
	719	磨製土器	灰	SG100	F 1	(152)	55.0	48.0	3.5	鈍い褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						白明蓋
	720	磨製土器	灰	SG100	F 3	(116)	90.0	49.0	7.0	赤褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						底面磨削有,石明蓋
	721	磨製土器	灰	SG100	F 3	(119)	90.0	52.5	5.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	722	磨製土器	灰	SG100	F 3	(112)	87.0	55.0	7.0	鈍い褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	使用痕					
51	723	磨製土器	灰	SG100	F 3	125.0	90.0	50.0	4.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						磨り音
	724	磨製土器	灰	SG100	F 3	(116)	87.0	50.0	45.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	725	磨製土器	灰	SG100	F 3	121.0	(58)	42.5	5.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						使用痕
	726	磨製土器	灰	SG100	F 2	(120)	(53)	50.0	4.0	鈍い褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	727	磨製土器	灰	SG100	F 3	119.0	52.0	51.0	4.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	728	磨製土器	灰	SG100	F 3	116.0	60.0	49.0	5.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切						
	729	磨製土器	灰	SG100	F 1	125.0	60.0	49.0	4.0	褐色	ワタリ	ワタリ	掘輪糸切	窯	窯				磨り音,白明蓋

表-11 出土遺物観察表(11)

群別	遺物番号	種類	図様	出土地点	単位	計測値(mm)			色調	成形技法			傷・使用痕			磨削・修理			備考		
						口徑	底徑	器高		器厚	外面	内面	底部	外面	内面	底部	外面	内面		底部	
51	730	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(136)	(90)	48.0	4.5	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								
	731	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(124)	(54.0)	54.0	48.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形							
	732	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(136.0)	(62.0)	62.0	48.0	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	縦	横				打明磨	
	733	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(134)	(48)	48.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								
	734	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(127)	(58)	48.0	6.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								
	735	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(120)	(52.0)	49.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								
	736	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(124.0)	(56.0)	43.5	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	使用痕	十字						
	737	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(126)	(54.0)	62.0	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	痕							
	738	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(132)	(56.0)	64.0	3.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								
	739	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(135)	(56.0)	62.0	3.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								
	740	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(128.0)	(58.0)	48.0	3.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								器大
	741	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(124)	(46)	41.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								磨削不明
	742	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(124)	(25.0)	38.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								磨削不明
	743	磁器	杯	SG1200	F 2	(118.0)	(18.0)	49.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	縦	横						磨削不明
744	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(120)	(50.0)	47.0	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								器大、打明磨	
745	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(122.0)	(52.0)	46.5	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	使用痕								
746	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(128.0)	(60.0)	51.0	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形									
747	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(121)	(46.0)	45.0	4.5	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形									
748	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(122.0)	(56.0)	43.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								器大	
749	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(127)	(50.0)	45.0	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形									
750	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(132.0)	(55.0)	48.0	3.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形									
751	赤鉄土器	杯	SG1200	F 2	(127.0)	(58.0)	41.0	3.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	痕								
752	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3	(120)				4.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ								磨削不明 破位	
753	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3					5.0	褐色	ロクロ	ロクロ		使用痕						磨削不明 破位	
754	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1					3.5	褐色	ロクロ	ロクロ								磨削不明 破位	
755	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1					3.0	褐色	ロクロ	ロクロ								磨削不明 破位	
756	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3					8.0	褐色			回転成形							磨削不明	
757	赤鉄土器	杯	SG1200	F 4					5.0	褐色	ロクロ	ロクロ								磨削不明	
758	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1					5.0	鈍い褐色										磨削不明	
759	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3					6.0	褐色			ヘラ切							磨削不明	
760	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3					3.0	鈍い褐色										磨削不明 破位	
761	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3					3.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ								磨削不明 破位	
762	土製品	器	SG 2	F 7		33.0			21.5	黒褐色											
763	赤鉄土器	盃	SG1200	F 3		(70)			5.2	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形							磨削不明	
764	赤鉄土器	杯	SG1200	F 1	(170)				5.0	赤褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形							磨削不明	
765	磁器	杯	SG1200	F 5	(64)				4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形	縦	横					磨削不明	
766	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3					6.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形							磨削不明	
767	赤鉄土器	杯	SG1200	F 3			58.0	(2.5)	6.0	黒褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形							磨削不明	
768	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(124.0)	(54.0)	(60.0)	6.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
769	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(120)	(50.0)	(55.0)	4.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	痕							内黒	
770	黒色土器	杯	SG1200	F 2	(124)	(22.0)	(53.0)	4.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
771	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(120)		(37)	3.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
772	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(121)	(56.0)	(53.0)	4.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								「倉入」 磨削不明	
773	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(160)	(56.0)	(37.0)	4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
774	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(143)	(61.0)	(58.0)	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
775	黒色土器	杯	SG1200	F 2	(153)	(50)	(53.5)	3.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
776	白磁	碗	SG1200	F 2					3.0	乳白色	ロクロ	ロクロ								口縁部分に中子残状	
777	黒色土器	杯	SG1200	F 3	(143)	(50.0)	(50.0)	5.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形	十字							内黒	
778	黒色土器	杯	SG1200	F 4	(160)				4.0	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形							内黒	
779	黒色土器	杯	SG1200	F 2		(50)			7.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ	回転成形							内黒	
780	黒色土器	盃	SG1200	F 1	(188.0)	(70.0)	(54.5)	5.0	褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
781	黒色土器	盃	SG1200	F 2	(124)	(60)	(52.5)	4.5	鈍い褐色	ロクロ	ロクロ	回転成形								内黒	
782	中鉄陶器	厨師	SG1200	F 1					10.0	黒灰色	ロクロ	ロクロ								鉄淵系陶器	
783	中鉄陶器	厨師	SG1200	F 1					9.0	灰色	ロクロ	ロクロ								鉄淵系陶器	
784	中鉄陶器	厨師	SG1200	F 1		(116)			(33)	灰色	ロクロ	ロクロ	磨削成形							鉄淵系陶器	
785	陶磁	瓶	B-41	Ⅱ	(147)		(54)		4.5	青褐色											
786	陶磁	瓶	I				(45)		5.8	黒褐色											
787	陶磁	瓶	I			(49.0)			5.0	暗緑褐色										青津	
788	土師	SG1200	F 2	(48.0)	(15.0)					黒灰色											
789	土師	SG1200	F 1	(34.0)	(9.5)					鈍い灰色											
790	土師	SG1200	F 1	(42.0)	(25.0)					白褐色											
791	土師	SG1200	F 1	(47.5)	(20.0)					褐色	ケズリ										
792	土師	SG1200	F 2	(28.0)	(18.5)					黒灰色											
793	その他	赤晶	SG1200	F 1	(18.0)					透明色										ロビ有、砥部産	
794	土師	SG1200	F 1	(36.0)	(14.0)					黒灰色											
795	土師	SG1200	F 1	(54.0)	(24.0)					鈍い褐色											
796	土師	SG1200	F 2	(36.0)	(11.0)					黄灰色											
797	土師	SG1200	F 2	(50.0)	(12.5)					黒灰色											

表-12 出土遺物観察表(12)

発掘 番号	遺物 番号	登録 番号	類別	部 類	出土 地点	層位	計 測 値 (mm)				成 形・調 査			備 考
							長さ (114.0)	幅 (94.0)	高さ (138.0)	厚さ (6.0)	外面	内面	底面	
54	799	本製品	軸	SG 1 F 7	(144.0)	94.0	138.0	6.0	漆	漆	漆			
	800	本製品	軸	SG 1 F 7	182.0	83.0	47.0	7.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	800	本製品	軸	SG 1 F 7	156.0	122.0	50.0	1.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	801	本製品	軸	SG 1 F 9	(114.0)	78.0	(30.0)	5.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	802	本製品	軸	SG 1 F 8	(300.0)	70.0	(20.0)	13.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	803	本製品	軸	SG 1 F 9	(124.0)	106.0	(41.0)	26.0	ロクロ後	ロクロ後	ケズリ	縦面にケズリ直有		
	804	本製品	軸	SG 1 F 9	(138.0)	91.5	37.0	8.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後	縦面に直有		
	805	本製品	曲物底	SG 1 F 8		138.0		8.0				木釘直 4 方所木釘 1 所中央に穿孔		
	806	本製品	皿	SG 1 F 9	200.0	206.0	18.0	8.0	ロクロ後	ロクロ後	ケズリ			
	807	本製品	皿	SG 1 F 8	(127.0)	194.0	14.5	3.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
55	808	本製品	皿	SG 1 F 7	(128.0)	120.0	13.0	2.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	809	本製品	皿	SG 1 F 9	194.0	162.0	(14.0)	7.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後	縦面に直線 2 つ		
	810	本製品	曲物底	SG 1 F 7		178.0		8.0				木釘直 2 方所・中央に穿孔		
	811	本製品	皿	SG 1 F 8	128.0	94.0	19.0	14.0	ロクロ後	ロクロ後ケズリ	ロクロ爪痕	縦にロクロ爪痕有		
	812	本製品	皿	SG 1 F 7	134.0	93.5	21.0	15.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後ケズリ	縦面に細い直線の傷有		
	813	本製品	皿	SG 1 F 7	152.0	114.0	22.0	13.5	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後ケズリ			
	814	本製品	皿	SG 1 F 8	156.0	83.0	8.0	7.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後ケズリ			
	815	本製品	皿	SG 1 F 5	147.0	97.0	19.0	15.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	816	本製品	皿	SG 1 F 7	112.0	110.0	(18.0)	10.0	ロクロ後	ロクロ後	ケズリ			
	817	本製品	皿	SG 1 F 9	(167.0)	108.0	19.0	15.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
56	818	本製品	皿	SG 1 F 9	(148.0)	109.0	19.5	12.5	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	819	本製品	軸	SG 1 F 9	(127.0)	91.0	(21.5)	5.5	ロクロ後	ロクロ後ケズリ	ケズリケズリ	内縁部にケズリ直線部にロクロ爪痕		
	820	本製品	皿	SG 1 F 10	(167.0)	120.0	21.0	14.0	ロクロ後	ロクロ後ケズリ	ロクロ後ケズリ			
	821	本製品	曲物底	SG 1 F 9		270.0	105.0	3.0				穿孔 1 所所、縦線留 2 所所		
	822	本製品	曲物底	SG 1 F 7		132.0		6.0				木釘直 3 方所木釘 1 所		
	823	本製品	曲物底	SG 1 F 8	136.0	136.0	57.0	5.0				木釘 5 方所		
	824	本製品	曲物底	SG 1 F 10	172.0	172.0	28.0	2.0				木釘 7 方所		
	825	本製品	曲物底	SG 1 F 8		154.0	29.0	2.0				木釘 6 方所		
	826	本製品	曲物底	SG 1 F 8	149.0	140.0	48.0	1.0				木釘 4 方所		
	827	本製品	曲物底	SG 1 F 7		134.0		7.0				5 つの穿孔有		
57	828	本製品	曲物底	SG 1 F 7		160.0		7.0				縦線・穿孔 1 所所、縦線留 2 方所有		
	829	本製品	曲物底	SG 1 F 7		132.0		8.0				木釘 3 方所所		
	830	本製品	皿	SG 1 F 7	(150.0)	110.0	16.0	4.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後			
	831	本製品	曲物底	SG 1 F 7		148.0		7.0				木釘直 5 方所木釘 2 所		
	832	本製品	曲物底	SG 1 F 9		184.0		11.0				木釘・縦線留 1 方所		
	833	本製品	曲物底	SG 1 F 8		177.0		6.0				木釘 4 方所所		
	834	本製品	箸	SG 1 F 7	293.0	7.0		6.0	ケズリ					
	835	本製品	箸	SG 1 F 7	272.0	6.0		5.0	ケズリ					
	836	本製品	箸	SG 1 F 7	264.0	6.0		5.0	ケズリ					
	837	本製品	箸	SG 1 F 7	258.0	6.0		4.0	ケズリ					
58	838	本製品	箸	SG 1 F 7	250.0	6.0		5.0	ケズリ					
	839	本製品	箸	SG 1 F 7	281.0	6.0		5.0	ケズリ					
	840	本製品	箸	SG 1 F 7	283.0	6.0		5.0	ケズリ					
	841	本製品	箸	SG 1 F 7	284.0	6.0		5.0	ケズリ					
	842	本製品	箸	SG 1 F 7	284.0	5.0		5.0	ケズリ					
	843	本製品	箸	SG 1 F 8	(180.0)	5.0		4.0	ケズリ					
	844	本製品	箸	SG 1 F 8	(171.0)	5.0		4.0	ケズリ					
	845	本製品	箸	SG 1 F 8	235.0	7.0		8.0	ケズリ					
	846	本製品	箸	SG 1 F 8	(248.0)	5.0		4.0	ケズリ					
	847	本製品	箸	SG 1 F 8	268.0	5.0		4.0	ケズリ					
59	848	本製品	箸	SG 1 F 7	(230.0)	6.0		5.0	ケズリ					
	849	本製品	箸	SG 1 F 7	(227.0)	6.0		5.0	ケズリ					
	850	本製品	箸	SG 1 F 7	280.0	6.0		5.0	ケズリ					
	851	本製品	箸	SG 1 F 7	275.0	7.0		5.0	ケズリ					
	852	本製品	軸	SG 1 F 10	383.0	16.0		14.0				横線に付録		
	853	本製品	練物	SG 1 F 8	(223.0)	42.5		17.0	ケズリ・ミダキ			全面ケズリの上からミダキ、先縁部直化		
	854	本製品	練物	SG 1 F 9	293.0	13.0		9.0				厚付有。3 方所所		
	855	本製品	練物	SG 1 F 7	1,045.0	(225.0)		40.0				先が半分欠		
	856	本製品	木釘	SG 1 F 9	220.0	18.0		18.0						
	857	本製品	練物	SG 1 F 9	342.0	68.0		68.0						
60	858	本製品	松紙本製品	SG 1 F 8	61.0	46.0		23.0	ロクロ後	ロクロ後	ロクロ後	上部にロクロの直線有		
	859	本製品	刀子	SG 1 F 10	146.0	13.5		3.0						
	860	本製品	刀子	SG 1 F 4	65.0	7.0		3.0						
	861	本製品	練紙本製品	SG 1 F 9	205.0			62.0				ケズリ		
	862	本製品	練紙本製品	SG 1 F 9	(248.0)	32.0		4.0				内面にケズリ、外縁部直化		
	863	本製品	練紙本製品	SG 1 F 8	140.0	33.0		4.5				下部、9+穴直、上から 2・7番目木釘		
	864	本製品	木釘片	SG 1 F 3	135.0	107.0		11.0	ノコギリ			片側に 13 つの穴有		
	865	本製品	用途不明本製品	SG 1 F 5	150.0	110.0		45.0	ケズリ			断面にノコギリ直有		
												ケズリの上にも直有		

表-13 出土遺物観察表(13)

種別	遺物番号	登録番号	種別	器種	出土地点	層位	計測値(mm)		成型・調整			備考
							口径	高さ	厚さ	外面	内面	
61	866		木製品	火燗臼	SG 1 F 7	F 7	307.5	25.0	19.0	タズリ		
	867	RW254	木製品	火燗臼	SG 1 F 8	F 8	236.0	19.0	18.0	タズリ		器底に磨痕とこげ有
	868	RW387	木製品	鏝	SG 1 F 7	F 7	143.0	29.0	7.0			
	869		木製品	鏝	SG 1 F 7	F 7	142.0	18.0	7.0			
	870	RW189	木製品	鏝	SG 1 F 7	F 7	200.0	49.0	11.0	タズリ		金剛タズリ、柄が折
	871	RW100	木製品	椀鉢	SG1300 F 1	F 1	(1,241.0)	220.0	56.0	手磨削り		
	872	RW146	木製品	椀鉢	SG1300 F 2	F 2	247.0	55.0	8.0			下部欠損、ノミ状のものであけた穴有
	873	RW160	木製品	椀鉢	SG1300 F 2	F 2	200.0	78.0	10.0			
	874	RW204	木製品	椀鉢	SG1300 F 1	F 1	129.0	63.0	7.0			
	875	RW99	木製品	用途不明木製品	SG1300 F 1	F 1	60.0	36.0	8.0	磨削面有		
876	RW244	木製品	用途不明木製品	SG1300 F 1	F 1	56.0	11.0	7.0	切込有			
877	RW18	木製品	板状木製品	SG1300 F 1	F 1	117.0	23.0	4.0				
62	878	RW236	木製品	用途不明木製品	SG1300 F 3	F 3	134.0	19.0	13.0			左有、下部欠損
	879	RW265	木製品	用途不明木製品	SG1300 F 3	F 3	178.0	38.0	13.0			下部欠損
	880	RW116	木製品	板状木製品	SG1300 F 2	F 2	228.0	27.0	7.0	タズリ		
	881	RW281	木製品	板状木製品	SG1300 F 3	F 3	23.3	1.8	1.0	タズリ		
	882	RW270	木製品	板状木製品	SG1300 F 2	F 2	248.0	18.0	13.0			
	883	RW190	木製品	板状木製品	SG1300 F 2	F 2	125.0	31.0	5.0	タズリ		半分欠
	884	RW203	木製品	板状木製品	SG1300 F 1	F 1	134.0	38.0	3.0			新物の底の一部
	885	RW207	木製品	用途不明木製品	SG1300 F 1	F 1	78.0	26.0	9.0	タズリ		穴2つ有
	886	RW473	木製品	瓢箪製品	SG 1 F 8	F 8	247.0	83.0				棒有
	887	RW214	木製品	瓢箪製品	SG 1 F 8	F 8	(127.5)	(100.5)				棒有
63	888	RW461	木製品	瓢箪製品	SG 1 F 8	F 8	75.0	(88.0)				棒有
	889	RW288	木製品	人形	SG 1 F 5	F 5	196.0	(18.0)	5.0			磨削、右半欠、尾折
	890	RW335	木製品	人形	SG 1 F 7	F 7	142.0	22.0	4.0	タズリ		磨削、右足折
	891		木製品	人形	SG 1 F 7	F 7	166.0	27.0	4.0	タズリ		両脇に切込有
	892		木製品	板状木製品	SG 1 F 7	F 7	130.0	33.0	6.5			
	893	RW451	木製品	人形	SG 1 F 7	F 7	188.0	30.0	4.0			磨削
	894	RW479	木製品	武器形	SG 1 F 9	F 9	113.0	18.0	18.0	タズリ		
	895	木製品	壺串	SG 1 F 4	F 4	136.0	15.0	3.0			上部、横方向に切込有	
	896	木製品	壺串	SG 1 F 7	F 7	182.0	7.0	3.0			上部に縦に切込有	
	897	木製品	壺串	SG 1 F 7	F 7	122.0	12.0	2.5			上部斜めに切込有	
64	898	RW460	木製品	壺串	SG 1 F 8	F 8	70.0	18.0	4.0	タズリ		ほぼ中央に穴有
	899	RW212	木製品	壺串	SG 1 F 8	F 8	(473.5)	15.0	6.0			
	900	木製品	壺串	SG 1 F 8	F 8	152.0	18.0	4.0				
	901	木製品	壺串	SG 1 F 8	F 8	179.0	17.0	3.0			両脇に切込有	
	902	木製品	壺串	SG 1 F 8	F 8	95.0	24.0	2.0				
	903	RW503	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	153.0	13.0	4.0			上部に切込有
	904	RW296	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	243.0	15.0	2.0			両脇部本有、ほぼ中央で柄
	905	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	(122.0)	20.0	3.0			上部斜めに切込有	
	906	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	147.0	16.0	4.0				
	907	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	154.0	19.0	5.0			上部に切込	
908	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	99.0	19.0	5.0			下半分欠		
909	RW468	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	332.0	13.0	4.5				
910	木製品	壺串	SG 1 F 9	F 9	169.0	20.0	5.0			両脇上部に切込有		
911	木製品	板状木製品	SG 1 F 7	F 7	77.0	17.5	4.0					
912	木製品	壺串	SG 1 F 8	F 8	(252.0)	25.0	3.0			両脇に切込有		
913	木製品	壺串	SG 1 F 7	F 7	342.0	19.0	5.0	切込有		上部折、半分欠、片面に切痕有		
914	木製品	板状木製品	SG 1 F 7	F 7	464.0	23.0	8.0			1カ所折れ		
915	木製品	板状木製品	SG 1 F 9	F 9	490.0	25.0	5.0			3カ所折れ		
916	木製品	用途不明木製品	SG 1 F 8	F 8	(78.0)		8.0	タズリ				
917	木製品	用途不明木製品	SG 1 F 8	F 8	99.0		4.5	タズリ				
918	RW432	木製品	内付木製品	SG 1 F 7	F 7	253.0	13.0	10.0				
919	木製品	内付木製品	SG 1 F 9	F 9	184.0	14.0	10.0	タズリ			両端タズリ	
920	木製品	板状木製品	SG 1 F 4	F 4	210.0	26.0	15.0				中心より折、ほぼ中央に穿孔有	
921	RW318	木製品	板状木製品	SG 1 F 8	F 8	188.0	23.5	2.0			3カ所穴有	
922	RW469	木製品	板状木製品	SG 1 F 9	F 9	(272.0)	29.0	1.5			上部右に切込、左に磨穴有	
923	木製品	板状木製品	SG 1 F 7	F 7	260.0	12.5	5.0					
924	木製品	板状木製品	SG 1 F 8	F 8	(128.0)	13.0	3.0			穴有、中央で折		
925	木製品	板状木製品	SG 1 F 8	F 8	(149.0)	13.0	2.0			穴有、中央で折		
926	木製品	板状木製品	SG 1 F 8	F 8	(143.0)	12.0	2.7			2カ所折、穴有		
927	木製品	板状木製品	SG 1 F 8	F 8	(183.0)	11.0	2.0			表に磨痕有、半分に磨		
928	RW336	木製品	鏝	SG 1 F 9	F 9	(45.0)	41.0	7.0				
929	RW317	木製品	鏝	SG 1 F 9	F 9	(46.0)	(25.0)	5.0				
930	RW383	木製品	木筒	SG 1 F 7	F 7	249.0	33.0	8.0			磨削	
931	RW284	木製品	木筒	SG 1 F 7	F 7	(108.0)	32.0	6.0			磨削	
932	RW469	木製品	木筒	SG 1 F 8	F 8	133.0	29.0	5.0			磨削	
933	RW182	木製品	木筒	SG 1 F 7	F 7	367.0	34.0	3.0			両端磨削	

出土遺物

表-14 出土遺物観察表(14)

埋蔵層番号	遺物番号	登録番号	種目	部類	出土地点	層位	計測値(mm)				成型・調整			備考
							長さ	幅	高さ	厚さ	外面	内面	底面	
64	924	RW163	木製品	木鏝	SG 1 F 7	288.0	47.0	7.5	ケズリ					
	925		木製品	鏝巾	SG 1 F 8	131.0	13.0	11.0	ケズリ					曲背
	936	RW116	木製品	杖状木製品	SG 1 F 5	215.0	22.0	16.0	ケズリ					曲背
	937	RW294	木製品	杖状木製品	SG 1 F 9	259.0	29.0	13.0						曲背
	938	RW208	木製品	柄状木製品	SG 1 F 7	355.0	42.0	56.0	ケズリ・ミヤキ					
65	939		木製品	たがひ状木製品	SG 1 F 10	85.0	16.0	13.0	ケズリ					
	940	RW244	木製品	杖状木製品	SG 1 F 9	242.0	30.0	15.0						
	941	RW215	木製品	下敷	SG 1 F 7	165.0	84.0	38.0	8.0					足見用
	942	RW456	木製品	用途不明木製品	SG 1 F 7	190.0	49.0	23.0	ミガキ					穿孔有
	943	RW202	木製品	用途不明木製品	SG 1 F 7	283.0	53.0	(15.0)						穿孔有、裏面全面炭化
66	944	RW365	木製品	板材	SG 2 F 9	498.0	205.0	27.0	ケズリ					全面平削り、層による切磨有
	945	RW183	木製品	弓	SG 2 F 6	882.0		19.0	ケズリ					
	946	RW29	木製品	砂毒	SK400	124.0		0.1						
	947	RW175	木製品	鏝	SG1200 F 3	(156.0)	(136.0)	(5.0)	ロクロ挽	ロクロ挽				裏に木目有、磨物の底に付着有
	948	RW209	木製品	鏝	SG 2 F 5	(192.0)	152.0	(19.4)	ロクロ挽	ロクロ挽				
67	949	RW333	木製品	鏝	SG 2 F 7	197.0	152.0	20.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽			磨あり
	950	RW162	木製品	鏝	SG 2 F 7	(198.0)	28.0	20.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽			ロクロ挽
	951	RW276	木製品	鏝	SG 2 F 5	130.0	108.0	15.0	4.0	ロクロ挽	ロクロ挽			
	952	RW280	木製品	鏝	SG 2 F 5	(130.0)	106.0	9.0	7.0	ロクロ挽	ロクロ挽			磨あり
	953	RW343	木製品	柄	SG 2 F 8	158.0	89.5	26.0	6.5	ロクロ挽	ロクロ挽			
68	954	RW65	木製品	柄	SG 2 F 5	(120.0)	80.0	(30.3)	15.5	ロクロ挽	ロクロ挽			
	955	RW191	木製品	鏝	SG 2 F 6	(170.0)	120.0	(15.0)	11.0	ロクロ挽	ロクロ挽			表面にロクロ挽き痕有
	956	RW564	木製品	鏝	SG 2 F 5	(180.0)	100.0	16.0	11.0	ロクロ挽	ロクロ挽			持ち物、底部に穿孔有、蓋か
	957	RW275	木製品	鏝	SG 2 F 5	140.0	100.0	20.0	14.0	ロクロ挽	ロクロ挽			
	958	RW115	木製品	鏝	SG 2 F 6	(115.0)	92.5	14.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽			
69	959	RW293	木製品	鏝	SG 2 F 7	180.0	150.0	49.0	17.0	ロクロ挽	ロクロ挽			
	960	RW241	木製品	鏝	SG 2 F 5	(238.0)		25.0	6.0					
	961	RW557	木製品	磨物	SG 2 F 9	117.0	117.0	35.0	2.0					本跡で2ヶ所磨、板皮で2ヶ所磨
	962	RW111	木製品	磨物類板	SG 2 F 6	(516.0)		176.0	7.0					
	963	RW196	木製品	鏝	SG 2 F 7	150.0	117.0	106.0	12.0	ロクロ挽	ロクロ挽			ロクロ挽
70	964		木製品	鏝	SG 2 F 8	(136.0)	56.0	18.0	6.0					
	965	RW160	木製品	鏝	SG 2 F 6	122.0	90.0	10.0	3.0	ロクロ挽	ロクロ挽			縁部にロクロ挽痕有
	966	RW332	木製品	鏝	SG 2 F 9	(115.0)	91.0	20.0	4.0	ロクロ挽	ロクロ挽			縁部にロクロ挽痕有
	967		木製品	鏝	SG 2 F 8	(94.0)		1.5						
	968		木製品	磨物	SG 2 F 8	158.0	156.0	22.0	2.0					
71	969		木製品	磨物	SG 2 F 7	142.0	142.0	104.0	2.0					本跡6ヶ所、蓋か
	970	RW603	木製品	磨物類板	SG 2 F 5	335.0		235.0	25.0					本跡3ヶ所、磨痕と底紋分離
	971	RW286	木製品	磨物類板	SG 2 F 7	265.0			14.0					上部と下部に穿孔有
	972	RW294	木製品	磨物類板	SG 2 F 7	133.0			7.0					有段磨削痕(4ヶ所)
	973	RW348	木製品	磨物類板	SG 2 F 8	179.0			6.0					本跡1ヶ所
72	974	RW346	木製品	磨物類板	SG 2 F 8	181.0			6.0					
	975	RW351	木製品	磨物	SG 2 F 8	132.5	13.0		0.5					
	976	RW153	木製品	棒杵	SG 2 F 6	(372.0)	112.0	74.0	16.0					磨痕類
	977	RW601	木製品	磨物類板	SG 2 F 5	138.0			11.0					本跡2ヶ所
	978	RW279	木製品	磨物類板	SG 2 F 5	180.0			6.0					有段
73	979	RW52	木製品	磨物類板	SG 2 F 3	(143.0)			7.3					中心部穿孔、穿孔周辺に圧痕
	980	RW120	木製品	磨物類板	SG 2 F 6	159.0			4.9					新痕の付具2ヶ所有
	981		木製品	板材	SG 2 F 8	68.0			4.0					磨痕の痕か
	982	RW395	木製品	人形	SG 2 F 5	276.0	28.0		4.0					縁部に万物による切目有
	983	RW49	木製品	磨巾	SG 2 F 4	(153.0)	(8.0)		3.5					
74	984	RW49	木製品	磨巾	SG 2 F 4	(177.0)	(5.0)		5.5					片磨欠
	985		木製品	磨巾	SG 2 F 6	122.0	10.0		2.0					
	986		木製品	磨巾	SG 2 F 6	113.0	17.0		2.0					縁部に切目有
	987		木製品	磨巾	SG 2 F 7	117.0	7.0		2.0	ケズリ				上部外面が深く削られている
	988		木製品	磨巾	SG 2 F 7	(96.0)	18.0		3.0					上部欠
	989		木製品	磨巾	SG 2 F 9	(186.0)	11.0		3.0					両側から切目
	990	RW605	木製品	磨巾	SG 2 F 9	138.0	18.0		3.0					ほぼ中央で折られている
	991		木製品	用途不明木製品	SG 2 F 6	162.5	9.0		9.0	ケズリ				
	992		木製品	用途不明木製品	SG 2 F 6	163.0	7.0		7.0	ケズリ				
	993		木製品	用途不明木製品	SG 2 F 6	166.0	7.0		6.5	ケズリ				
75	994		木製品	用途不明木製品	SG 2 F 6	(122.0)	7.0		7.0	ケズリ				
	995		木製品	用途不明木製品	SG 2 F 6	157.0	5.0		5.0	ケズリ				
	996		木製品	武器類	SG 2 F 9	86.0	10.0		6.0	ケズリ				
	997	RW73	木製品	木鏝	SG 2 F 5	61.5	30.0		3.8					両面磨削、付丸
	998		木製品	杖状木製品	SG 2 F 9	76.0	21.0		7.0					くびれ有
	999		木製品	杖状木製品	SG 2 F 6	(109.0)	76.0		8.0					
	1000		木製品	角材状木製品	SG 2 F 7	(171.0)	11.0		0.9					大端口
1001	RW81	木製品	杖状木製品	SG 2 F 6	195.0	29.0		21.0					上部に穿孔有	

表-15 出土遺物観察表(15)

発掘 層別	遺物 番号	登録 番号	類別	品名	出土 地点	層位	計測値(mm)			成形・調整			備 考	
							長さ (口径)	幅 高さ	厚さ	外周	内周	底面		
74	1002		本製品	板状本製品	SG 2	F 7	230.0	19.0						
	1003	RW544	本製品	板状本製品	SG 2	F 8	410.0	28.0		ケズリ				上部に穿孔あり
	1004		本製品	遺物	SG 2	F 8	376.0	41.0						中心と下縁部、両脇に切目
	1005	RM285	金属製品	帯金具	SG 2	F 6	12.7	12.4						銀製、内面一帯欠
	1006		本製品	木製	SG 2	F 5	151.0	32.0		ケズリ				中心部、両端にケズリあり
	1007	RW154	本製品	瓦	SG 2	F 6	223.0	54.0		ケズリ				
	1008	RW323	本製品	舟形	SG 2	F 6	4206.0	56.0	32.0					内面に穴径1mmの積層有、前面面に穿孔
	1009	RM356	金属製品	刀子	SG 2	F 6	67.0	9.0						刀身のみ
	1010		本製品	板状本製品	SG 2	F 7	276.0	54.0						全面にケズリあり
	1011	RW179	本製品	瓦	SG 2	F 7	357.0	141.0						
1012	RW252	本製品	漆器類	SG1300	F 2	1124.0	67.0	(41.0)	2.5	磨削	塗油		外周に漆で秋草紋	
1013	RW189	本製品	瓦	SG1300	F 2	1183.0	186.0	21.0	5.0	ロケロ焼	ロケロ焼		内面に継ぎ目あり	
1014	RW271	本製品	瓦	SG1300	F 3	4244.0	176.0	332.0	16.0	ロケロ焼	ロケロ焼		内周高化	
1015	RW276	本製品	瓦	SG1300	F 2	1123.0	186.0	18.0	13.0	ロケロ焼	ロケロ焼			
1016	RW183	本製品	瓦	SG1300	F 2	1411.0	113.0	18.0	15.0	ロケロ焼	ロケロ焼		ケズリ	
1017	RW180	本製品	瓦	SG1300	F 2	1109.0	96.0	15.5	11.0	ロケロ焼	ロケロ焼			
1018	RW114	本製品	瓦	SG1300	F 2	145.0			15.0	ロケロ焼ケズリ	ロケロ焼		内周や内面、つまみ部分穿孔あり	
1019	RW182	本製品	漆物類	SG1300	F 1	150.0			8.5				木釘痕よりあり、一部炭化	
1020	RW134	本製品	漆物類	SG1300	F 2	177.0			10.0				木釘痕よりあり	
1021	RW149	本製品	漆物類	SG1300	F 2	137.0			10.0				木釘痕よりあり	
1022	RW147	本製品	漆物類	SG1300	F 3	145.0			6.0				木釘痕よりあり	
1023		本製品	漆	SG1300	F 3	197.0			8.0				ケズリ	
1024		本製品	漆	SG1300	F 3	176.0			5.0				ケズリ	
1025		本製品	漆	SG1300	F 3	139.0			6.0				ケズリ	
1026		本製品	漆	SG1300	F 3	120.0			3.0				ケズリ	
1027		本製品	漆	SG1300	F 3	120.0			6.5				ケズリ	
1028		本製品	漆	SG1300	F 3	168.0			5.0				ケズリ	
1029		本製品	漆	SG1300	F 3	105.0			5.0				ケズリ	
1030	RW87	本製品	瓦	SG1300	F 1	662.0			21.0				ケズリ	
1031	RW181	本製品	瓦	SG1300	F 3	170.0			37.0				9.0	
1032	RW269	本製品	板状本製品	SG1300	F 2	1117.0			(42.0)				13.0	
1033	RW94	本製品	板状本製品	SG1300	F 2	148.0			9.0				6.0	
1034	RW194	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	326.0			23.0				2.0	
1035	RW200	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	187.0			25.5				2.0	
1036	RW196	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	141.0			(16.0)				2.0	
1037	RW195	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	120.0			25.0				2.0	
1038	RW211	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	197.0			23.0				1.0	
1039	RW197	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	165.0			27.0				3.0	
1040	RW225	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	260.0			25.0				3.0	
1041	RW197	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	193.0			(23.0)				3.0	
1042	RW199	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	265.0			(26.0)				2.0	
1043	RW230	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	244.0			9.5				1.5	
1044	RW208	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	158.0			23.0				2.0	
1045	RW196	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	182.0			14.0				2.0	
1046	RW208	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	279.0			21.0				2.0	
1047	RW219	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	139.0			23.0				1.0	
1048		本製品	平塚巻	SG1300	F 2	152.0			19.5				1.5	
1049	RW266	本製品	平塚巻	SG1300	F 2	151.0			17.5				3.5	
1050	RW254	本製品	平塚巻	SG1300	F 2	180.0			17.0				3.0	
1051	RW158	本製品	平塚巻	SG1300	F 3	104.0			11.0				4.0	
1052	RW282	本製品	木製	SG1300	F 4	256.0			11.0				4.0	
1053	RW157	本製品	漆器	SG1300	F 2	379.0			20.0				2.0	
1054	RW206	本製品	平塚巻	SG1300	F 1	196.0			19.0				2.0	
1055	RW206	本製品	漆器	SG1300	F 2	1194.0			10.0				2.5	
1056	RW119	本製品	板状本製品	SG1300	F 2	97.0			16.5				2.0	
1057	RW223	本製品	板状本製品	SG1300	F 2	206.0			11.0				5.0	
1058	RW121	本製品	板状本製品	SG1300	F 1	256.0			9.0				5.0	
1059	RW149	本製品	角材本製品	SG1300	F 2	445.0			22.0				13.0	
1060	RW493	本製品	金属製品	SG 1	F 6	625.0			16.0				16.0	

V まとめ

今回の調査は2・3次合計5,490㎡を対象に実施している。平成6年度には1次調査が3,000㎡を対象に実施され、合計8,490㎡が調査されたことになる。

2・3次調査では、1次調査で検出された河川跡の延長が検出され、多数の墨書土器や木製品が出土した。特に1次調査では出土しなかった律令祭祀遺物や木簡が注目を引く。以下今回出土した墨書土器や主な木製品について若干の考察を行う。

墨書土器

1次調査では41点、2・3次調査で281点、総計322点が出土している。これは酒田市生石2遺跡の555点に次ぐ出土点数である。墨書土器の出土状況から墨書土器の属性、性格を検討すると、出土地点は全て河川跡である。また、多数の斎串や形代、呪符木簡などの祭祀遺物が共伴出土し、上高田遺跡の墨書土器は祭祀に付随するものと見なしてよいであろう。

出土量の多い文字は、「利」が36点、「宅」が32点、「秦」が6点、「花」が4点などとなっている。また複数の文字によって構成される墨書土器も比較的多い。さらに、人の氏や姓を表していると思われる墨書は「丈」「秦」「物部」「臣」「弓削連」「連」「舎人」「穂積人」がある。とくに「弓削連」は、当遺跡と河内国の弓削氏との関係も想定させる。

また、出土数の多い文字には字形の特徴から数種類に分類可能なものもある。そこからある程度、文字の意味を認識していたものから記号として認識したものへの変遷が推定できる。「利」で「一利」(383)と墨書している例がみられる。これは(17, 100)を観察した人物が偏の横棒が二重になって見えるのを二文字の重複と認識した結果であろう。また「宅」に於いても、作りの部分が「毛」と「毛」、「毛」に分類でき、これらが(379, 351)に崩れていったとみられる。「秦」も(532, 536)から(533)へ、さらに(534)そして(535)へという変遷が推定できる。また、「立(丘?)人」(263)という文字があるが、千葉県久我台遺跡の墨書土器からは「立合」から「立人」への文字変化が確認されている。

木製品

上高田遺跡の木製品出土量は律令期としては県内でも最大級である。図化しなかった遺物も含めても、食膳具の多さ、特に曲物、箸の多さに圧倒される。箸は完形品だけで231点、半分以上残存するのは995本、合計1,226本で、単純計算すると616膳以上の箸が河川跡に投棄されている。これだけの量の箸の消費を考えると、これまでも言われてきたことだが、日常的な使い捨て使用の他、祭祀での大量使用も想定可能である。また、計算はしていないものの斎串もかなりの数量出土しており、遺跡が祭祀的な性格が強いことが伺われる。

また、古代の木簡が7点出土した。7点の内3点は呪符木簡で、遺跡の特徴を端的に表している。(934)は「四万八千神急急如律令」と記されているが、本来は「八万四千六百五十四神急急如律令」であり、疫病神である午頭天王の眷属八万四千六百五十四神王への呪符である。午頭天王信仰は中世に盛んで、広島県尾道市街地遺跡から13世紀後半の、奈良県元興寺境内遺跡からも中世の同様の呪符が出土している。(934)は形状も、中世の呪符に近いが、河川跡中位層か

ら出土しており、この層位には中世遺物の混入がないことから、古代に留めておく。(933)は9人の氏名を列記して、「万呂」という人物が上司に報告したもので、目的は不明である。9人の内4人「春米□□、丸子マ牛甘、檜前竹万呂、大荒木臣田人万呂」が判読できる。春米は筑前国での分布が目立つが、秋田城木簡から、出羽国にも分布していたことがわかる。丸子(マ)は陸奥を中心とした東国の太平洋側に分布する。秋田城木簡にも「丸子マ某」が登場しており、出羽国にも分布していたのであろう。檜前は畿内に多数分布し、東国でも散見されるが、出羽国では初出である。大荒木臣については越前国を中心に分布する豪族である。この木簡に記された人名の内、名前まで判るのは3人だけであるので、断言できないが人名は男のみのようである。(997)は形状や「一斛」という数量から、初の付札と見られる。付札には他県出土の書式を見ると概ね「郷名+人名」に品目や量が記されており、(997)に関しても、「萬□⁽⁷⁹⁾匣」は郷名か人名である可能性が高い。(1046)「守マ⁽⁷⁹⁾□□□ 高向長万呂」については、断片的で、木簡の性格を推定するのは困難である。守部は美濃国に多数分布しているようである。高向は常陸国で強い影響力を持つ豪族である。

卒塔婆(1030~1042)と水晶球(797)は、SP1995に関連するものと見られる。SP1995から出土した骨の種類や部位の同定を依頼したが、骨の依存状態が悪いため、同定が不可能な状態であった。しかし、土壌分析の結果から、火葬骨と一緒に焼土を埋葬した可能性が指摘された。

遺跡の性格・年代について

今回の調査で出土した遺物の年代は、1次調査と変わらない。8世紀後半から10世紀後半までに及ぶものと見られる。また、1次調査を含め、上高田遺跡では特に木製品の出土量が多く、平安期の遺跡としては県内でも最多級の出土量である。

また、2・3次調査では1次調査では見られない祭祀遺物や木簡が出土した。これらの遺物が上高田遺跡の性格を強く物語る。さらに、「連」「臣」「舍人」「弓削連」「大荒木臣田人万呂」などの姓等が記された墨書土器や木簡から、ある種の支配階級の存在が意識される。また人形は、庄内地方では八幡町俵田遺跡が唯一の出土例である。

3次にわたる調査で、上高田遺跡からは河川跡以外には、主要な遺構はほとんど検出されなかった。しかし、少ないながらも遺構の分布状況から推測すると、遺跡の中心が、A区東側に広がる可能性が非常に濃厚である。また、その方角の約500m先には石田遺跡がある。石田遺跡は平成4年度にほ場整備事業関連で調査が行われており、柵列を伴う10世紀を中心とした集落跡で、調査区からは幅15mほどの河川跡が検出されている。残念ながら、事業の性格上河川跡の調査は行われていないが、上高田遺跡の河川跡との関連が注目される。

以上のような点から、上高田遺跡の特色を見てみる。遺物から判断する限り公的な祭祀場としての性格が非常に強く伺われる。しかし、官人層が使用すると見られる施釉陶器の出土量が非常に少ないことが気になる。また遺跡の中心部が未調査であることもあるが、遺構からは官衙と言えるような大規模な建物跡や板材列と言ったものは検出されてない。今の段階で上高田遺跡の性格を断定するのは難しいが、通常の集落では出土しない祭祀遺物の出土から類推し、周辺集落の中核となるような集落もしくは施設であった可能性が強いであろう。

利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利
13 92 211 8 675 77 132 109 18 114 131 113 9 110 399

利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利 利
11 7 23 95 101 347 203 22 87 17 100 383 711 608

人 川 川 川 川 利 利 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅
80 133 96 741 688 33 27 356 523 201 161 199 350 97 213 202

宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅
1054 443 356 573 353 508 352 95 311 475 495 554 703 310

宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅 宅
335 34 312 652 103 61 208 379 351 358 753 699 354 10

丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈 丈
338 526 551 337 348 308 349 564 683 57 56 122 301 75 338

田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田
344 273 372 440 196 74 370 621 177 322 557 383 82 556 656 684

十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十
713 276 528 595 328 543 492 472 553 622 345

花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花
300 259 303 261 280 171 180 93 176 532 536 533

福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福
606 534 535 382 756 756 531 446 264 343 99 99 36

福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福
60 623 64 278 320 277 357 710 507 717 707 333

常 常 常 常 常 常 常 常 常 常 常 常 常 常 常 常
21 765 296 302 682 718 705 674 96 82 445 313 366 698 683 10cm

第78回 墨書集成(1)

去 了 連 丁 事 態 和 虞 金 食 是 硬 社 庚 乙
772 672 365 283 441 181 25 524 327 771 263 686 105 560 31

乙 乙 乙 乙 乙 才 食 又 存 本 乙 乙 乙
673 685 690 268 102 700 620 729 701 691 172 369 565 599

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
764 115 687 304 207 617 529 761 743 525 387 378

庚 庚 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
562 309 174 30 20 43 78 373 546 79 635 780 216 69

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
742 686 76 706 766 777 708 618 63 662 684 697 754 757 699

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
702 72 88 91 104 73 778 755 90 321 83 185 474 206 68 381 297

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
12 279 439 124 328 339 84 763 552 94 494 70 346 563 58 212 759 98

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
579 893 890 889 931 930 934

乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
1029 1028 1032 1031 1035 997 1046 932 1034 1037 1036 1030 1033 1039

第79回 墨書集成(2)

報告書抄録

ふりがな	かみたかだいせきだいにじ・さんじちようさほうこくしょ							
書名	上高田遺跡第2・3次調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第57集							
編集者名	齋藤健 飯塚稔							
編集機関	財団法人 山形県埋蔵文化財センター							
所在地	〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL023-672-5301							
発行年月日	1998年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かみたかだいせき 上高田遺跡	やまがたけん 山形県 あきみん 鮎海郡 あきみ 遊佐町 おおあざみ 大字富岡 あきみ 字上家ノ前	6461	2080	39度 1分 51秒	139度 54分 31秒	19960507 ～ 19960913 19970506 ～ 19970730	2,790 2,700	一般国道345 号道路改築 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
上高田遺跡 2次	集落跡	平安時代	掘立柱建物 河川 溝 土坑	3 1	須恵器(坏・皿・壺・甕) 赤焼土器(坏・皿・埴) 木製品(碗・皿・曲物・ 箸・斎串・木筒・人形)	平安時代前期の集落跡 である。河川跡から墨 書土器や人形など祭祀 遺物の他、木筒も出土 していることから、近 隣に周辺集落の中心と なるような施設があり、 股が行われていた可能 性が高い。 (総出土箱数：121)		
上高田遺跡 3次	集落跡	平安時代	掘立柱建物 河川 溝	1 2	須恵器(坏・壺・甕) 赤焼土器(坏・皿・埴) 木製品(皿・曲物・箸・斎 串・木筒)			
		中世	土坑		中世陶磁器 木製品(卒塔婆) 石製品(水晶)			

版 图



2次調査1・2区遠景(南西から)



3次調査3区遠景(西から)

図版 2



2次調査掘入式



2次調査河川跡鉄鋼矢板打込作業



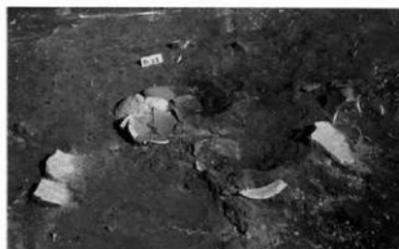
SG 1 鉄鋼矢板打込完了状況



SG 1 精査作業



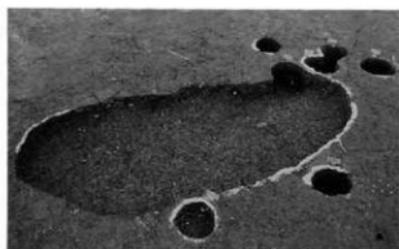
1・2区道構検出状況（北西から）



SK 33検出状況



SK 33遺物出土状況



SK 33完掘状況



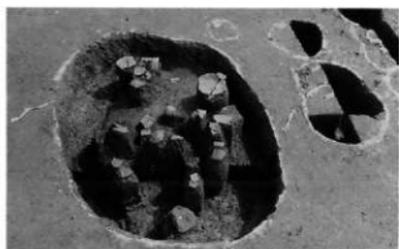
SK 241遺物出土状況



SK 463検出状況



SK 463遺物出土状況



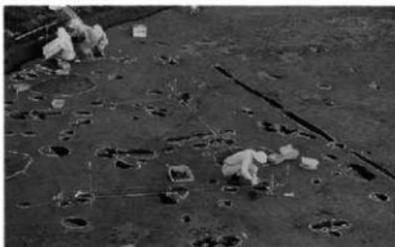
SK 303遺物出土状況



1区完掘状況(北から)



EP592土層断面



EB552記録作業



SG 2 土層断面



SG 2 出土遺物記録作業



SG 2 完掘状況(北から)



SG 1 完掘状況(南から)



SG 2 馬骨出土状況



SG 2 堆積火山灰塊



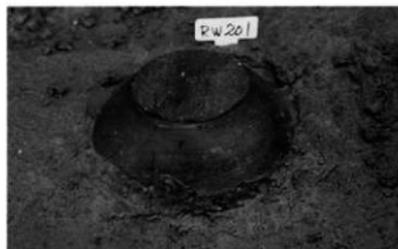
SG 2 木簡出土状況



SG 1 木簡出土状況



SG 2 柄杓出土状況



SG 1 椀出土状況



SG 1 瓢箪出土状況



SG 2 鍬出土状況



SG 2 赤焼土器高台付坏出土状況



SG 1 墨書須恵器出土状況



SG 2 黑色土器出土状况



SG 1 赤焼土器皿出土状况



SG 1 人形出土状况



SG 1 人形出土状况



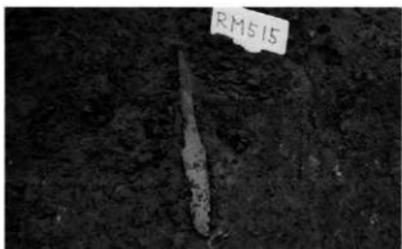
SG 2 人形出土状况



SG 1 漆刷毛出土状况



SG 1 木針出土状况



SG 1 刀子出土状况



SG1301(左) SG1300(右)検出状況(南から)



SG1300北側土層断面(南から)



SG1300中央土層断面(南から)



SK1995検出状況(北西から)



SK1995完掘状況(西から)



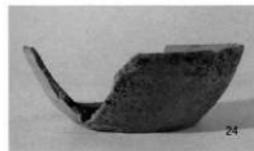
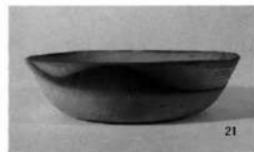
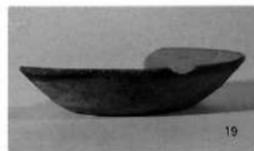
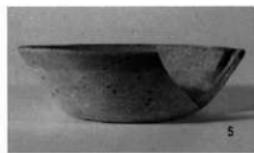
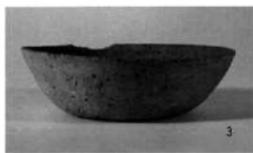
SG1300卒塔婆出土状況

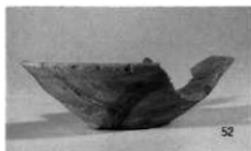
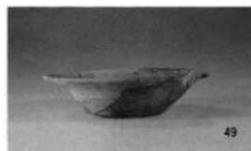
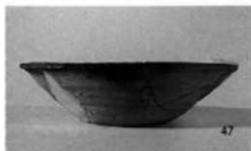
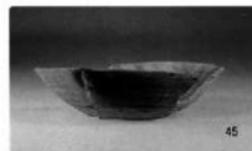
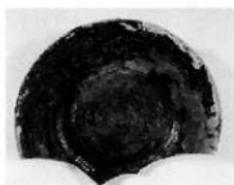


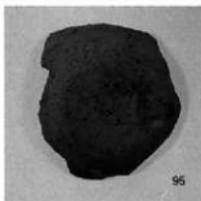
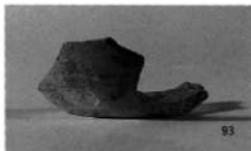
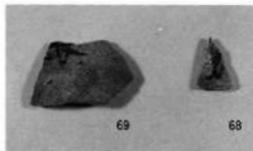
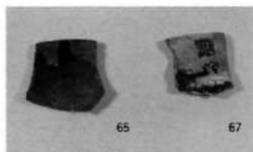
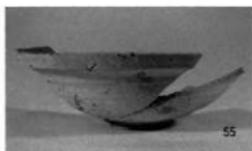
SG1300卒塔婆出土状況

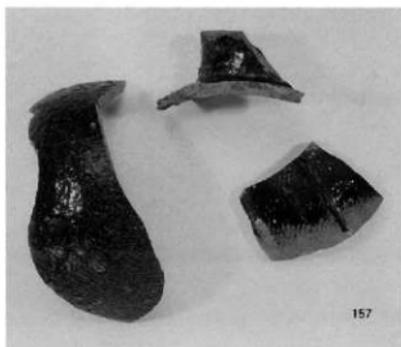
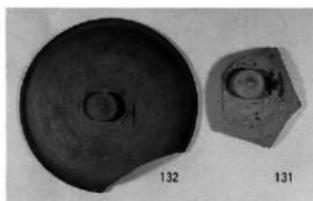
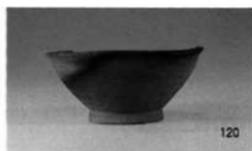
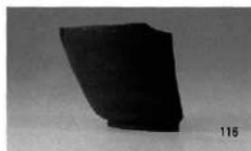


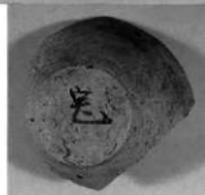
SG1300木簡出土状況

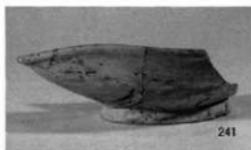
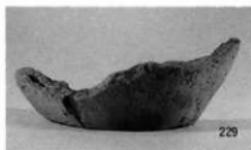
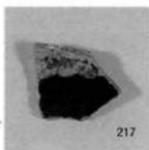
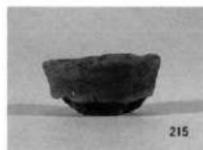
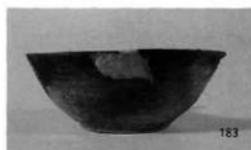


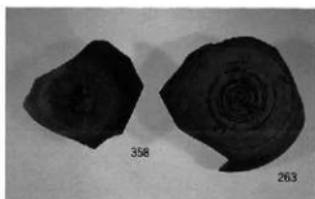


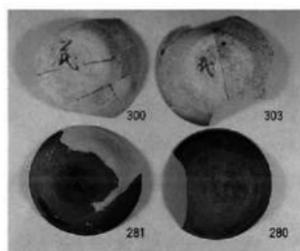
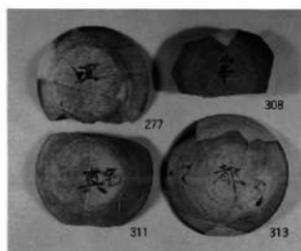
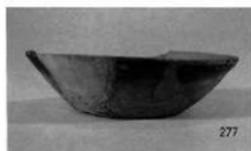


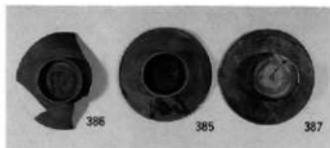
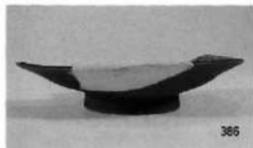
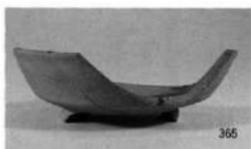
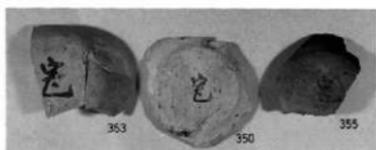


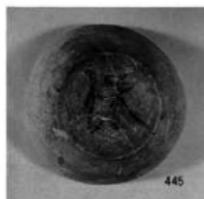
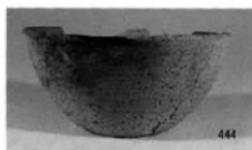
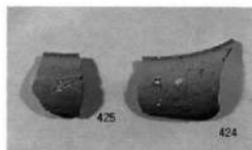


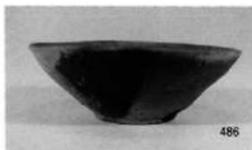
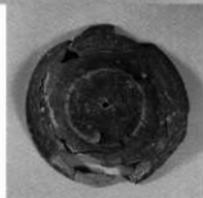
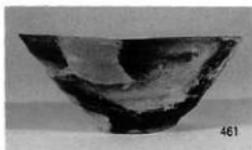


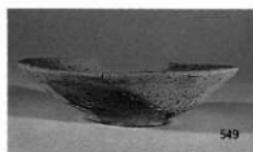


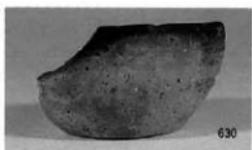
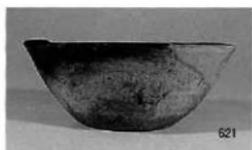
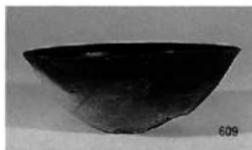
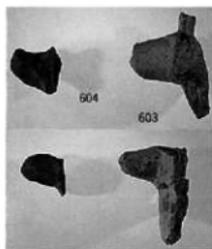
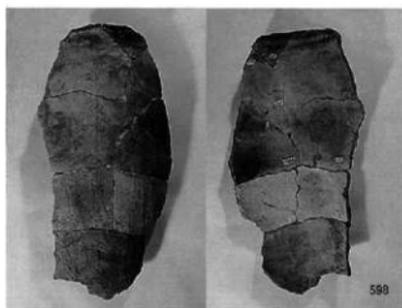


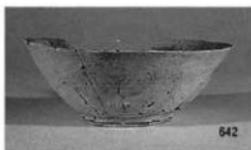
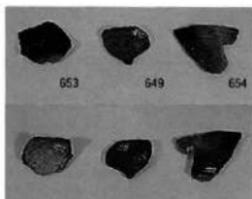
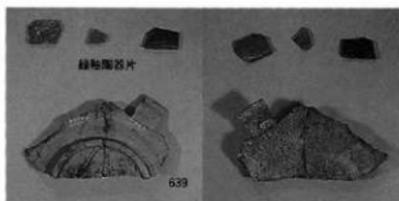
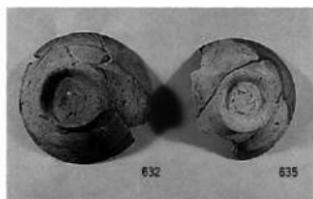


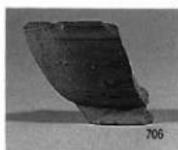
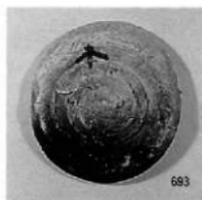
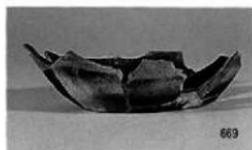
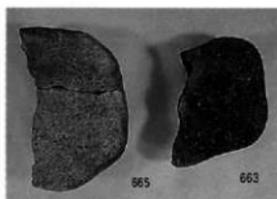
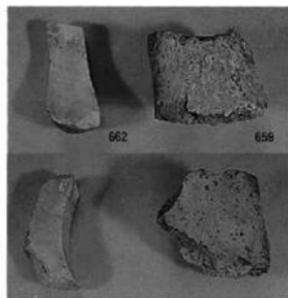


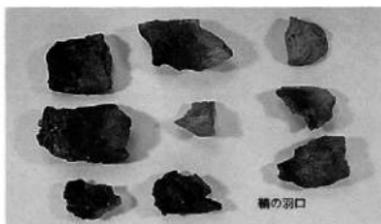
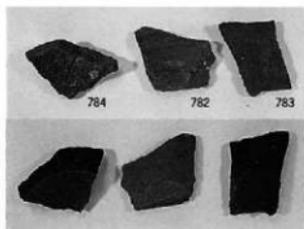
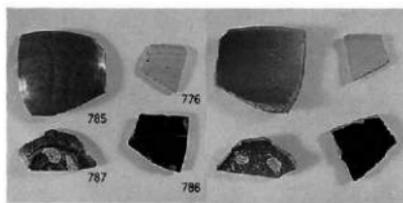
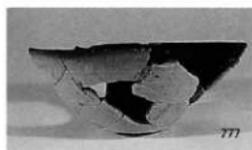
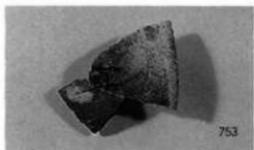


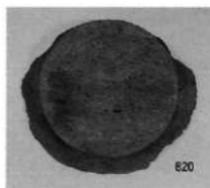
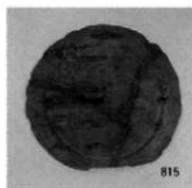
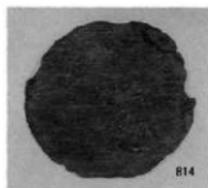
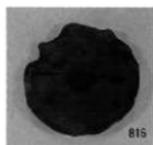
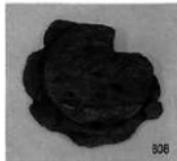
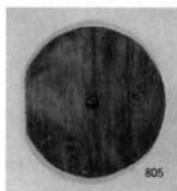
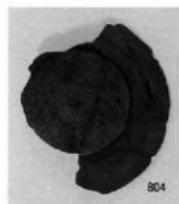


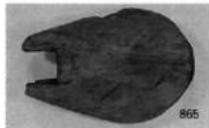
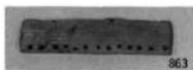
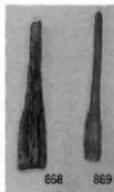
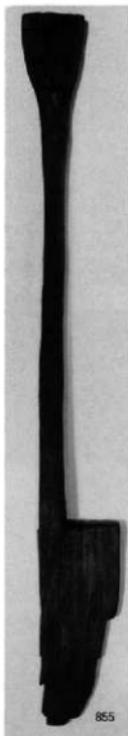
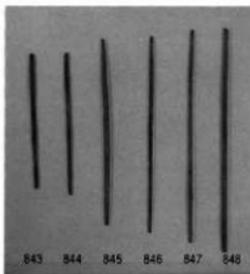
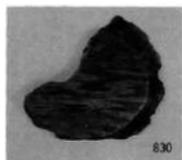


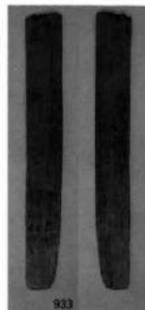
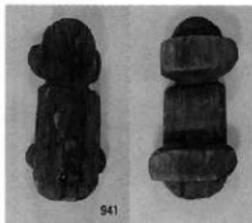
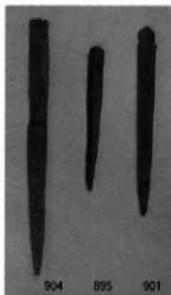
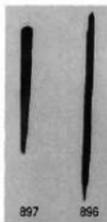
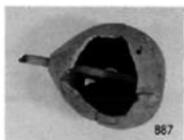


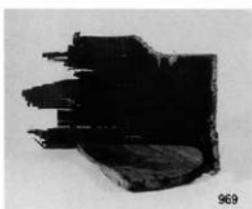
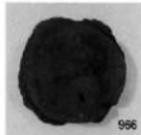
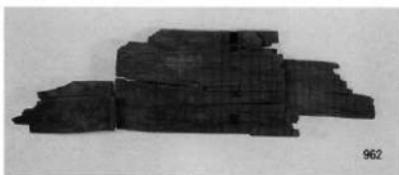
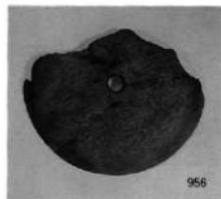
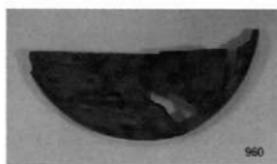
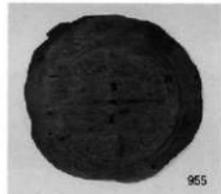
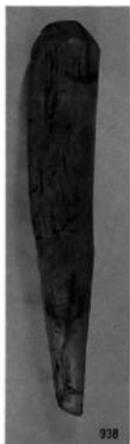


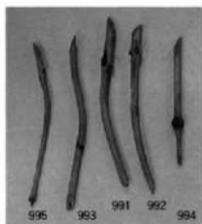
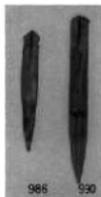
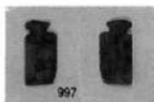
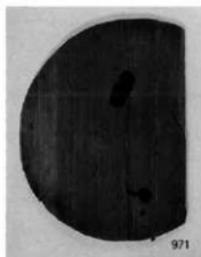
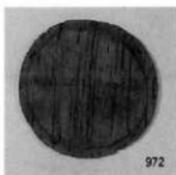


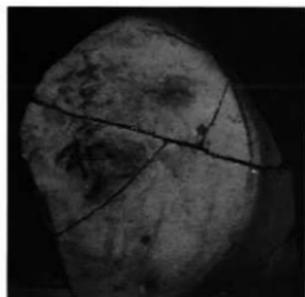












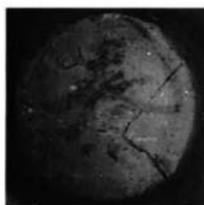
666



930



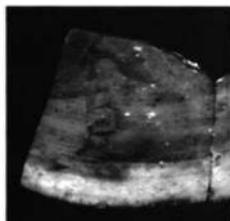
931



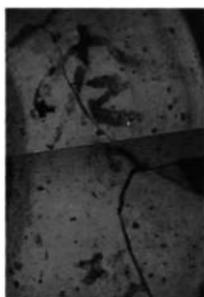
532



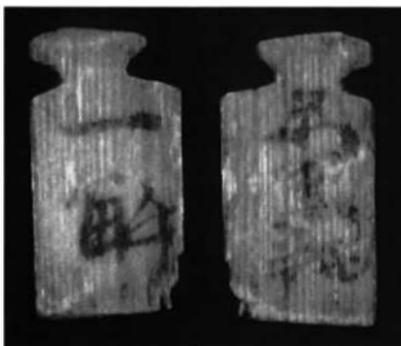
672



771



545



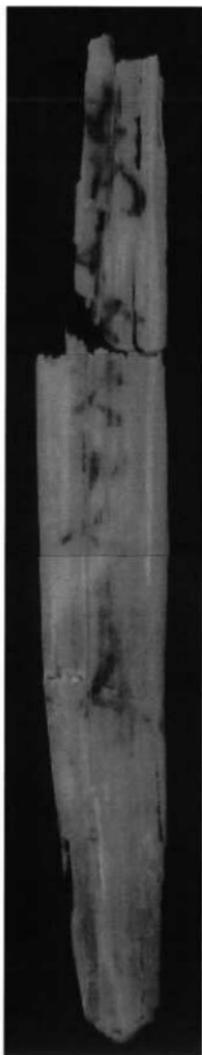
997



932



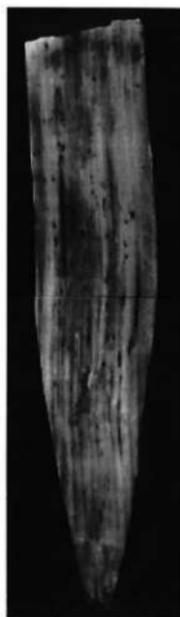
1028



1029



1030



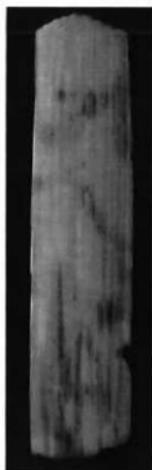
1031



1032



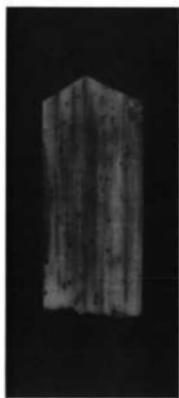
1034



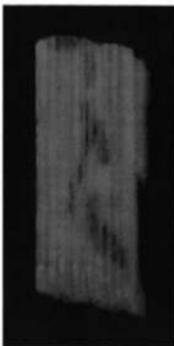
1035



1037



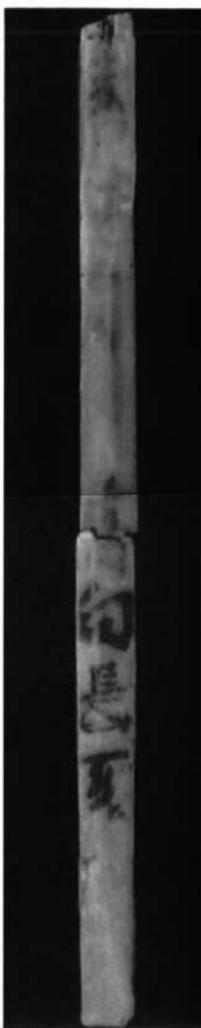
1033



1038



1039



1046

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第57集

上高田遺跡第2・3次発掘調査報告書

1998年3月31日 発行

発行 財団法人 山形県埋蔵文化財センター
〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号

電話 023-672-5301

印刷 株式会社大風印刷
